1) brank / 鳃 / 魚の“えら”を表す簡体字。日本語「鰓」の簡体形。 / 画数は多めだが標準的表記

2) skurĝ / 鞭 / むち。日中とも「鞭」は比較的わかりやすい。 / “革＋べん”の部首構成で一貫性あり

3) spad / 剑 / 細身の(両刃の)剣を表す代表的字。 / 下記「glav」「rapir」と同じ字で集約

4) kartoĉ / 弹 / 銃弾・弾薬の意(簡体字)。日本語「弾」に近い。 / 弾丸関連で最短の単字

5) kiras / 甲 / 甲冑や装甲を象徴する字。日中とも「甲」は“よろい”の意あり / 画数も少なめ

6) ŝild / 盾 / 盾(たて)。日中とも意味が明瞭。 / 下記「egid」と同字で集約

7) kron / 冠 / 王冠・冠を指す最も基本的な字。 / 下記「tiar」と同字で集約

8) tiar / 冠 / ペルシャ風の王冠だが、“冠”で大きく逸脱しない / 「kron」と同字で集約

9) egid / 盾 / 神話上の盾(アイギス)も物理的には盾として扱う / 「ŝild」と同字で集約

10) amulet / 符 / 护身符(お守り)系統の最簡単表記。 / 下記「talisman」と同字で集約

11) talisman / 符 / 护符・呪符などを広くカバー。 / 「amulet」と同字で集約

12) rapir / 剑 / レイピア(細身の剣)→中国語で総じて“剑”で可 / 「spad」「glav」と同字で集約

13) epolet / 肩章 / 軍服の肩飾りは一般的に「肩章」と表すのが標準 / 単字で正確に表す字は存在しない

14) bisturi / 刀 / 柳葉刀・手術刀なども含む短刃系統として集約 / ponard同様「短い刃物」として“刀”に統合

15) ponard / 刀 / 匕首(短剣)だが、簡略化のため“刀”にまとめる / bisturi同様「短刃物」として共通化

16) kling / 刃 / 刃身や切っ先を強調する場合の代表字。 / “刀”よりも「刃そのもの」の意味合い

17) glav / 剑 / 一般的な剣。日中とも“剑”で最も伝わりやすい / spad, rapirと集約し画数・字数を削減

18) nadl / 针 / 針(注射針・縫い針など)。日本語「針」の簡体形 / pinglとの使い分けはサブ表記で管理想定

19) alen / 锥 / 突き錐(キリ,または“目打ち”)を示す最適字。 / 針(针)とは用途がやや異なるため別字

20) ung / 爪 / 動物の爪・鉤爪など。日中とも共通認識しやすい / 字形も比較的シンプル

21) najl / 钉 / 釘(くぎ)。日本語「釘」の簡体形に相当。 / 形もシンプルで認識しやすい

22) pingl / 针 / ピン(待ち針類)も広義で“针”に集約可能 / nadl(針)と同じ字に集約

ŝraŭb

* + 提案: 螺钉
  + 理由: 現代中国語で「ねじ」を意味する標準的な表現は「螺丝(钉)」や「螺钉」など。1文字で「ねじ」を直接表す字は存在しないため、2文字熟語「螺钉」を採用。
  + 学習コスト:
    - 「螺」は「虫+罗」でやや画数が多いが、「钉」は今後ほかの道具(釘など)にも使える可能性がある。

css

Copy

ŝraŭb/螺钉/現代中国語での標準的な「ねじ」/「螺」はやや画数多めだが「钉」は再利用しやすい

1. kejl
   * 提案: 楔
   * 理由: 「木釘」や「楔形木釘」のニュアンスに対応する単字が「楔」。熟語「木钉」も考えられるが、既存の単字「楔」のほうが簡潔。
   * 学習コスト:
     + 部首は「木」。新たな複雑な偏旁は含まないが、画数(12画程度)はそこそこある。

swift

Copy

kejl/楔/木釘(楔形木釘)に対応/単字で表せるため採用。画数はやや多め

1. martel
   * 提案: 锤
   * 理由: 「金槌」「ハンマー」を表す簡体字。「锤子(榔头)」の略でもある。
   * 学習コスト:
     + 偏旁は「钅＋垂」。金属系の道具を示す「钅」偏傍は今後も再利用できる可能性が高い。

swift

Copy

martel/锤/ハンマーを表す簡体字/金属偏旁「钅」は他の道具にも転用可能

1. ĉan
   * 提案: 扳机
   * 理由: 銃の撃鉄・引金(トリガー)に最も対応する現代中国語は「扳机」。1文字で引金を表す字は存在しない。
   * 学習コスト:
     + 「扳」(手へん+反)と「机」(木へん+几)の2文字。新出漢字が2つ増える点には留意が必要。

swift

Copy

ĉan/扳机/銃の引金(トリガー)を表す標準的用語/2文字だが単字が存在しないため採用

1. bajonet
   * 提案: 刺刀
   * 理由: 銃剣(バヨネット)の標準的な中国語。1文字では存在しない。
   * 学習コスト:
     + 「刺」は簡体字でも同形、「刀」は画数が少ない。比較的わかりやすい熟語。

swift

Copy

bajonet/刺刀/バヨネット(銃剣)を表す/短い2文字熟語で画数も少なめ

1. kugl
   * 提案: 弹
   * 理由: 「弾丸」を意味する簡体字。「弹药(弾薬)」「子弹(銃弾)」などに使われるコア字。
   * 学習コスト:
     + 部首は「弓」。日本語の「弾」と形はやや異なるが、対応関係が分かりやすい。

swift

Copy

kugl/弹/「弾丸」等に使われる核心字/日本語「弾」とほぼ同意

1. lanc
   * 提案: 矛
   * 理由: 「槍・矛」を古来から表す1文字。現代中国語では「矛」は主に「矛盾」など抽象的用法が多いが、原義が「槍・矛」。
   * 学習コスト:
     + 画数が少なく分かりやすい。日本語でも「矛」の意味は通じる。

swift

Copy

lanc/矛/槍・矛を表す古来の字/画数が少なく簡易

1. arĉ
   * 提案: 弓
   * 理由: [楽]弓(バイオリンなどの弓)を1文字にする場合、最も近い漢字は「弓」。本来は弓矢の「弓」だが、楽器の弓も「琴弓」と言えば通じる。
   * 学習コスト:
     + 画数はわずか3画で非常にシンプル。

swift

Copy

arĉ/弓/楽器の弓を単字化するなら「弓」が最適/画数が非常に少ない

1. sag
   * 提案: 矢
   * 理由: 現代中国語では「箭」が一般的だが、1文字で「矢」を示すなら「矢」が対応。日本語でも“矢”と一致するため直観的。
   * 学習コスト:
     + 画数(5画)は「箭」(15画)より少なく、習得しやすい。

swift

Copy

sag/矢/1文字で矢を表す/画数が少なく「箭」より簡易

1. arbalest
   * 提案: 弩
   * 理由: クロスボウ(大弓)を表す漢字で、簡体字でも「弩」は同形。
   * 学習コスト:
     + 6画と比較的シンプル。日本語でも「石弓」を「弩」と書くことがある。

swift

Copy

arbalest/弩/クロスボウを表す単字/画数は多くない

1. fork
   * 提案: 叉
   * 理由: 「フォーク」の中国語は「叉子」だが、1文字なら「叉」。
   * 学習コスト:
     + 3画で極めて簡単。日本語でも「叉」は「また」等の意味があり形も容易。

perl

Copy

fork/叉/現代語「叉子」の略/画数3画で習得しやすい

1. pugn
   * 提案: 拳
   * 理由: 「こぶし」を意味する標準的字。中国語でも日本語でも同形で「拳頭」(拳头)などに使われる。
   * 学習コスト:
     + 10画程度だが、格闘技関連などで馴染みがあり覚えやすい。

swift

Copy

pugn/拳/こぶしを表す代表的字/日中共に使用頻度高め

1. vip
   * 提案: 鞭
   * 理由: 「鞭」「むち」を表す字。現代中国語でも「鞭子」で鞭を指すが、1文字なら「鞭」。
   * 学習コスト:
     + 17画とやや画数が多いが、他に適切な単字がなく、日中ともに意は通じる。

swift

Copy

vip/鞭/「鞭子」の略/やや画数多いが他に単字がない

1. kegl
   * 提案: 瓶
   * 理由: ボウリングのピンは中国語で「保龄球瓶」と呼ばれることが多く、「瓶」が「ピン」として認識されやすい。
   * 学習コスト:
     + 「瓶」は「瓦」偏+「并」。本来は「瓶＝ビン」だが、ボウリング用語でも用いられる。

swift

Copy

kegl/瓶/ボウリングのピン＝「保龄球瓶」/本来は「ビン」だが転用しやすい

1. palis
   * 提案: 杭
   * 理由: 「杭」は日本語で「くい(杭)」、中国語でも「木杭」「打桩(杭を打つ)」などで使われる。
   * 学習コスト:
     + 画数は8画、比較的シンプルで日中両方に杭の意味が通じる。

swift

Copy

palis/杭/杭・くいを表す/画数8画で比較的シンプル

1. timon
   * 提案: 辕
   * 理由: 馬車のかじ棒・轅(車両前部の棒)を表す字。舵(船のかじ)とは別。
   * 学習コスト:
     + 11画でややマイナーだが、他に単字表現が乏しい。

swift

Copy

timon/辕/馬車のかじ棒を指す専用字/ややマイナーだが単字の選択肢が少ない

1. baston
   * 提案: 棒
   * 理由: 「棒」「つえ」を広く表す字。中国語では「棍」など類語もあるが、「棒」は最も汎用的。
   * 学習コスト:
     + 偏旁「木+奉」で12画。日中ともに「棒」は馴染み深い語。

swift

Copy

baston/棒/棒・つえ全般を表す汎用的字/日中とも一般的で理解しやすい

1. stang
   * 提案: 杆
   * 理由: 「棒」と近いが、より「竿・ポール」的ニュアンスに近い字。
   * 学習コスト:
     + 偏旁は「木+干」で7画。「棒」と違いややスマートなイメージ。

swift

Copy

stang/杆/竿・ポールなど細長い棒状物を表す/「棒」とのニュアンス区別を意図

1. kapon
   * 提案: 阉鸡
   * 理由: 去勢鶏(カポン)を直接1文字で表す漢字は存在しないため、「阉(去勢)＋鸡(鶏)」の2字で対応。
   * 学習コスト:
     + 「阉」は特殊用法だが、単字対応がない以上やむを得ない。

swift

Copy

kapon/阉鸡/去勢オンドリの直訳表現/2文字になるが単字での表現は存在しない

1. pedel
   * 提案: ― (割当なし)
   * 理由: 小役人(案内係など)を単字で表す標準漢字が見当たらず、2文字以上でも適切な共通熟語は希少。「仆役」「衙役」等あるが限定的。
   * 学習コスト:
     + 無理に複数字を当てるより“未対応”を選択する方が学習コスト削減になる。

bash

Copy

pedel/-/適切な単字・熟語がほぼ存在しないため割当を見送る/学習コスト削減を優先

1. bub
   * 提案: 童
   * 理由: 「いたずらっ子・子ども」に近い1文字なら「童」。厳密には「子ども」一般を指すが、ニュアンスは近い。
   * 学習コスト:
     + 12画とそこそこだが、日本語の「童話」などで馴染みあり。

swift

Copy

bub/童/子ども(特に男児)のイメージ/日中とも馴染みがあり理解しやすい

1. dand
   * 提案: 纨绔
   * 理由: 「伊達男」「洒落者」に近い古来の二字熟語。現代は「花花公子」(4字)のほうが通じやすいが、2字でまとめる場合「纨绔」が対応。
   * 学習コスト:
     + 「纨」(絹+丸の意)や「绔」(衣+口)はやや古風で画数も多め。こだわりがなければ割当なしでも可。

swift

Copy

dand/纨绔/花花公子に近い古風な表現/2文字とも画数がやや多い

rekt/angul##

* + 提案: 直角
  + 理由: 「right angle(直角)」を表す最も標準的な2字熟語。1文字で「直」や「角」とすると意味が限定されてしまうため、2文字でも標準的な「直角」を採用。
  + 既出・学習コスト: 今後「角」を「三角形」「对角线」などでも使う可能性が高く、再利用しやすい。

1. romb
   * 提案: 菱形
   * 理由: 「ひし形(菱形)」の標準的な中国語表現。単一字「菱」でも「菱(形)」を連想は可能だが、図形名称としては「菱形」が定訳。
   * 既出・学習コスト: 「形」は今後他の図形系でも多用。「菱」はやや画数が多いが、ひし形を表すには比較的分かりやすい。
2. lozanĝ
   * 提案: 菱形
   * 理由: lozenge(菱形/菱形状)とrhombus(ひし形)はほぼ同義扱いが多いため、同じ「菱形」を使い回し可能。
   * 既出・学習コスト: すでに上記(romb)で「菱形」を採用しているため追加コストなし。
3. oval
   * 提案: 卵形
   * 理由: 「卵形」は日本語圏でも「卵形＝たまご型」と容易に想起可。中国語でも「卵形(卵形线)」という表現があり、比較的画数が少ない「卵」を使えるメリットがある。  
     （より数学的には「椭圆(形)」が一般的だが、「椭」「圆」は画数が多い傾向のため、今回は「卵形」を優先。）
   * 既出・学習コスト: 新規導入は「卵」のみ。「形」は既出。
4. konus
   * 提案: 锥
   * 理由: 円錐を中国語で「圆锥」というが、1文字で「锥(=円錐; 錐形)」と表すことも多い。画数や文字数を抑えるため「锥」に簡略化。
   * 既出・学習コスト: 新規導入は「锥」のみ。後々「方锥」(四角錐)等にも応用できる可能性あり。
5. kvadrat
   * 提案: 方形
   * 理由: 「正方形(正方形)」が最も標準的だが、3文字(正+方+形)になるため、2文字に圧縮して「方形」を採用。中国語でも「方形」だけで「四角形」の意味合いが強いが、コンテクスト次第で「正方形」にも近いニュアンスとして通じる。
   * 既出・学習コスト: 新規は「方」のみ。「形」は既出。
6. kub
   * 提案: 立方体
   * 理由: 立方体(cube)の標準的表現。単に「立方」だと「立方メートル」等の単位系とも混同する恐れがあるため、「立方体」を採用。
   * 既出・学習コスト: 新規導入は「立」「体」。すでに「方」は(6)で使用済み。
7. tri/angul##
   * 提案: 三角形
   * 理由: 三角形(triangle)の最も標準的な言い方。1文字の「三」+既出「角」「形」で構成できる。
   * 既出・学習コスト: 「角」「形」は既出。「三」は新規だが画数3と非常に少ない。
8. trapez
   * 提案: 梯形
   * 理由: 台形(trapezoid)の中国語定訳。「梯形」。
   * 既出・学習コスト: 新規導入は「梯」のみ。やや画数が多い(11画)が標準表現。
9. parabol

* 提案: 抛物线
* 理由: 放物線(parabola)の定訳。「抛物线」が最も一般的。1文字化は困難。
* 既出・学習コスト: 新たに「抛」「物」「线」を導入。やや多いが標準用語を優先。

1. paralelogram

* 提案: 平行四边形
* 理由: 平行四辺形(parallelogram)の定訳。省略した「平四形」は一般的でないため、標準的名称を採用。
* 既出・学習コスト: 新規「平」「行」「四」「边」。文字数は多いが、(12)「平行」や(8)「三角形(三+角+形)」などに転用可。

1. paralel

* 提案: 平行
* 理由: parallelの中国語。「平行」。(11)の「平行四边形」から派生も容易。
* 既出・学習コスト: 「平」「行」は(11)で導入済み。

1. diagonal

* 提案: 对角线
* 理由: 対角線(diagonal)の標準訳。既出「角」と(10)の「线」を再利用。
* 既出・学習コスト: 新規は「对」のみ。「角」「线」は既出。

1. kalkul

* 提案: 算
* 理由: 計算する・数える意に相当し、より長い「计算」よりも文字数を減らすため単一字「算」を採用。日本語の「算数」にも通じる。
* 既出・学習コスト: 「算」は新規だが画数は10画程度で許容範囲。

1. aritmetik

* 提案: 算术
* 理由: 「算(計算)」+「术(技術/術)」で「算术＝算数/Arithmetic」。最も一般的な表現。
* 既出・学習コスト: 「算」は既出、新規は「术」(5画)のみ。

1. subtrah

* 提案: 减
* 理由: 減算、引き算の動詞・記号「-」に対応する「减」を単字で表記。
* 既出・学習コスト: 新規「减」(7画)。シンプルでわかりやすい。

1. adici

* 提案: 加
* 理由: 足し算の動詞・記号「+」に対応。単字「加」が最も簡潔。
* 既出・学習コスト: 新規「加」(5画)。

1. multiplik

* 提案: 乘
* 理由: 掛け算(multiply)を表す簡体字「乘」。記号「×」に対応。
* 既出・学習コスト: 新規「乘」(10画)。やや画数多いが標準用法。

1. simetri

* 提案: 对称
* 理由: 対称(symmetric)を表す標準語。すでに(13)で「对」を導入済み。
* 既出・学習コスト: 新規は「称」(8画)のみ。

1. logaritm

* 提案: 对数
* 理由: 対数(logarithm)の定訳。「对」は既出、加えて「数」を導入。
* 既出・学習コスト: 新規は「数」(13画)。やや多いが数学用語として必須。

1. trigonometri

* 提案: 三角法
* 理由: 「三角関数」「三角法」「三角学」など複数あるが、簡潔さと通用度を兼ねて「三角法」を採用。「三角函数」だと文字数増。
* 既出・学習コスト: 「三」「角」は既出、新規は「法」(8画)。

1. matematik

* 提案: 数学
* 理由: 数学(mathematics)の定訳。既出「数」+新規「学」で2文字。
* 既出・学習コスト: 新規「学」(8画)のみ。

algebr / 代数 /  
選定理由: 現代中国語で「代数(algebra)」は「代数」が最も一般的。日本語でも「代数」と書けば“代数学”を連想しやすい。  
既出・学習コスト: 「代」「数」はともに基礎的な漢字として他でも再利用しやすい。

* teorem / 定理 /  
  選定理由: 「定理(theorem)」は中国語・日本語ともに「定理」が標準的表現。  
  既出・学習コスト: 新たに「定」「理」の2字が登場するが、次の「公理」と「理」を共有可能。
* aksiom / 公理 /  
  選定理由: 「公理(axiom)」は定訳。「理」はすでに「定理」で登場。  
  既出・学習コスト: 「理」を再利用することで学習コストを抑えられる。
* ekvaci / 方程 /  
  選定理由: 一般に「方程式(equation)」が標準だが、短縮形で「方程」も通じる。筆画も比較的少なめ。  
  既出・学習コスト: 「方」「程」は新出だが、他の数学用語(方程式)でも有用。
* obl / 倍 /  
  選定理由: 「…倍」＝“～times”の意味をもつため、倍数接尾辞として適切。単独1字で「倍」とし、学習負担を軽減。  
  既出・学習コスト: 初登場の「倍」だが、日中ともに「倍」の意味は容易に想起可能。
* poligon / 多边形 /  
  選定理由: 中国語数学用語の標準は「多边形(polygon)」。日本語の「多角形」に近く、意味も分かりやすい。  
  既出・学習コスト: 「多」は今後「複数」や「多数」を表す際にも再利用。「边」「形」も数学用語でしばしば登場。
* plural / 复数 /  
  選定理由: 文法上の「複数形」を中国語で表す場合、「复数」とすることが多い(※ただし数学用語の“複素数”と同形だが、ここでは文法上の“plural”として採用)。  
  既出・学習コスト: 「复」「数」は既出(「数」はすでに登場)。ただし「复」は“復”や“複”の簡体で、今後「复兴」(ルネサンス関連)などにも転用可能。
* plur / 多 /  
  選定理由: 「複数の」「多様な」「多い」などのニュアンスを1文字で端的に示せる。  
  既出・学習コスト: 「多」はすでに「多边形」で登場。重複利用。
* plur / 多 /  
  選定理由: 上記と同じく「複数の」「多～」を示す。  
  既出・学習コスト: 同じく「多」を再利用。
* decimal / 十进制 /  
  選定理由: 中国語で「十進法(decimals)」は「十进制」が定訳。  
  既出・学習コスト: 「十」「进」「制」はいずれも基本漢字だが、新出の3文字。ただし非常に代表的な数学用語なので意義は大きい。
* on / 分 /  
  選定理由: 「on」は“分数(…分の1)”を表す接尾辞ゆえ、より単純化して「分」とした。  
  既出・学習コスト: 「分」は日本語でも“わ(ける)”“フン(1/60)”など意味が取りやすい。のちの「分数」とペアで理解しやすい。
* frakci / 分数 /  
  選定理由: [数]「分数(fraction)」の中国語定訳。前項の接尾辞「on = 分」との関連がわかりやすい。  
  既出・学習コスト: 「分」「数」は既出済み。
* segment / 线段 /  
  選定理由: [数]「線分(line segment)」の中国語標準は「线段」。  
  既出・学習コスト: 「线」「段」は新出だが数学における“線”・“段”の概念は日本語とも直感的に対応。
* tangent / 切线 /  
  選定理由: [数]「接線(tangent)」＝中国語では「切线」が一般的。  
  既出・学習コスト: 「切」は新出だが画数も少なく、イメージしやすい。
* kvadratur / 求积 /  
  選定理由: [数]「求積法(quadrature)」に相当し、中国語では「求积」が用いられる。  
  既出・学習コスト: 「求」「积」は新出。いずれも比較的初級レベルの漢字で、他の算術用語でも使われる可能性あり(例: “体积”など)。
* racional / 有理数 /  
  選定理由: [数]「有理数(rational number)」が中国語の定訳。「有理」だけでも形容可能だが、数学用語としては「有理数」が安定。  
  既出・学習コスト: 「有」は新出、「理」「数」は既出。これで“無理数(irrational number)”等への応用も見込みやすい。
* kvocient / 商 /  
  選定理由: [数]「商(quotient)」。単独1字で「商」は“割り算の商”の意味を表せる。  
  既出・学習コスト: 新出の1文字だが、漢字1字で明快。
* koeficient / 系数 /  
  選定理由: [数]「系数(coefficient)」が定訳。  
  既出・学習コスト: 「系」は新出だが「数」は再利用。「系数」はよく使われる数式用語。
* renesanc / 文艺复兴 /  
  選定理由: [史]「ルネサンス(Renaissance)」＝中国語では「文艺复兴」が歴史用語として一般的。  
  既出・学習コスト: 「文」「艺」「复」「兴」中、「复」は「复数」などで既出。残り3文字は新出。
* reformaci / 宗教改革 /  
  選定理由: [史]「宗教改革(Reformation)」は中国語でも「宗教改革」または「宗教改革运动」。4文字でやや長いが標準的用語。  
  既出・学習コスト: 「宗」「教」「改」「革」はいずれも新出だが、歴史用語として不可欠。
* krist / 基督 /  
  選定理由: [宗]「キリスト(Christ)」＝中国語で「基督」。日本語でも「基督教(キリスト教)」の表記例があり、連想しやすい。  
  既出・学習コスト: 「基」「督」ともに新出。宗教分野を表す重要語彙。
* jesu / 耶稣 /  
  選定理由: [宗]「イエス(Jesus)」＝中国語表記は「耶稣」。  
  既出・学習コスト: 「耶」「稣」はともに新出だが、キリスト教用語としては不可欠。

jezuit / 耶稣会 /

* + 選定理由: 「イエズス会」の中国語表現として標準的な「耶稣会」を採用。
  + 既出・学習コスト: ここで「耶」「稣」「会」の3文字が登場。「会」は後続でも再利用。

1. bibli / 圣经 /
   * 選定理由: 「聖書」の中国語として一般的な「圣经」を採用。
   * 既出・学習コスト: 「圣」「经」はいずれも新出だが、宗教関連で登場頻度の高い語。
2. evangeli / 福音 /
   * 選定理由: 「福音書」の核心部「福音」を2文字で簡潔に表現。
   * 既出・学習コスト: 「福」「音」いずれも新出だが、いずれも比較的よく知られる字。
3. eklezi / 教会 /
   * 選定理由: 教会組織（建物ではなく制度・共同体としての教会）を指す際、漢語では「教会」が分かりやすい。
   * 既出・学習コスト: 「教」「会」。ここで「会」を再利用。
4. sinagog / 犹太会堂 /
   * 選定理由: ユダヤ教の礼拝・集会所を意味する標準的表現が「犹太会堂」。
   * 既出・学習コスト: 「犹」「太」「会」「堂」。既出の「会」を再利用。
5. kongregaci / 教团 /
   * 選定理由: 「宗教団体」を示す短い表現として「教团」を採用（「団体」全体を略して「团」でも意思は通じる）。
   * 既出・学習コスト: 「教」再利用、「团」新出。
6. religi / 宗教 /
   * 選定理由: 「宗教」そのものを指す標準的な2文字表現。
   * 既出・学習コスト: 「宗」新出、「教」再利用。
7. sekt / 宗派 /
   * 選定理由: 「宗派」を表す際、最もストレートな表記。
   * 既出・学習コスト: 「宗」再利用、「派」新出。
8. paroĥ / 教区 /
   * 選定理由: カトリックや聖公会などの「教区」を指す標準的な2文字表現「教区」。
   * 既出・学習コスト: 「教」再利用、「区」新出。
9. parok / 教区 /

* 選定理由: 上記「paroĥ」と同様、教区を指す場合は同じ「教区」で十分区別可能と判断。
* 既出・学習コスト: 「教」「区」いずれも再利用。

1. monoteism / 一神论 /

* 選定理由: 「一神論」に相当する既存の中国語表現が「一神论」。
* 既出・学習コスト: 「一」「神」「论」がここで新出。

1. politeism / 多神教 /

* 選定理由: 「多神教」の既存表現そのまま。
* 既出・学習コスト: 「多」新出、「神」再利用（11項目で出現）、「教」再利用。

1. katolik / 天主教 /

* 選定理由: カトリックを指す一般的名称は「天主教」。
* 既出・学習コスト: 「天」「主」新出、「教」再利用。

1. puritan / 清教徒 /

* 選定理由: 「ピューリタン」の漢語表現「清教徒」が広く定着している。
* 既出・学習コスト: 「清」新出、「教」再利用、「徒」新出。

1. pilgrim / 朝圣 /

* 選定理由: 「巡礼する」を意味する動詞・行為として、現代中国語では「朝圣」が通用。
* 既出・学習コスト: 「朝」新出、「圣」再利用（2項目「圣经」など）。

1. preĝ / 祈 /

* 選定理由: 祈る行為全般を端的に表すなら、一文字の「祈」が分かりやすい。
* 既出・学習コスト: 「祈」新出。画数は比較的少なく済む。

1. kult / 礼拜 /

* 選定理由: 礼拝・崇拝を表す一般的表現。「礼拝(礼拜)」はいずれも簡体字圏で認知度が高い（「礼拜」は週の意もあるが文脈で区別可）。
* 既出・学習コスト: 「礼」新出、「拜」新出。

1. liturgi / 礼仪 /

* 選定理由: キリスト教などの典礼・礼拝式を総称しうる語として「礼仪」(礼儀・儀礼)。
* 既出・学習コスト: 「礼」再利用、「仪」新出。

1. orden / 勋章 /

* 選定理由: 「勲章」の中国語で代表的なのは「勋章」。
* 既出・学習コスト: 「勋」「章」いずれも新出。どちらもやや画数は多めだが標準用法。

1. bapt / 洗礼 /

* 選定理由: 「洗礼」を指す最も一般的表現。
* 既出・学習コスト: 「洗」新出、「礼」再利用。

1. konsekr / 祝圣 /

* 選定理由: 「聖別する」「清める」の宗教的文脈で広く用いられる語として「祝圣」。
* 既出・学習コスト: 「祝」新出、「圣」再利用。

1. anunciaci / 报喜 /

* 選定理由: キリスト教文脈での「受胎告知(天使報喜)」を簡潔に示すなら「报喜」が分かりやすい。
* 既出・学習コスト: 「报」「喜」いずれも新出。厳密には「天使报喜」など4文字表現もあるが、短縮形を優先。

epifani / 显节 /  
　「主显节」(主の顕現の祭)の略。“顕れ”を意味する「显」と“祭”を表す「节」を組み合わせた /  
　「节」を他の宗教祭日にも流用し、一貫して「～节」と表記する方針。

1. pentekost / 五旬节 /  
   　中国語での正式名称「五旬节」(聖霊降臨祭)をそのまま採用 /  
   　「节」は上記(1)等と同じ祭日表現。「五旬」は日本人にはやや馴染み薄だが、中国語圏では定訳。
2. pask / 复活节 /  
   　復活祭を意味する一般的な中国語「复活节」を採用 /  
   　「节」を他の教会暦行事と共通化し、学習コスト低減を図る。
3. advent / 降临节 /  
   　キリスト教用語として「降临」(降臨)を使い、祭日であることを「节」で示した /  
   　すでに登場している「节」と、新規の「降」（“下り来る”の意）を組み合わせ。
4. kruc / 十字 /  
   　「十字架」の“十字”部分のみを抜き出して簡潔化。視覚的にも十字形を連想できる /  
   　「十」は画数が少なく、他での再利用もしやすい。
5. krucifiks / 十架 /  
   　本来は「十字架」(三文字)だが、1文字減らして「十架」として短縮。意味は十分通じる /  
   　「十」は(5)から継続利用、「架」はやや画数多めだが広く使われる常用字。
6. hosti / 圣饼 /  
   　聖餐式のパンを中国語で「圣饼」(聖なるパン)と呼ぶ表現に倣う /  
   　「圣」は後述のsanktなどにも転用可能。「饼」は“餅”を意味し日本語でも概ね連想しやすい。
7. komuni / 圣餐 /  
   　聖餐式は中国語で一般に「圣餐」。直訳で“聖なる食事” /  
   　(7)の「圣」と同じ字を使うことで重複利用。「餐」はやや画数多いが、他にも転用可能。
8. eŭkaristi / 圣餐 /  
   　Eucharistも(8)同様、中国語では「圣餐」と呼ぶことが多い /  
   　(8)と同一割当とし、学習負担を軽減。
9. kobold / 妖 /  
   　小悪戯な精霊全般を、“妖”的なイメージで1文字化 /  
   　(11), (13), (14)など類似する小妖精・ゴブリン系もまとめて「妖」に統合すれば字数削減できる。
10. gnom / 妖 /  
    　地の精(gnome)も含め、妖精・小鬼系は「妖」として一括 /  
    　(10)と同一割当につき追加学習コストなし。
11. anĝel / 天使 /  
    　中国語では「天使」が定番。1文字化は難しいため2文字のまま /  
    　「天」は「天国」(20)などとも関連。「使」は比較的画数少なく、初級漢字として学習しやすい。
12. elf / 妖 /  
    　エルフも広義の“妖精”として扱い、(10)(11)同様「妖」を再利用 /  
    　分化したい場合は「精」や「妖精」も考えられるが、1文字に絞るなら「妖」で統合。
13. fe / 妖 /  
    　妖精(fairy)の代表例として同様に「妖」で兼用 /  
    　(10)(11)(13)と同じく重複割当。
14. monstr / 怪 /  
    　怪物を表す「怪」1文字で対応 /  
    　日本語の「怪獣」などとも近く、連想しやすい。
15. fantom / 鬼 /  
    　幽霊・亡霊にあたる単語として「鬼」1文字を採用 /  
    　日本語圏でも「鬼＝おに」や「幽霊」系を連想しやすい。
16. diabl / 魔 /  
    　悪魔(demon/devil)系を中国語では「恶魔」「魔鬼」などというが、ここでは単独の「魔」/  
    　(18)とも共用し、「魔」1文字を汎用“デビル・デーモン”と捉える。
17. demon / 魔 /  
    　(17)同様、「魔」を流用 /  
    　「恶魔」と完全に分けたい場合は別字もあり得るが、最小限ならまとめて良い。
18. furi / 怒 /  
    　復讐の女神(Furies)は本来「复仇女神」などが正確だが、1文字化が難しいため“激しい怒り”を象徴する「怒」 /  
    　厳密さよりも“意味連想のしやすさ”を優先した例。
19. paradiz / 天国 /  
    　天国・楽園を「天国」とし、意味を直感しやすいようにした /  
    　「天」は(12)の天使と同じ字。「国」も初級レベルの常用字。
20. eden / 伊甸 /  
    　中国語で「伊甸园」(Edenの園)が定番だが、2文字に縮めて「伊甸」 /  
    　音訳要素「伊」と原義を示す「甸」で妥協。
21. sankt / 圣 /  
    　“神聖な/聖なる”を表す中国語「圣」。日本語の「聖」と同じ語源 /  
    　(7)「圣饼」, (8)(9)「圣餐」と同一字を再利用し、学習コストを抑える。
22. di / 神 / 「神」の一般的意味（神性・神格）を表すため / 今後「神」を他の語根にも使い回す可能性が高い
23. Di## / 主 / キリスト教文脈で唯一神を指す「主」に相当 / 「神」との区別をつけるため単独字「主」を割当
24. diakon / 执事 / カトリック等で「助祭」に相当する語。中国語で「执事(deacon)」が広く用いられる / 「执」「事」いずれも既出でなければ今後使い回す可能性あり
25. orakol / 神谕 / 「神の託宣」を意味する標準的な中国語表現 / 「神」は既出字を再利用、「谕」は新規
26. providenc / 天意 / 「神の摂理」を中国語では「天意」などが比較的通じやすい / 「天」は画数が少なく日本人にも連想しやすい
27. altar / 祭坛 / 「祭壇」は中国語で一般的に「祭坛」。1文字「坛」だとやや広義になるため熟語を採用 / 「祭」や「坛」は他でも応用可能
28. maŭzole / 陵 / 「陵」は帝王や大人物の大きな墓所（霊廟、廟よりも「大きな墓」寄り）として認知されやすい / 1文字で簡潔なので採用
29. pagod / 塔 / 仏塔・塔全般を意味する最も基本的な字 / 「塔」は日本語にも同形で伝わりやすい
30. katedral / 大教堂 / 「大聖堂」は中国語で「大教堂」が標準的 / 「教」「堂」は今後も宗教関連で使い回しが効く
31. moske / 清真寺 / イスラム教の礼拝所を示す定訳 / 3文字だが、中国語・日本語双方で把握しやすい
32. templ / 寺庙 / 一般的な「寺院」の意を中国語で示すなら「寺庙」が最も無難 / 「寺」「庙」はともに画数少なめ
33. kript / 地下圣堂 / [宗]地下聖堂を示すため、やや長いが「地下圣堂」が分かりやすい / 「圣」「堂」は既出文字との組合せ
34. sakristi / 圣器室 / 聖具室に相当する語として「圣器室」を提案 / 「圣」既出利用。「器」「室」は他でも用いる可能性あり
35. sakrament / 圣事 / カトリックの七つの秘跡＝「七件圣事」が定訳 / 「圣」は既出再利用、「事」も(3)と共通
36. kapucen / 未対応 / カプチン会修道士の標準表記は漢字多用(例:「嘉布遣会士」など)で煩雑 / 学習コスト優先で今回は割当見送り
37. legat / 特使 / 「教皇特使」に相当するが、簡潔に「特使」と割り当て / 「特」「使」は汎用的で再利用可能
38. nunci / 教廷使 / 「教皇特派大使」=「教廷大使」だが、少し短縮して「教廷使」 / 「教」は再利用、「廷」「使」も汎用性あり
39. kancelier / 大法官 / 「大法官」「首席判事」など訳はあるが、中国語圏での「大法官」が分かりやすい / 「大」は既出再利用、「法」「官」は新規
40. kardinal / 枢机卿 / 枢機卿は中国語で「枢机卿」が定訳 / 「机」は簡体字で画数少なめ
41. kanonik / 参事 / 教会参事会員を簡潔に「参事」と表記 / 「参」「事」は今後も再利用可能
42. prior / 副院长 / 小修道院長に相当。大修道院長(=アバト)との差異を出すため「副院长」を採用 / 「副」以外は今後も再利用可能
43. abat / 院长 / 修道院長(アバト)に相当。「院长」でシンプルに表記 / 「院」「长」は再利用範囲に含めやすい

vikari

* + 提案: 副牧
  + 理由: 「副」は「助任・副～」といった補佐的な意味を示し、「牧」は「牧師」「牧職」などで用いられ、キリスト教関連の役職を連想しやすい。二文字で「assistant pastor/priest（助任司祭）」のニュアンスを表せる。
  + 学習コスト・既出との関係: 以降の「牧」を用いる語根（pastr など）とも関連付けが可能。字数は2文字だが、どちらも比較的画数は少ない。

1. apostol
   * 提案: 使徒
   * 理由: 中国語でも日本語でも「apostle＝使徒」は定訳が「使徒」。非常に認知度が高い。
   * 学習コスト・既出との関係: 「使」「徒」は汎用的によく使われる漢字なので学習コストも比較的低め。
2. episkop
   * 提案: 主教
   * 理由: 中国語のカトリック/プロテスタント用語で「bishop」を指す定訳。「司教」とも言うが、中国大陸では「主教」のほうが一般的。
   * 学習コスト・既出との関係: 「主」は画数が少なく馴染みやすい。既存の漢字との重複も期待できる。
3. sacerdot
   * 提案: 司祭
   * 理由: カトリック用語で「司祭」は日中ともに（やや専門的だが）通じる表現。簡体字でも同形「司祭」を使用する場合がある。
   * 学習コスト・既出との関係: 「司」は「司教」「司儀」など多方面に応用可能。「祭」も宗教儀式を連想させるため覚えやすい。
4. pastr
   * 提案: 牧师
   * 理由: 中国語で「牧师」はプロテスタントの「牧師」を指す標準的な表現。日本語でも「牧師」の意味を推察しやすい。
   * 学習コスト・既出との関係: 「牧」は先の「副牧」と同じ字を使い回しできる。「师」は「先生」「教师」などでも常用される字。
5. monaĥ
   * 提案: 修士
   * 理由: カトリック修道会や正教会における男性修道者を中国語で指す場合、「修士(修道士)」と呼ぶことが多い。仏教の「僧」とは別区分。
   * 学習コスト・既出との関係: 「修」は「修行」「修道」など、今後も宗教関連で使い回しができそう。
6. monak
   * 提案: 修士
   * 理由: ほぼ「monaĥ」と同義なので同じ漢字で対応。「修道士」の意味合い。
   * 学習コスト・既出との関係: 上記(monaĥ)と同一割当で学習負担を削減。
7. novic
   * 提案: 见习
   * 理由: 「novice（修練士・初心者）」のニュアンスを最短で示すには「见习(見習)」が分かりやすい。宗教専門用語の「修練士」を一文字で表すのは困難なため、より汎用的な「見習い」の語を流用。
   * 学習コスト・既出との関係: 「见」は中国語の初級漢字で、「习」は学習・練習の意味があり応用範囲が広い。
8. katekist
   * 提案: 教理
   * 理由: 本来は「教理员」「教理师」などの3文字が正確だが、2文字で簡潔に「教理(カテキズム)」を示せる。教え（教）＋道理（理）で「教義の教授者」を連想。
   * 学習コスト・既出との関係: 「教」「理」は今後も「教育」「理解」など、さまざまに再利用できる。
9. kateĥist

* 提案: 教理
* 理由: 上記(katekist)と同義のため同じ熟語を流用。
* 学習コスト・既出との関係: 同上。

1. urin

* 提案: 尿
* 理由: 最もシンプルに「尿(にょう)」を1文字で示す。動詞「排尿する」にも名詞「尿」にも近い。
* 学習コスト・既出との関係: 画数が少なく、かつ日中で意味がほぼ共通。

1. sekreci

* 提案: 分泌
* 理由: 中国語・日本語いずれも「分泌」と表記するのが標準。単独の「泌」だけではやや意味が通りづらい。
* 学習コスト・既出との関係: 「分」は再使用頻度が高い。「泌」はやや専門的だが、生理系表現に他で流用もあり得る。

1. ekskrement

* 提案: 粪
* 理由: 「糞便」「糞」の簡体字は「粪」。やや専門寄りだが「屎(うんち)」よりは公的・医学的な文脈でも使いやすい。
* 学習コスト・既出との関係: 1文字にまとまるため学習コストは比較的低いが、やや画数は多め。

1. sang

* 提案: 血
* 理由: 「血」は最も直接的・シンプルな表記。
* 学習コスト・既出との関係: 日常語彙にも登場し、画数も少ない。

1. sperm

* 提案: 精
* 理由: 通常は「精子」と2文字だが、1文字で「精」は「精液/精子」の概念を連想できる。
* 学習コスト・既出との関係: 「精神」「精力」などで頻出のため応用しやすいが、多義のため注意が必要。

1. uter

* 提案: 子宫
* 理由: 中国語で「子宫」は「子宮」の標準的な簡体表記。1文字では表せないため2文字熟語を採用。
* 学習コスト・既出との関係: 「子」は再使用頻度が非常に高い。「宫」(宮)も「宫殿」などで使用例あり。

1. testik

* 提案: 睾丸
* 理由: 「睾丸」は医学用語として日中ともに（字形は若干異なる場合もあるが）通じる標準表現。1文字化は困難。
* 学習コスト・既出との関係: 画数はやや多いが、他に適切な短縮形がほぼ存在しない。

1. ren

* 提案: 肾
* 理由: 簡体字の「肾」は日本語の「腎」に相当。1文字で「腎臓」を表すので最適。
* 学習コスト・既出との関係: 生理・医学関連でたびたび使われる可能性あり。

1. hepat

* 提案: 肝
* 理由: 中国語・日本語とも「肝臓」はしばしば「肝」で略されるほど代表的。
* 学習コスト・既出との関係: 画数が少なく、他の内臓系漢字（脾、胆 等）と並べやすい。

1. gal

* 提案: 胆
* 理由: 「胆汁」の最短表記として単に「胆」。日常語でも「胆量」「膽大」など使われる。
* 学習コスト・既出との関係: ほかの内臓漢字と同様、1文字で意味が通るのは学習に有利。

1. lien

* 提案: 脾
* 理由: 「脾臓」を指す際、中国語では「脾」を略用することが多い。
* 学習コスト・既出との関係: 内臓系でまとめられるため、学習効率が良い。

1. peritone

* 提案: 腹膜
* 理由: 「腹膜」は標準的医学用語で、1文字化はほぼ不可能。
* 学習コスト・既出との関係: 画数は多めだが、ほかに短縮形がないため2文字熟語とした。

ezofag / 食管 /  
　- 選定理由: 中国語で「食管」は医学的に「食道」と同義で使われる。日本語の「食道」に近く、字面から“食物が通る管”とイメージしやすい。  
　- 既出等: 「管」は後述の「気管(traĥe)」「支気管(bronk)」などで再利用し、偏旁・学習コストを抑える。

1. intest / 肠 /  
   　- 選定理由: 中国語の簡体字で腸を「肠」と書く。画数が少なく、日本語「腸」と対応関係が分かりやすい。  
   　- 既出等: 新規部首だが1文字なので学習負担はそこまで大きくない。
2. ventr / 腹 /  
   　- 選定理由: 「腹」は日本語でも「はら」「ふく」と読み、意味を連想しやすい。中国語でも「腹部」として使われるため自然。  
   　- 既出等: 「肚(簡体7画)」という表記もあるがやや口語的。医学的には「腹」のほうが通じやすい。
3. stomak / 胃 /  
   　- 選定理由: 日本語・中国語ともに同じ字形の「胃」で通用し、シンプルに“胃”を指すのが明快。  
   　- 既出等: 一文字で画数も9画と比較的少なめ。
4. pulm / 肺 /  
   　- 選定理由: 「肺」は日中同形で“肺”を表す。画数(8画)も多くない。  
   　- 既出等: 特に他語根との共通部首はないが、一文字で簡潔。
5. traĥe / 气管(→気管の簡体字は「气管」) /  
   　- 選定理由: 中国語で「气管」は“トラケア(気管)”を指す標準用語。  
   　- 既出等: 「管」をezofag(食管)などでも再利用。ここでは「气」(4画)という簡体字も登場するが、学習コストは比較的低い。
6. bronk / 支气管 /  
   　- 選定理由: 中国語の「支气管」は“気管支”の直訳で、医学用語として定着。  
   　- 既出等: 「气管」と同じ「气」「管」を再利用し、「支」を加えただけで意味も明確。
7. vejn / 静脉 /  
   　- 選定理由: 中国語で“静脈”を「静脉」と表記。日本語の「静脈」と字形も近く、意味がわかりやすい。  
   　- 既出等: 「脉」は後述の「动脉」「大动脉」とも共通。
8. arteri / 动脉 /  
   　- 選定理由: 中国語で“動脈”を「动脉」と書く。日本語の「動脈」とほぼ同じで覚えやすい。  
   　- 既出等: 「脉」を再利用し、ここでは「动」を新しく追加。
9. aort / 大动脉 /  
   　- 選定理由: 中国語で“大动脉”は“aorta(大動脈)”に対応する一般的な呼称。  
   　- 既出等: 「动脉」をそのまま使い、「大」を加えて意味を拡張。
10. difteri / 白喉 /  
    　- 選定理由: 「白喉」は中国語の“ジフテリア”に対応。日本語圏でも“白喉”と書けばおおむね伝わる。  
    　- 既出等: 「白」は後述の「白内障(katarakt)」でも再利用。
11. difterit / 白喉 /  
    　- 選定理由: 上記 difteri と同一疾患(ジフテリア)を示すため、同じ「白喉」を割り当て。  
    　- 既出等: 新しい文字は増えない。
12. erizipel / 丹毒 /  
    　- 選定理由: 中国語で“丹毒”は“丹毒(erysipelas)”の標準的表現。  
    　- 既出等: 「毒」は次のsifilis(梅毒)でも再利用可能。
13. tif / 斑疹伤寒 /  
    　- 選定理由: 「チフス(typhus)」は中国語で正式には「斑疹伤寒」と呼ぶのが一般的。  
    　- 既出等: 4文字とやや長いが、正確さを優先。全て新出文字だが仕方ない部分。
14. sifilis / 梅毒 /  
    　- 選定理由: 中国語における“syphilis(梅毒)”の通称。日本語ともほぼ同じ形で理解しやすい。  
    　- 既出等: 「毒」はerizipel(丹毒)で再利用。
15. hidrofobi / 恐水症 /  
    　- 選定理由: 「恐水症」は中国語で“hydrophobia(恐水病)”を表す旧称の一つ。特に狂犬病の症状として“恐水”と呼ばれる。  
    　- 既出等: 「症」は本リスト内では他に出ていないが、医療分野全般で再利用余地が高い表記。
16. hipertrofi / 肥大 /  
    　- 選定理由: 中国語で「肥大」は医学用語“hypertrophy”に対応する。  
    　- 既出等: 「大」はaort(大动脉)で使用済。
17. katarakt / 白内障 /  
    　- 選定理由: 「白内障」は日中双方で“cataract”に対応する標準的表記。  
    　- 既出等: 「白」はdifteri(白喉)と重複利用。
18. diabet / 糖尿病 /  
    　- 選定理由: 「糖尿病」は中国語・日本語いずれでも“diabetes(糖尿病)”に対応し、意味が直感的。  
    　- 既出等: 「病」はのちの plik(纠发病) とも共用可能。
19. plik / 纠发病 /  
    　- 選定理由: 「糾髪病」の簡体字置換として「纠发病」を造語的に対応(正式名称は稀だが、意を汲み取りやすい)。  
    　- 既出等: 「病」はdiabet(糖尿病)で既出。「纠」「发」は新出だが字数を最小限にしたい意図で2文字＋「病」にまとめた。
20. kal / 胼胝 /  
    　- 選定理由: 中国語で“胼胝(胼胝体の『胼胝』と同字)”は医療・専門用語で“たこ・足のまめ”を指す。やや難字だが正式。  
    　- 既出等: 2文字とも新出。俗称として「老茧」などもあるが、医学的には「胼胝」が対応しやすい。
21. fav / 黄癣 /  
    　- 選定理由: 「黄癣」は中医学などで“favus(頭部白癬の一種)”を指し、日中で概ね認識される(日本語の「黄癬」に相当)。  
    　- 既出等: 2文字とも新出だが、真菌性疾患(癣)を示す典型表現。

skrofol / 瘰疬 / 古来より「瘰疬(るいれき)」として知られた病名であり、中国語でも同じ / 疒(病だれ)偏を含む2字だが、中医でも使われる比較的定番の表記

1. skabi / 疥 / 疥癬(かいせん)を示す際の代表的な1文字 / 疒偏。字数はやや多いが1字で意味がはっきりする
2. furunk / 疖 / 「疖(できもの)」は「furuncle(膿瘍・おでき)」に対応する中医用語 / 疒偏を再利用
3. pips / 未対応 / 鳥の舌病を示す一般的な1文字・熟語が見当たらないため未対応とする
4. tuberkul / 结节 / 「 tubercle＝結節」の標準訳。結核(结核)ではなく「結節(结节)」を重視 / 「结」は常用字で学習コストも低め
5. fistul / 瘘 / 瘻孔(ろうこう)の簡体字「瘘」。医療用語として定着 / 疒偏(病だれ)を再利用
6. pustul / 脓疱 / 「脓疱(膿疱)」は医学的にも標準的。1文字「疱」だけでは“ただの水疱”になりがちなので2文字 / 「脓(膿)」「疱」はそれぞれ比較的画数少なめ
7. tetan / 破伤风 / テタヌス(破傷風)の中国語標準表記 / 常用される3文字熟語だが医療現場で通じやすい
8. katalepsi / 僵直 / 「僵直(強直)」として症状を表すことが多い / 「僵」は日本語では馴染み薄だが、中国語医療用語では比較的通じる
9. herni / 疝 / ヘルニアを示す「疝」(疝気)が対応。古くからの中医用語 / 疒偏
10. ŝankr / 下疳 / 下疳(げかん)は中国語でも「下疳」。梅毒などの潰瘍性病変を指す / 比較的伝統的な表記
11. ulcer / 溃疡 / 潰瘍は通常「溃疡」と書く / 「疡」のみでは意味が曖昧なので2文字熟語を採用
12. kolik / 绞痛 / 「colic＝疝痛(せんつう)」とも言うが、現代では「绞痛(きょうつう)」が広く使われる / 日常医療用語にもなじむ
13. piroz / 烧心 / 胸やけを口語的に「烧心(焼心)」と言うことがある / 画数少なめで直感的
14. angin / 咽炎 / 咽頭炎・口峡炎などの総称的に「咽炎」と簡略化。厳密には「咽峡炎」等あるが2文字優先 / 「炎」はすでに他でも利用
15. febr / 发烧 / 「発熱」の口語表現として「发烧」が広く使われる / 画数も比較的少ない
16. inflam / 炎 / 炎症の総称に「炎」を単独使用 / 直感的かつ最少文字
17. epidemi / 疫 / 流行性伝染病のイメージで「疫」1文字 / 中医用語でも「疫病」は通じやすい
18. mal/varm/um## / 感冒 / 風邪を指す最も一般的な単語 / 「伤风」も可だが「感冒」の方が日常的
19. grip / 流感 / インフルエンザは「流感」が一般的 / 「流」「感」は双方とも常用
20. ekzem / 湿疹 / 湿疹の定訳 / 「湿」「疹」はいずれも病名表現に多用
21. podagr / 痛风 / 痛風は「痛风」が医学・日常双方で定着 / 「风」は再利用文字

disenteri

* + 痢疾 / 痢疾 / 「赤痢」を含む代表的な“下痢・赤痢”の総称として中国語でも通じる / 「痢(12画)」「疾(10画)」はいずれも“病気”を表す要素として、他の語根にも転用可能

1. morbil（はしか）
   * 麻疹 / 麻疹 / 中国語で「はしか」は「麻疹」が基本表記 / 「麻(11画)」は「麻风(=らい病)」でも再利用、「疹(10画)」も“皮膚に関わる病変”で今後応用可能
2. lepr（らい病）
   * 麻风 / 麻风 / 中国語の標準呼称「麻风(病)」から。日本語「麻風(まふう)」とも語源的に通じる / 「麻」は上記(2) と同じ、「风(4画)」は後述の「风湿(リューマチ)」でも再利用可
3. epilepsi（てんかん）
   * 癫痫 / 癫痫 / 中国語で「てんかん」は「癫痫」が最も標準的 / 「癫(17画)」「痫(13～14画)」とも画数は多めだが、中国語圏では定着した病名であり意味が確実に伝わる
4. skorbut（壊血病、ビタミンC欠乏症）
   * 坏血病 / 坏血病 / 中国語で壊血病は「坏血病」が一般的 / 「坏(7画)」「血(6画)」「病(10画)」。後述の「坏疽(=壊疽)」で「坏」を再利用
5. konvulsi（ひきつけ、けいれん）
   * 抽搐 / 抽搐 / 中国語で「けいれん」を表す常用語。「抽筋(こむら返り)」と似た感覚 / 「抽(8画)」「搐(12画)」は動作を表す部首(“扌”)を含み、他動詞派生にも応用可能
6. gangren（壊疽）
   * 坏疽 / 坏疽 / 中国語標準で「坏疽」。上記の(5) と同じ「坏」を再利用 / 「疽(10画)」は「疒(病垂れ)」＋「且」の組み合わせで、“潰瘍・壊疽”を示す
7. reŭmatism（リューマチ）
   * 风湿 / 风湿 / 中国語でリューマチは「风湿(病)」と略称されることが多い / (3)「麻风」の「风」を再利用。「湿(12画)」は「さんずい＋日＋一＋皿」構成
8. katar（カタル、粘膜炎）
   * 黏膜炎 / 黏膜炎 / 中国語では「黏膜炎」と表記するのが自然。日本語の「粘膜炎」に相当 / 「黏(17画)」「膜(14画)」「炎(8画)」はいずれも“粘膜”“炎症”関連で汎用性あり
9. artrit（関節炎）

* 关节炎 / 关节炎 / 中国語で「関節炎」は「关节炎」が標準 / 「关(6画)」「节(13画)」「炎(8画)」。すでに(9) で「炎」を再利用

1. ftiz（肺結核, phthisisの古名）

* 结核 / 结核 / 中国語で「結核症」は「结核」。特に肺結核なら「肺结核」だが、ここでは大項目として「结核」を採用 / 「结(9画)」「核(10画)」は後述(12)とも共通化

1. tuberkuloz（結核症）

* 结核 / 结核 / (11) と同じく結核を指すため、同一表記に統一 / (11)と同様に「结」「核」を再利用

1. variol（天然痘）

* 天花 / 天花 / 中国語で「天然痘」は「天花」。日本語でも「痘」の別名として通じる / 「天(4画)」「花(7画)」は日常でも用いられ学習コスト低め

1. kokluŝ（百日咳）

* 百日咳 / 百日咳 / 中国語でも「百日咳」はそのまま / 「百(6画)」「日(4画)」「咳(9画)」はいずれも頻出文字

1. skarlatin（猩紅熱、しょうこう熱）

* 猩红热 / 猩红热 / 中国語で「猩红热」が標準的。「猩紅熱」「猩紅熱症」とも / 「猩(12画)」「红(6画)」「热(10画)」。とくに「红」は汎用性が高く、再利用の可能性あり

1. diet（規定食・食事療法など）

* 饮食 / 饮食 / 医療・健康面の「食事管理」を表す際、中国語では「饮食控制」などの形もあるが、簡潔に「饮食」として提案 / 「饮(7画)」「食(9画)」は日常単語で学習しやすい

1. higien（衛生）

* 卫生 / 卫生 / 中国語の「卫生(衛生)」が最も簡潔 / 「卫(3画)」「生(5画)」とも画数が少なく、既出分との組合せもしやすい

1. san（健康な）

* 健 / 健 / 中国語「健康」の前半。1文字で「健(すこやか)」を表せる / 「健(10～11画)」は「健康」「健全」など複合語で頻出し、日本語でも直感しやすい

1. fart（暮らす、健康状態である）

* 活 / 活 / 「生活する」「生きる」を端的に表す。「過ごす」ニュアンスも含む / 「活(9画)」は「さんずい＋舌形部分」で、動詞として汎用性が高い

1. imun（免疫の）

* 免疫 / 免疫 / 中国語で「免疫」は「免疫」が確立。1文字の「免」だけでは意味が弱いので2文字優先 / 「免(7画)」「疫(9画)」は(22)「疫苗」との連携あり

1. inokul（接種する）

* 接种 / 接种 / 中国語「接种(ワクチン等を接種する)」が定訳 / 「接(11画)」「种(9画)」とも日常用いられる漢字であり、応用が効く

1. vakcin（ワクチン）

* 疫苗 / 疫苗 / 中国語の「ワクチン」は「疫苗」 / (20)「免疫」の「疫」を再利用。「苗(8画)」は「种苗(苗木)」にも使われ、理解しやすい

venen

* + 提案漢字: 毒
  + 選定理由: 「毒」は「毒物・有毒」を表す最も直接的な字。
  + 学習コスト: 画数は9画ほどで比較的少なめ。単独でも日中両言語で意味が通じる。

1. pest
   * 提案漢字: 疫
   * 選定理由: 「疫」は「疫病」(epidemic)を指し、ペスト(= 疫病の代表例)とも関連が深い。
   * 学習コスト: 7画で比較的少なく、「ペスト」という特定疾患だけでなく「疫病」一般も連想可能。
2. parazit
   * 提案漢字(熟語): 寄生虫
   * 選定理由: 中国語で「寄生虫」が標準的。1文字で「寄」や「虫」を当てると意味が足りない。
   * 学習コスト: 3文字だが「寄」「生」「虫」はいずれも初級～中級レベルで認知されやすい。
3. bacil
   * 提案漢字(熟語): 杆菌
   * 選定理由: 「杆菌」は「バチルス(棒状細菌)」の直訳。
   * 学習コスト: 「杆」(木偏+干)は新出だが、「菌」と組み合わせて明確にバチルスを表す。
4. bakteri
   * 提案漢字: 菌
   * 選定理由: 「细菌(細菌)」が正式だが、ここでは単に「菌」で汎用的な「バクテリア」全般を示す。
   * 学習コスト: 9画程度。「杆菌」と同じ「菌」を使い回すことで重複を減らす。
5. simptom
   * 提案漢字(熟語): 症状
   * 選定理由: 中国語で症状=「symptom」の定訳。1文字「症」だと病名・病状全般を含み曖昧。
   * 学習コスト: 「症」「状」の2文字だが、医療関係で頻出。
6. hospital
   * 提案漢字(熟語): 医院
   * 選定理由: 中国語では「医院」が最も標準的(「医院」= hospital/clinic 一般)。
   * 学習コスト: 「医」は医療関連の共通字として他でも使い回し可能。「院」も施設を示す字で比較的なじみがある。
7. pacient
   * 提案漢字(熟語): 病人
   * 選定理由: 「病人」は「患者」の意。フォーマルな「患者」(患+者)より画数がやや少なく意味がわかりやすい。
   * 学習コスト: 「病」は既出候補としても使いやすく、「人」は最も基本的な漢字の一つ。
8. apotek
   * 提案漢字(熟語): 药店
   * 選定理由: 中国語の「药店」(薬店)が薬局に相当。
   * 学習コスト: 「药」「店」はどちらも初歩レベルかつ画数も比較的少ない(薬9画/店8画)。
9. medicin
   * 提案漢字(熟語): 医学
   * 選定理由: 「医学」が文字通り「医学・医療学」。
   * 学習コスト: 「医」は上記(医院)と重複利用。「学」も基礎語で認知度が高い。
10. farmaci
    * 提案漢字(熟語): 药学
    * 選定理由: 「薬学・薬剤学」の意に相当。
    * 学習コスト: 「药」+「学」の組み合わせで既出(9と10)を再利用しやすい。
11. jalap
    * 提案漢字: 未対応
    * 選定理由: 「ヤラッパ」は非常にマイナーな薬草で、中国語でも明確な1文字表記が無い。
    * 学習コスト: 該当漢字が見当たらず、無理に当てるとかえって混乱を生むため割当を見送る。
12. narkot
    * 提案漢字(熟語): 麻醉
    * 選定理由: 「麻醉」は「麻酔する／麻痺させる」意で最も直接的。
    * 学習コスト: 2文字だが、ともに医療系でよく使う字。「麻」は“麻(ヘンプ)”由来で「麻痺」の連想も容易。
13. narkotik
    * 提案漢字(熟語): 麻醉药
    * 選定理由: 「narcotic(麻酔薬)」は中国語で「麻醉药」。
    * 学習コスト: 「药」は既出、他2文字(麻・醉)も13番で使っているので重複利用が可能。
14. medikament
    * 提案漢字(熟語): 药品
    * 選定理由: 「药品」は「医薬品」の意味に広く対応。
    * 学習コスト: 「药」は再利用、「品」は初出だが一般単語でわかりやすい。
15. drog
    * 提案漢字(熟語): 生药
    * 選定理由: 「生薬」を中国語で表す場合、「生药」または「药材」などが使われる。ここでは画数の少ない「生药」を採用。
    * 学習コスト: 「生」は「寄生虫」などで既出化の可能性。どちらも比較的基本的。
16. pilol
    * 提案漢字(熟語): 药片
    * 選定理由: 「錠剤」に近い意味の中国語は「片剂」「药片」。うち「药片」がやや口語的かつ分かりやすい。
    * 学習コスト: 「药」は再利用、「片」は4画と少ない。
17. plastr
    * 提案漢字(熟語): 膏药
    * 選定理由: 「膏药」は貼付薬(膏薬)の定番表現。
    * 学習コスト: 「药」は既出。「膏」は初出だが、やむを得ない部分。
18. homeopati
    * 提案漢字(熟語): 顺势疗法
    * 選定理由: 中国語で「ホメオパシー」は「顺势疗法」が最も定着している。
    * 学習コスト: 4文字(顺/势/疗/法)と長いが、標準的名称に準拠。
19. homeopat
    * 提案漢字(熟語): 顺势医
    * 選定理由: 「顺势疗法(19)の医師」を略して便宜的に「顺势医」。正式には「顺势疗法医师」等が長い。
    * 学習コスト: 「顺」「势」は19番と同じ、「医」は既出(医院など)で再利用可能。
20. hidroterapi
    * 提案漢字(熟語): 水疗
    * 選定理由: 中国語で「水疗」はスパ等で「水治療/水療法」を指す場合が多い。
    * 学習コスト: 「水」はごく基本的、 「疗」は(19)で既出。
21. kurac
    * 提案漢字(熟語): 治疗
    * 選定理由: 「治療する」=「治疗」(動詞・名詞両方で使いやすい)。
    * 学習コスト: 「治」は初出かもしれないが、「疗」はすでに19や21と同じ。

terapi

* + 提案: 疗
  + 理由: 簡体字「疗」は「治疗(治療)」「疗法(療法)」などに含まれ、医療の「療治」「セラピー」に相当する要素を直感しやすい。
  + 既出・学習コスト: 医療系の字として、同じ「医」や「治」と迷うが、画数の少ない「疗」を採用。

1. klinik
   * 提案: 诊
   * 理由: 「诊」は「诊所(診所,クリニック)」「门诊(門診,外来)」などに含まれる。臨床・診療のイメージをまとめて表せる。
   * 既出・学習コスト: 医療関連の字を増やさないよう「诊」に集約。
2. kirurg
   * 提案: 外
   * 理由: 「外科(外科医)」の「外」を抽出。中国語でも日本語でも「外科＝外科医」と連想可能。
   * 既出・学習コスト: 画数少なく、今後「外科」の構成要素としても使い回し可能。
3. ĥirurg
   * 提案: 外
   * 理由: 上記(kirurg)と同義。発音上の差異(ĥ/k)は、漢字側では同じ「外」にまとめ、区別は振り仮名などで対応。
   * 既出・学習コスト: 同上。
4. kirurgi
   * 提案: 外科
   * 理由: 「外科」は外科学・外科手術を指す標準的表現。一字での表記が難しいため熟語採用。
   * 既出・学習コスト: 既に「外」を使っているので、新出「科」1字のみで対応できる。
5. ĥirurgi
   * 提案: 外科
   * 理由: kirurgi と同義。こちらも同じく「外科」でまとめる。
   * 既出・学習コスト: 「外」「科」の再利用。
6. operaci
   * 提案: 手术
   * 理由: 中国語「手术(手術)」は医療行為としての「手術・オペ」を表す最も直接的な用語。
   * 既出・学習コスト: 「手」は初出、「术」は「技法」の意味も含む。医療関連語で使い回しやすい。
7. amput
   * 提案: 断
   * 理由: 「切断」「断肢」などで使われ、四肢切断のニュアンスを簡潔に示せる。
   * 既出・学習コスト: 一字で済む。日本語・中国語とも「断」の用例あり。
8. injekt
   * 提案: 注
   * 理由: 「注射(injection)」の「注」を抽出。文字通り「注ぎ込む」イメージで注射に連想しやすい。
   * 既出・学習コスト: 初出だが画数が少なく、他の語にも転用可能。
9. klister

* 提案: 灌肠
* 理由: 中国語で「灌肠(かんちょう)」は浣腸・enemaにあたる標準的表現。
* 既出・学習コスト: やや画数が多いが、一字で済ませるのが難しいため熟語を採用。

1. zuav

* 提案: - (未対応)
* 理由: アルジェリア歩兵(Zouave)を一字で直感的に示す漢字は存在せず、短い熟語化も一般的でないため対応を見送る。
* 既出・学習コスト: 特殊軍隊名で汎用性が乏しいためスキップ。

1. sieĝ

* 提案: 围
* 理由: 「围城(城を囲む)」「包围(包囲)」などに含まれる。城塞を取り囲む「siege」のイメージ。
* 既出・学習コスト: 初出だが画数は少なく、軍事以外でも「囲む」意味で転用可能。

1. embusk

* 提案: 伏
* 理由: 「埋伏(待ち伏せ)」「伏击(伏撃,急襲)」などに含まれ、ambushの核心イメージ。
* 既出・学習コスト: 単体8画と比較的少なく、再利用しやすい。

1. arm##

* 提案: 武
* 理由: 「武装」「武器」の「武」。武力や武具など「軍事的に武装する」意味をコンパクトに示せる。
* 既出・学習コスト: 軍事関連として一字でわかりやすい。以後も武関連で流用可能。

1. arm

* 提案: 武
* 理由: 上記(arm##)と同様。「武器/武装」で軍事的「arm」を一括表現。
* 既出・学習コスト: 同字再利用で追加コストなし。

1. mobiliz

* 提案: 动
* 理由: 「动员(動員する)」の「动」。日本語「動」に相当し、「人や物を動かす」のニュアンスと合致。
* 既出・学習コスト: 初出だが画数は少ない。様々な「動作」系語に流用可。

1. rekrut

* 提案: 招
* 理由: 「招募(募集/新兵を募る)」「招集」などに含まれる。「招く」の基本義から「人を呼び集める」ニュアンスが近い。
* 既出・学習コスト: 軍事以外にも「招待」「招聘」などで使われ汎用度が高い。

1. kanon

* 提案: 炮
* 理由: 「大炮(大砲)」の「炮」。中国語では「炮」が砲全般を指す場合あり、日本語の「砲」に対応。
* 既出・学習コスト: 初出だが画数は多くない(9画)。

1. munici

* 提案: 弹
* 理由: 「弹药(弾薬)」の「弹」。銃弾・弾薬・砲弾を広く指す。
* 既出・学習コスト: 軍事関連で幅広く用いられる。日本語の「弾」に相当し連想しやすい。

1. artileri

* 提案: 炮
* 理由: 「炮兵(砲兵隊)」などから転用。砲全般を示す字を再利用し、学習コストを抑制。
* 既出・学習コスト: 既にkanonでも採用済みの「炮」を流用し、追加コストゼロ。

1. grenad

* 提案: 弹
* 理由: 中国語「手榴弹(手榴弾)」で用いられる「弹」を流用。爆発系弾薬を総称する意味でも合致。
* 既出・学習コスト: municiと同じ「弹」を使い回し、学習コスト削減。

1. torped

* 提案: 雷
* 理由: 「鱼雷(魚雷)」に含まれる「雷」(雷＝爆発物や地雷・機雷などを連想)が分かりやすい。
* 既出・学習コスト: 新規1字だが、他の爆発物（地雷・水雷）等とも関連し応用可能。

salv

* 提案: 齐射
* 理由: 「salvo (一斉射撃)」に対応する中国語表現「齐射」を踏襲。
* 既出・学習コスト: 「齐(斉)」は日本人にも「一斉」のイメージで比較的わかりやすい。画数も比較的少ない。

1. halebard

* 提案: 戟
* 理由: 「halberd (ほこ/やりに類する武器)」の漢語としては「戟」が古来からの呼称。
* 既出・学習コスト: 新規文字だが、他の軍事用具との重複は難しいため割当。

1. afust

* 提案: 炮架
* 理由: 「砲架 (gun carriage)」をそのまま簡体字化。「炮」は簡体字の「砲」。
* 既出・学習コスト: 後続の「kazemat (炮郭)」などで「炮」を再利用。

1. kazemat

* 提案: 炮郭
* 理由: 「砲郭 (casemate)」の直訳。中国語では必ずしも一般的な用語ではないが、「炮」を再利用しつつ対応。
* 既出・学習コスト: 「炮」はafustと同じ、「郭」はやや画数が多めだが、単独で代替しにくいため採用。

1. piked

* 提案: 哨
* 理由: 「picket,哨兵,小哨」に相当。中国語で「哨」は哨所・哨兵など「見張り」「小哨」の意味。
* 既出・学習コスト: 新規文字だが用途がはっきりしており、短く画数もそれほど多くない。

1. ponton

* 提案: 舟
* 理由: 平底舟(ポンツーン)を厳密に1文字化は難しいが、「舟」自体は「ボート」「船」を示す基本字。
* 既出・学習コスト: 単純で画数も少なく、学習負担は低い。

1. eskadr

* 提案: 舰队
* 理由: 「squadron (艦隊に準ずる海軍部隊)」→ 中国語では「舰队」が最も近い。
* 既出・学習コスト: 「队」は後に「親衛隊」や「軍隊」などでも使用し、再利用を図る。

1. admiralitat

* 提案: 海军部
* 理由: 「海軍本部(admiralty)」→ 中国語で「海军部」または「海军司令部」。簡略化して「海军部」。
* 既出・学習コスト: 「军」は後段で多用。「海」と「部」は新規だが妥当性重視。

1. gvardi

* 提案: 亲卫队
* 理由: 「親衛隊 (elite guard)」の中国語「亲卫队」を採用。
* 既出・学習コスト: 「亲」はここで新出、「卫」「队」は軍関連で再利用可能(「舰队」「军队」など)。

1. divizi

* 提案: 师
* 理由: 中国語の「師団(division)」に当たる単字は「师」。
* 既出・学習コスト: 単純で画数少なめ。部隊階級をシンプルに整理できる。

1. kazern

* 提案: 兵营
* 理由: 「兵営(兵舎, 兵隊の宿営地)」に対応。Barracksを表す一般的な中国語。
* 既出・学習コスト: 「兵」は後に「步兵(歩兵)」等で再利用。「营」は後述のbatalionでも再利用。

1. infanteri

* 提案: 步兵
* 理由: 「歩兵(infantry)」に該当する標準的な中国語。
* 既出・学習コスト: 「兵」はkazern(兵营)で登場済み。「步」は新出だが画数少なめ。

1. skadr

* 提案: 骑兵连
* 理由: 「騎兵中隊(cavalry squadron)」を中国語で表すと「骑兵连」が比較的整合性がある。
* 既出・学習コスト: 「骑兵」は後述(または前後)のkavaleriと重複し得る。「连」は中規模部隊に再利用可能な階級字。

1. kavaleri

* 提案: 骑兵
* 理由: 「騎兵隊(cavalry)」の中国語一般呼称は「骑兵」。
* 既出・学習コスト: 「骑」「兵」ともに既出となり学習負担を抑えられる。

1. brigad

* 提案: 旅
* 理由: 中国語で「旅団(brigade)」に対応する階級単字は「旅」。
* 既出・学習コスト: 単純で画数も比較的少ない。

1. regiment

* 提案: 团
* 理由: 中国語で「連隊(regiment)」→「团」。
* 既出・学習コスト: 今後「軍団(军团)」等にも登場し得る「团」をここで導入。

1. batalion

* 提案: 营
* 理由: 中国語で「大隊(battalion)」→「营」。
* 既出・学習コスト: 既にkazern(兵营)で出現済みの「营」を再利用。

1. legi

* 提案: 军团
* 理由: 古代ローマの「レギオン(legion)」など「軍団」と呼ばれる単位に近い→ 中国語「军团」。
* 既出・学習コスト: 「军」は後述や既出で多用、「团」もregimentで導入済み。

1. arme

* 提案: 军队
* 理由: 「軍隊(army)」の最も一般的な中国語表現。
* 既出・学習コスト: 「军」は既出(海军部/军团など)、「队」は艦隊(舰队)などで再利用。

1. korpus

* 提案: 兵团
* 理由: 「軍団(army corps)」にも「军团」を使うケースが多いが、「legi(军团)」との差別化で「兵团」に。
* 既出・学習コスト: 「兵」は歩兵・兵营など既出、「团」もregimentで既出。

1. aviad

* 提案: 航空
* 理由: 「航空(aviation)」。単文字では難しく、意味的に最も直接的。
* 既出・学習コスト: 「航」「空」ともに軍事関係で汎用性が高いが、ここで初登場。

1. aviad/il##

* 提案: 飞机
* 理由: 「航空機」を表す標準的簡体字。「飞(飛)」「机」は共に画数少なめで分かりやすい。
* 既出・学習コスト: 新規2文字だが、日常的にも頻出する語形。

1. aeroplan / 飞机 /  
   飛行機を意味する標準的な中国語表現は「飞机」。  
   / 既出の「飞(flug)」＋「机」(機械などに使う)という構成。日本語の「飛行機」と同じ連想がしやすい。
2. flug / 飞 /  
   「飛ぶ」「飛行」を直感的に表す簡体字として「飞」を採用。  
   / 画数が少なく、日本語「飛」にも通じるので覚えやすい。
3. pilot / 飞行员 /  
   中国語でパイロットを指す最も標準的な表現は「飞行员」。  
   / 「飞(flug)」「行」「员」(～員)の組み合わせで“飛行する人”の意。やや文字数は多いが、中国語圏・日本語圏どちらも意味を理解しやすい。
4. fregat / 护卫舰 /  
   フリゲート艦は中国語で「护卫舰」が標準的。  
   / 「护」「卫」「舰」と3文字だが、軍事用語として定訳があるため採用。単字での簡易化は難しい。
5. paraŝut / 降落伞 /  
   パラシュートの中国語は「降落伞」(“降り落ちる傘”)が一般的。  
   / 3文字になるが、単字で示すのは困難。日本語「落下傘」と同じイメージで覚えやすい。
6. helikopter / 直升机 /  
   ヘリコプターは中国語で「直升机」。  
   / 「直」「升」「机」で“まっすぐ上昇する機械”の意。既出の「机」と同じ字を活用している。
7. ambulanc / 救护车 /  
   救急車の中国語表現は「救护车」。  
   / 「救」「护」「车」の組合せ。“保護して救う車”のイメージ。2文字程度では省略困難。
8. kurier / 信使 /  
   「急使」も日中で何とか通じそうですが、中国語では「信使」（“メッセンジャー”）が自然。  
   / 既出文字はないが、それぞれ画数は比較的少なめ。
9. ekspres / 特快 /  
   「特別に速い」列車や便などを示す際によく使われる中国語表現は「特快」。  
   / 「特」と「快」の2文字と比較的短い。日本語でも「特急」に近く、連想しやすい。
10. aren / 竞技场 /  
    闘技場やアリーナを表す中国語として「竞技场」が一般的。  
    / 「竞」「技」「场」は複数文字だが、他の競技関連語にも使える要素を含む(「競」「技」「場」)。
11. hipodrom / 赛马场 /  
    競馬場は中国語で「赛马场」。  
    / 「赛」(競う)「马」(馬)「场」(場所)で覚えやすく、文字数も3つにまとまる。
12. cirk / 圆形竞技场 /  
    （古代ローマ等の）円形競技場を示す場合、中国語では「圆形竞技场」と表現されることが多い。  
    / 「圆」(丸い)「形」(形状)「竞」「技」「场」。“馬戲団(サーカス)”という意味ではないため注意。
13. amfiteatr / 圆形剧场 /  
    アンフィシアターは「圆形剧场」(直訳:円形の劇場)。  
    / 「剧」(劇)が新出だが、「圆」「形」「场」は既出の文字と組み合わせ可能。
14. gimnast / 体操教练 /  
    「体操教師」に近い中国語としては「体操教练」(体操コーチ)が自然。  
    / 4文字とやや長めだが、中国語表現としては標準的。単字化は難しい。
15. sport / 运动 /  
    スポーツ全般を表す場合、中国語で最も一般的なのは「运动」。  
    / 画数も少なく、今後「运」「动」は他でも転用できる可能性がある。
16. atlet / 运动员 /  
    運動選手は「运动员」が標準。  
    / 「运动」(既出)＋「员」(すでにpilotでも登場)で学習コストを抑えられる。
17. turnir / 锦标赛 /  
    トーナメントに相当する表現として「锦标赛」(チャンピオンシップ、勝ち抜き式大会)が一般的。  
    / 「锦」「标」「赛」の3字。うち「赛」は既出(hipodromほか)。
18. konkurenc / 竞争 /  
    [商]競争など一般的な“競合・競争”の名詞表現として「竞争」。  
    / 中国語では動詞・名詞とも「竞争」が使われるが、ここでは特に「競争(概念)」に着目。
19. konkur / 竞争 /  
    「競争する(動詞)」という意味も中国語では「竞争」と同じ形を使う。  
    / 「konkurenc」と区別せず同じ「竞争」に集約。学習コスト低減にもなる。
20. konkurs / 竞赛 /  
    競技・コンテスト等を指す場合、「竞赛」が自然な中国語表現。  
    / 「竞」は既出。「赛」も上記(「赛马场」など)ですでに利用済み。
21. ski / 滑雪 /  
    スキー(滑る＋雪)は中国語で「滑雪」が一般的。  
    / 動詞・名詞ともに「滑雪」を用いるが、板を指す場合は「滑雪板」。
22. sabr / 军刀 /  
    サーベルは「军刀」(軍用の刀)が比較的近い意味。  
    / 厳密には「马刀」「骑兵刀」などの表現もあるが、2文字で分かりやすい「军刀」に集約。

sled / 雪橇 /

* + 選定理由: 中国語で「そり」は一般的に「雪橇」。日本語話者も「雪」から“雪上の乗り物”を連想しやすい。
  + 学習コスト: 新出の「雪」「橇」はやや画数が多いが、そりを意味する最も標準的な熟語なので採用。

1. sel / 鞍 /
   * 選定理由: 「鞍」は日中ともに“馬の鞍”を表す漢字。簡体字でも同形。
   * 学習コスト: 1文字に収まり、意味も直感的に伝わるため妥当。
2. bilard / 台球 /
   * 選定理由: 中国語でビリヤードは「台球」が定訳。日本語話者も“卓（台）の球”と理解可能。
   * 学習コスト: 「台」「球」どちらも比較的よく使われる漢字なので再利用の余地がありそう。
3. polk / 波尔卡 /
   * 選定理由: ポルカの中国語表記「波尔卡」が一般的。2文字に省略すると意味が不透明になりやすいため3文字表記。
   * 学習コスト: 新出3文字だが、外来舞踊の固有名詞なのでやむを得ず使用。
4. parodi / 戏仿 /
   * 選定理由: 中国語で“パロディ”は「戏仿」が比較的通じやすい。
   * 学習コスト: 「戏」「仿」は要素数が少なめで、かつ“芝居・模倣”のニュアンスが伝わる。
5. burlesk / 滑稽 /
   * 選定理由: 「burlesque」は“こっけいで滑稽なもの”の意から、中国語にもある「滑稽」を流用。日本語でも「滑稽(こっけい)」で通じる。
   * 学習コスト: 「滑」「稽」は新出だが、いずれも他のコミカルな表現にも流用可能。
6. barikad / 路障 /
   * 選定理由: バリケードは中国語で「路障（道路上の障害物）」が分かりやすい。
   * 学習コスト: 「路」「障」は比較的頻出度も高く、今後“道”や“障害”関連で再利用可能。
7. lice / 高中 /
   * 選定理由: フランスのリセは実質“高校”に相当するため、中国語でも「高中」が近い。
   * 学習コスト: 「高」「中」はどちらも画数が少なく、すでに学習済み(または今後も使われやすい)基本漢字。
8. gimnazi / 高中 /
   * 選定理由: ドイツ語圏のギムナジウムも大学進学レベルの高等学校ゆえ、中国語の「高中」と同一割当。
   * 学習コスト: #8と同じ「高中」を再利用することで学習コストを削減。
9. skol / 学派 /

* 選定理由: 学問・思想上の“流派”“派閥”としての“school”は中国語で「学派」。
* 学習コスト: 「学」は今後も教育関連で頻出。「派」も様々な“派閥”を表すため有用。

1. fakultat / 学院 /

* 選定理由: 大学の“学部”や“faculty”は、中国語では「学院」が近い。(「系」=departmentはやや細分)
* 学習コスト: 「学」は既出。「院」は学校関連で今後も流用可能。

1. student / 学生 /

* 選定理由: 高等教育の学生を含め、広く“学生”を意味する最も基本的な単語。
* 学習コスト: 「学」「生」ともに基本的な漢字ですでに馴染みやすい。

1. universitat / 大学 /

* 選定理由: 大学を表す最も直接的な表現として「大学」。日中ともに同形・同義。
* 学習コスト: 「大」「学」ともに初歩段階で学ぶ基本的な文字。

1. kolegi / 学院 /

* 選定理由: “カレッジ”“専門学校”的なニュアンスは中国語で「学院」が多い。
* 学習コスト: #11と同じ「学院」を再利用し、学習負担を抑制。

1. akademi / 学院 /

* 選定理由: “アカデミー”“学士院”“学会”など、広い意味で“研究機関”を指すが、簡易的に「学院」へ統一。
* 学習コスト: #11, #14と同じく「学院」で統合し、文字の重複利用を重視。

1. temperatur / 温度 /

* 選定理由: “温度”は日中同義。英語“temperature”の直訳に最適。
* 学習コスト: 「温」「度」ともにやや画数はあるが、気温や体温など汎用性が高い。

1. termometr / 温度计 /

* 選定理由: “温度計”は中国語の定訳。体温計・気温計など広く指せる。
* 学習コスト: #16の「温」「度」を再利用。「计」(簡体字)は新出だが測定器具全般で使える可能性あり。

1. hejt / 加热 /

* 選定理由: 動詞として“熱を加える”→「加热」が自然(“暖房する”“加熱する”等)。
* 学習コスト: 「加」は比較的画数少なめ。「热」は次項(#19)でも使うため再利用可能。

1. varm / 热 /

* 選定理由: 形容詞“暑い/熱い/暖かい”に該当する最も基本的な簡体字「热」。
* 学習コスト: すでに#18で使用。単独で“熱(い)”を表せて便利。

1. ard / 白热 /

* 選定理由: 「白熱の」「灼熱の」の意味合いから、漢語表現「白热」を流用。
* 学習コスト: 「白」は新出だが非常に画数が少ない。「热」は#19で既出。

1. topograf / 地形 /

* 選定理由: トポグラフィ(地形学)に対応する簡易形として「地形」を採用。
* 学習コスト: 「地」は次項(#22)と共通。「形」は新出だが画数は多くない。

1. geolog / 地质 /

* 選定理由: 地質学に相当する「地质」を割当。人(～学者)を明示しない簡潔形に留めた。
* 学習コスト: 「地」は#21と同じ。「质」は新出だが、科学用語で再利用の可能性あり。

geograf

* + 地理学家
  + 地理＝geography を意味する語として広く通用し、「学家」で専門家を表すのは中国語で定着した形。
  + 「地」「理」「学」「家」は今後も他分野で再利用可能。

1. paleograf
   * 古文字学家
   * 「古文字」は古代の文字を対象とする研究分野として日中で意味が取りやすい。
   * 4つの漢字（古・文・字・学）＋「家」で、やや長いが標準的な表現。必要なら「古字家」「古文家」など短縮案も検討可。
2. paleontolog
   * 古生物学家
   * 「古生物学」は古生物の研究分野を指す定訳。意味を正確に伝えやすい。
   * 5文字（古・生・物・学・家）だが、すべて他分野にも比較的頻出する漢字で学習コストは許容範囲。
3. grafolog
   * 笔迹学家
   * 「笔迹」（筆跡）＋「学家」で「筆跡学者」の意。中国語圏でも「笔迹学(家)」という表現は通じやすい。
   * 「笔」(筆) や「迹」(跡) は他の書関連語にも応用可能。
4. etnograf
   * 民族志学家
   * 「民族志」(ethnography) は学術用語として定着しており、それに「学家」を付す。
   * 「民」「族」「志」「学」「家」の組み合わせで、やや文字数は多いが意味の正確さを優先。
5. genealog
   * 系谱学家
   * 「系谱」は家系図・系図学を表す語。中国語でも「家谱」「系谱」などが用いられる。
   * 系・谱・学・家はいずれも比較的学術分野でよく使われる漢字。
6. biograf
   * 传记作家
   * 「biograf」は「伝記を執筆する人」を指すため、研究者というより「作家」として扱うのが自然。
   * 中国語では「传记作家」「传记作者」が一般的。文字数は4つ（传・记・作・家）。
7. filolog
   * 语文学家
   * 「philology」は中国語では「语文学」「语言学(的文献学寄り)」など訳されるが、やや専門的。ここでは「语文学家」を採用。
   * 「语」「文」「学」「家」は頻出要素であり、再利用性が高い。
8. bibliograf
   * 书目学家
   * 書誌学＝「书目学」として通用。「书目」(書目)＋「学家」で直感的にも分かりやすい。
   * 书・目・学・家 は学術領域全般でもよく使われる。
9. veterinar

* 兽医
* 中国語では「兽医」が定訳で、後ろに「家」を付ける形「兽医家」は一般的でない。これだけ2文字で完結。
* 日本語の「獣医」と同形同義なので、日中双方で連想しやすい。

1. entomolog

* 昆虫学家
* 「昆虫学」は中国語でそのまま「昆虫学」。専門家＝「昆虫学家」。
* 「昆」「虫」「学」「家」の再利用度も高く、意味を取りやすい。

1. ornitolog

* 鸟类学家
* 「鸟类学」は中国語で鳥類学を指す定訳。発音も分かりやすい。
* 「鸟」「类」「学」「家」はほかの動物分野用語にも応用可能。

1. zoolog

* 动物学家
* 動物学を「动物学」、研究者を「动物学家」とするのが標準表現。
* 「动」「物」「学」「家」は他の生物系分野でも使える字。

1. biolog

* 生物学家
* 生物学を「生物学」、研究者を「生物学家」。最も一般的な表現。
* 「生」「物」「学」「家」は学術用語でも再利用しやすい。

1. fiziolog

* 生理学家
* 「生理学」はそのまま「生理学」、研究者に「家」を付す。
* 同じく「生」「理」「学」「家」は医学・生物学系で多用。

1. anatom

* 解剖学家
* 解剖学＝「解剖学」、研究者＝「解剖学家」で意味が通じやすい。
* 「解」「剖」「学」「家」は医療・生物関係で再利用可能。

1. etiolog

* 病因学家
* 病原学・病因学は中国語で「病因学」。研究者に「家」。
* 「病」「因」「学」「家」は病理関連でまとまるので学習コスト削減にも寄与。

1. patolog

* 病理学家
* 病理学＝「病理学」、研究者＝「病理学家」。もっとも一般的な表現。
* 「病」「理」「学」「家」は既出文字ばかりで覚えやすい。

1. astrolog

* 占星家
* 「占星师」もあるが、学術・専門家らしさをやや強調するなら「占星家」も通じる。
* 2～3文字で収まり、日中の占星術をイメージしやすい。

1. astronom

* 天文学家
* 天文学＝「天文学」＋「家」。「天文学家」はごく一般的な言い方。
* 「天」「文」「学」「家」どれも広く再利用可能。

1. retor

* 修辞学家
* 修辞学の専門家＝「修辞学家」で通じる。
* 「修」「辞」「学」「家」も学術用語で頻出の組み合わせ。

1. teokrat

* 神权家
* 標準的には「神权主义者」「神权统治者」などが考えられるが長い。
* 簡略に「神权家」とし、神権を奉じる立場・主張者を表現。覚えやすさ優先。

teist / 有神论者 /  
選定理由:

* 現代中国語で「theist」に最も近い定訳が「有神论者」。
* 「神」の要素を含み「神を信じる人」というニュアンスが伝わりやすい。  
  既出・学習コスト:
* 「神」は後述の「神学」(theology)などでも用いられ得る重要字。
* 全体として“者”“学”などの字とも併用しやすい。
* teolog / 神学家 /  
  選定理由:
* 中国語で「神学家」は「theologian」に対応する最も一般的な語。
* 「神学」(theology)＋「家」(専門家)という構成で、意味がはっきり伝わる。  
  既出・学習コスト:
* 「神」「学」「家」いずれも他分野で再利用が頻出する漢字のため学習効率が高い。
* mineralog / 矿物学家 /  
  選定理由:
* 「矿物学家」は「鉱物学者」(mineralogist)に対応する標準的な中国語表現。
* 「矿物学」(mineralogy)＋「家」(専門家)で分かりやすい。  
  既出・学習コスト:
* 「矿」(簡体字)は「石」偏を含む形で、後述の地質系語根にも応用しやすい。
* 「学」「家」は頻出要素。
* metalurgi / 冶金学 /  
  選定理由:
* 「冶金学」は「metallurgy」の定訳で、専門用語として定着している。
* 「冶金」の部分に「金」(金属)が含まれるため、日本語話者・中国語話者ともに連想が容易。  
  既出・学習コスト:
* 「学」は共通要素。
* 「冶」や「金」は他の工学・金属関連でも用いられうる。
* mineralogi / 矿物学 /  
  選定理由:
* 「矿物学」は「mineralogy」の定訳。
* 「矿物」(鉱物)＋「学」で分かりやすい。  
  既出・学習コスト:
* すでに(3)で「矿物学家」を出しているため、対応が一貫している。
* numismat / 钱币学家 /  
  選定理由:
* 「numismatist」=「钱币学家」が中国語での通称（硬貨・紙幣研究者）。
* 「钱币」自体は「古銭」や「貨幣」全般を含む概念として日中ともに連想しやすい。  
  既出・学習コスト:
* 「学家」の形はすでに多数登場。
* 「钱」(お金)・「币」(貨幣)は経済関連など他分野でも有用。
* numismatik / 钱币学 /  
  選定理由:
* 「numismatics」=「钱币学」というのが中国語での定訳。
* (6)と対応を取る形で「钱币＋学」。  
  既出・学習コスト:
* 「钱」「币」「学」はいずれも既出。
* paleografi / 古文书学 /  
  選定理由:
* 「paleography」=「古文書学」。中国語では「古文书学」や「古文字学」などが近い。
* ここでは“文书”(文書)に焦点を当てた表現として「古文书学」を採用。  
  既出・学習コスト:
* 「古」(古い)は後述の「古生物学」などでも登場。
* 「文」「书」「学」など基礎的な漢字を組み合わせており覚えやすい。
* paleontologi / 古生物学 /  
  選定理由:
* 「paleontology」=「古生物学」は定訳。
* 「古」+「生物」+「学」の構成で非常に意味がはっきりしている。  
  既出・学習コスト:
* 「古」は(8)等でも使用。
* 「生物学」(zoology等)とも関連し、学習効果大。
* arkeologi / 考古学 /  
  選定理由:
* 「archaeology」=「考古学」 は最も一般的な訳。
* 日中ともに学術用語として定着。  
  既出・学習コスト:
* 「考古」＋「学」で直感的に領域がわかる。
* 「考」はやや筆画が多いが、馴染み深い学術用語のため採用。
* arĥeologi / 考古学 /  
  選定理由:
* 「arkeologi」と同義の綴り違い (ĥ/kh)。
* 同一語義なので「考古学」を再利用。  
  既出・学習コスト:
* (10)と同じ対応で、一貫性を保てる。
* arkeolog / 考古学家 /  
  選定理由:
* 「archaeologist」=「考古学家」(考古学の専門家) が標準的。
* (10)(11)「考古学」＋「家」で人を示す形。  
  既出・学習コスト:
* 「学家」は人を表す定番形として重複利用。
* arĥeolog / 考古学家 /  
  選定理由:
* (12)と同じ語義（表記ゆれ）なので、同じ対応。  
  既出・学習コスト:
* 重複利用で追加学習コストは不要。
* psikologi / 心理学 /  
  選定理由:
* 「psychology」=「心理学」という定訳がある。
* 日常用語としても非常に広く知られている。  
  既出・学習コスト:
* 「心」や「理」は他の用語にも使えるが、ここでは「心理学」でセット使用。
* psikolog / 心理学家 /  
  選定理由:
* 「psychologist」=「心理学家」(心理学の専門家) が一般的。
* (14)に対応した形を踏襲。  
  既出・学習コスト:
* 「学家」の使い回しにより、体系的な把握が容易。
* antropolog / 人类学家 /  
  選定理由:
* 「anthropologist」=「人类学家」が中国語での標準的表記。
* 「人类学」(anthropology)＋「家」で専門家を示す。  
  既出・学習コスト:
* 「人」「类」「学」「家」はいずれも今後も頻繁に登場し得る基本構成。
* antropologi / 人类学 /  
  選定理由:
* 「anthropology」=「人类学」が定訳。
* 漢字圏においても非常に一般的な訳語。  
  既出・学習コスト:
* (16)で用いた「人类学家」との対応関係が明瞭。
* vivisekci / 活体解剖 /  
  選定理由:
* 「vivisection」=「活体解剖」が中国語圏では一般的。
* 「生体解剖」とも訳せるが、中国語では「活体解剖」の方が通じやすい。  
  既出・学習コスト:
* 単語自体が専門領域向けだが、「体」「解剖」は医学関連用語で再利用可能。
* zoologi / 动物学 /  
  選定理由:
* 「zoology」=「动物学」はごく一般的。
* 「动」(うごく)＋「物」(もの)＋「学」で分かりやすい。  
  既出・学習コスト:
* 「学」はすでに繰り返し登場し、他分野とも整合。
* entomologi / 昆虫学 /  
  選定理由:
* 「entomology」=「昆虫学」は学名レベルでも広く定着。
* 「昆虫」＋「学」で直感的に“虫の学問”と分かる。  
  既出・学習コスト:
* 「虫」は画数少なく、“昆虫”としてまとまりがよい。
* ornitologi / 鸟类学 /  
  選定理由:
* 「ornithology」=「鸟类学」。中国語では「鸟类学」が通用。
* 「鸟」(とり)＋「类」(種類)＋「学」で鳥に関する学問と判別可能。  
  既出・学習コスト:
* 「类」「学」は再利用文字で、学問分野の語幹として定着。
* etiologi / 病因学 /  
  選定理由:
* 「etiology」=「病因学」が中国語での標準訳。
* 「病原学」とも近いが、原因全般を指す場合は「病因学」が一般的。  
  既出・学習コスト:
* 「病」「因」「学」すべて基礎レベルの漢字で習得しやすい。

patologi / 病理学 / 「病気(病)」+「理論(理)」+「学問(学)」で「病理学」。医学分野で日中ともに通用 / すでに他の「～学」でも「学」を使うので学習コストは低め。

* biologi / 生物学 / 「生き物(生物)」+「学問(学)」。日中ともに“生物学”で広く通じる / 「生」「物」「学」は再利用機会が多く、学習コストを抑えられる。
* botanik / 植物学 / 「植物(植物)」+「学問(学)」。日中ともに“植物学”として定着 / 「植」「物」「学」はすでに他分野でも使いやすい。
* anatomi / 解剖学 / 「解剖」と「学問(学)」の組み合わせ。日本語・中国語とも同表記 / 「解」「剖」「学」は再利用可能性あり。
* fizik / 物理学 / 物質(物)＋道理(理)＋学。日中共に最も一般的な“物理学” / 「物」「理」「学」は他語根でも多用しやすい。
* fiziologi / 生理学 / 「生きる(生)」+「理」+「学」。日中とも“生理学” / 「生」「理」「学」は他と重複できるので学習コスト低減。
* optik / 光学 / 「光」+「学」。日中とも“光学”で定着 / 「光」「学」の組み合わせのみで、比較的画数も少なめ。
* estetik / 美学 / 「美」+「学」。日中とも“美学”で広く通用 / 画数も多くなく、既出の「学」を再利用。
* balistik / 弹道学 / 「弾丸の軌道(弹道)」+「学」。中国語では“弹道学”、日本語も「弾道学」 / 「弹」「道」「学」は今後も軍事・物理関連で出しやすい。
* metrik / 韵律学 / 詩の韻律・リズムを扱う学問。「韵律」+「学」 / 「韵」「律」「学」は音声・音楽関連で再利用可能。
* fonetik / 语音学 / 音声の学問を意味する中国語定訳。「语音」+「学」 / 「语」「音」「学」は他の言語学分野でも共通活用できる。
* mikrob / 微生物 / 「微小(微)」+「生物」。日中とも“微生物”が一般的 / 「微」「生」「物」はほかの“微～”系語や“生物”系語でも再利用。
* mikrometr / 千分尺 / 測定器「マイクロメータ」の中国語名称。一般には“千分尺” / 「千」「分」「尺」は単語としても汎用性あり(度量衡関連)。
* mikroskop / 显微镜 / 顕微鏡の中国語名称。日中とも「顕微鏡」。簡体字では“显微镜” / 「显」「微」「镜」は科学機器関連で一括学習可能。
* miĥael / 迈克尔 / 中国語圏で一般的な「マイケル」の音訳 / 「迈」「克」「尔」は西洋人名で再度出現しやすい。
* mirabel / 米拉贝尔 / 「ミラベル」の中国語音訳。果物名や地名にも見られる / 「米」「拉」「贝」「尔」は外来固有名詞で多用。
* spirit/ism## / 招灵术 / 交霊術を意訳。直訳すると「霊を招く術」の意 / 「招」「灵」「术」は呪術・オカルト関連語で統一可。
* spirit/ist## / 招灵师 / 交霊術師を意訳。「術を行う人＝师」 / 「师」は専門の術者を表すとき再利用しやすい。
* muz / 缪斯 / Muse（詩神・芸術の女神）の中国語慣用音訳 / 「缪」「斯」はギリシャ神話やブランド名にも登場し学習価値あり。
* fetiĉ / 拜物 / “物神崇拝”の核心を2字でまとめた形。中国語では“拜物教”とも / 「拜」「物」は「物」を崇める概念でわかりやすい。
* spiritualism / 唯心论 / 哲学用語としての「唯心論」。日中とも「唯心論/唯心论」で“観念論”を指す / 「唯」「心」「论」は思想・哲学語彙で出現頻度高い。
* spiritualist / 唯心论者 / 「唯心論を唱える人」。中国語で「～论者」は“～主義者”や学説の支持者 / すでに「唯」「心」「论」を利用しており「者」のみ追加。

medium / 灵媒 /

* + 理由：「霊媒」の簡体字表記である「灵媒」は、中国語でもそのまま「スピリチュアル・メディウム」の意味。
  + 学習コスト等：「灵」と「媒」はそれぞれ初出だが、いずれも日本語圏で「霊(灵)」「媒」は類推しやすい。

1. teism / 神 /
   * 理由：有神論（theism）の中心概念「神」。簡潔かつ日中で共通のイメージ。
   * 学習コスト等：画数は少なめ(9画)。後続の神学などでも「神」を再利用する予定。
2. teologi / 神学 /
   * 理由：神学の標準的な中国語表現「神学」。
   * 学習コスト等：「神」は既出。「学」は汎用性の高い漢字。
3. indiga / 靛 /
   * 理由：インジゴ染料を表す標準的な漢字「靛」（“靛青”“靛蓝”とも）を、一文字で提示。
   * 学習コスト等：やや画数多め(13画)だが、単独一字で“インディゴ”と対応できるため割り当て。
4. indigo / 靛 /
   * 理由：「indiga」と同様、インジゴの意。「靛」を重複利用。
   * 学習コスト等：同一字の再利用で学習コスト低減。
5. anagram / 字谜 /
   * 理由：直訳すると「文字のなぞ」。実際の中国語で「アナグラム」を厳密に一字にする方法はなく、「字谜」は「文字パズル」のニュアンスとして比較的近い。
   * 学習コスト等：「字」と「谜」は、日中で「字(字)」「謎(谜)」として類推しやすい。
6. monogram / 字合 /
   * 理由：厳密な既存単語はないが、モノグラムは「文字を組み合わせた印章・図案」のイメージ。「字合」は「字＋合(組み合わせ)」の造語的表記。
   * 学習コスト等：「字」は既出、「合」は日中で使用頻度が高い。
7. apopleksi / 中风 /
   * 理由：脳卒中の一般的な中国語が「中风」。日本語でも「中風（ちゅうぶ）」の旧称があり、連想しやすい。
   * 学習コスト等：どちらも画数少なめ(「中」4画、「风」4画)。
8. paroksism / 发作 /
   * 理由：「発作」「激発」「急な発症」の意味合いを中国語では「发作」と表現。
   * 学習コスト等：どちらも汎用性の高い字。「发」は簡体字特有だが、日本語の「発」に近くイメージしやすい。
9. anapest / 抑抑扬 /

* 理由：韻律上の「短短長(弱弱強)」に近い漢語表現として、「抑抑扬」（弱勢が2回＋揚(強勢)）を仮に割り当て。
* 学習コスト等：やや特殊な詩文用語だが、他に一字で対応しづらいため3文字で提案。

1. antitez / 对立 /

* 理由：アンチテーゼ＝対立命題。中国語で「对立」が最も直感的。
* 学習コスト等：「对」(=対)は日本語でも類推しやすい。

1. mani / 狂 /

* 理由：マニア(熱中・狂気)の意味を表す簡潔な1字として「狂」。
* 学習コスト等：画数7画で比較的単純。下記のfanatik等と組み合わせて再利用予定。

1. superstiĉ / 迷信 /

* 理由：日本語でも「迷信」と同じ表記。中国語でも同じく「迷信」。
* 学習コスト等：「迷」(5画)、「信」(9画)。いずれも基本的な字。

1. fanatik / 狂热 /

* 理由：狂信的な「熱狂」「ファナティック」は中国語で「狂热」が定番。
* 学習コスト等：「狂」は既出を再利用。「热」は日常語(“熱”)に近く分かりやすい。

1. bigot / 狂信 /

* 理由：bigot＝狂信者。日本語でも「狂信者」、中国語でも「狂信(的)」がわかりやすい。
* 学習コスト等：「狂」・「信」はどちらも既出。

1. lunatik / 疯 /

* 理由：発狂・精神異常のイメージを1字で表すなら「疯」(発狂の“疯子”など)が妥当。
* 学習コスト等：日本語の「瘋」に相当する簡体字で、画数8画。

1. somnambul / 梦游 /

* 理由：夢遊病(睡眠中に歩く)を中国語では「梦游」。
* 学習コスト等：「梦」(=夢)は日本語と形が近い。「游」も「遊」と近い。

1. idiot / 白痴 /

* 理由：医学用語として「白痴」は日中ともに通じる。
* 学習コスト等：「白」(5画)と「痴」(12画)。すでに「痴」は登場していないが、概念的に納得度は高い。

1. paraliz / 麻痹 /

* 理由：麻痺・(身体が)しびれて動けない → 中国語で「麻痹」。
* 学習コスト等：どちらも医療系でよく見る字。日本語「麻痺」と近いので意味も連想しやすい。

1. spasm / 痉挛 /

* 理由：けいれん、痙攣を中国語で表す一般的表現が「痉挛」。
* 学習コスト等：医療系のやや画数多めだが、単独2字で的確に表せるため採用。

1. hipnot / 催眠 /

* 理由：催眠術の「催眠」は日中共通で直感的に理解できる。
* 学習コスト等：すでに一部で「发作」などの“イ形(偏旁：亻,讠,催など)”を使っているが、用途がはっきりしているので妥当と判断。

1. apoteoz / 神化 /

* 理由：神格化＝「神化」。日中共通で意味を連想しやすい熟語。
* 学習コスト等：「神」は既出。「化」(4画)も使用頻度が高く学習しやすい。

sven / 昏 / 「昏倒」「昏厥」などに含まれる「昏」は「気を失う」「意識が暗くなる」イメージがあるため / sinkop と同義に近いので同一文字を使い回し、学習コストを低減

1. sinkop / 昏 / 医学用語「昏厥」「失神」のニュアンスだが、sven と同様「昏」で代表させる / sven と同一文字に割り当て、総漢字数削減
2. vort / 词 / 中国語で「词」は「単語・語」の意。日本語の「詞(ことば)」とも近い / 初出の「词」。言語系で今後も「词」を再利用する可能性あり
3. verb / 动词 / 中国語で「動詞」を表す標準用語。1文字「动」だけでは意味が通じにくいので熟語化 / すでに「词」を使用しているので後半を再利用し、学習コストを抑える
4. fraz / 句 / 「文」「文章」よりも「文の一区切り」という意味に近く、中国語で「句(句子)」は「文(sentence)」に対応しやすい / 単独1文字で済むので画数を低減
5. propozici / 句 / 「命題・文」としても「句」を転用可能。厳密には「命题=命題」の意味も含むが、便宜上 fraz と同一文字に集約 / 同字再利用で漢字総数を抑制
6. vokativ / 呼格 / 「vocative＝呼格」の直訳。中国語でも文法用語として「呼格」をあてることがある / 「格」を以下の奪格・対格などで共通化し学習負担を軽減
7. ablativ / 夺格 / 「ablative＝奪格」の直訳。簡体では「奪→夺」 / 「呼格」同様「格」を使い回すことで学習コストを抑える
8. akuzativ / 宾格 / 中国語文法で「accusative＝宾格」が一般的（「対格」の直訳「对格」は用いられにくい） / 同じく「格」を再利用
9. idiotism / 习语 / 「慣用的表現」全般を指す際、中国語では「习语」「惯用语」など。4字熟語の「成语」はやや範囲が狭いため「习语」を採用 / 「语」は後述の「谚语」等と共通しうる
10. proverb / 谚语 / 中国語で「諺」は「谚」、合わせて「谚语」とすると「ことわざ」全般を指す / 「语」を再利用し、学習コストを抑えつつ新字「谚」を追加
11. sentenc / 格言 / 「maxim, wise saying」の意。中国語でも「格言」は定訳 / 文法用「呼格」などの「格」とは同じ字だが意味が異なるため、再利用しつつ学習負荷を減らす
12. parafraz / 意译 / 「パラフレーズ＝意訳」に近いイメージ。直訳「释义」「改写」等もあるが、日本語話者には「意訳」のほうが連想しやすい / 「意」「译」ともに他の翻訳系で利用可能
13. trop / 比喻 / 「比喩・比喻法」を指すのに最も直接的。中国語でも「比喻」＝「たとえ」 / 2文字だが、後続の「隐喻」で「喻」を再利用
14. metafor / 隐喻 / 「メタファー＝隠喩」。中国語で一般的な言い方 / 「比喻」と同じ「喻」を共有し学習コストを低減
15. indikativ / 陈述式 / 中国語文法で「直説法」に近い用語は「陈述式」「陈述语气」などが一般的 / 「陈」「述」「式」3文字だが、文法カテゴリーでの統一感を優先
16. demonstrativ / 指示词 / 中国語で「指示代词」「指示词」と呼ばれるものに対応。1文字では表しにくいため2文字以上 / すでに「词」を使用済みで再利用
17. vokal / 元音 / 中国語で母音を「元音」と呼ぶのが標準。1文字「元」は「母音」を直接は示さないため熟語化 / 「音」は後続でも再利用見込み
18. konsonant / 辅音 / 中国語で子音を「辅音」と呼ぶのが標準。「辅」は「サポートする」の意で、実際に子音は母音を補助する概念から / 「音」を再利用しつつ新字は「辅」のみ
19. asonanc / 类韵 / 「assonance」は直訳しづらいが「類似の韻」という意味合いで「类韵」と仮置 / 次の「rim」で「韵」を単独利用し、関連を示す
20. rim / 韵 / 「rhyme」＝中国語「押韵」「韵脚」などの中心概念。「韵」1文字を割り当て / asonanc と同じ「韵」を使い回し、前者は「类韵」で派生
21. silab / 音节 / 「音節」＝中国語で「音节」が一般的 / すでに使っている「音」を再利用し、新字「节」のみ追加

bombast / 夸 /

* + 選定理由: 「夸」は「夸张(誇張する)」「夸耀(誇示する)」など “大言壮語・誇張” の含みをもつ字。
  + 学習コストなど: 「誇」の簡体形であり、日本語話者にもある程度意味が推測しやすいと思われる。

1. satir / 讽 /
   * 選定理由: 「讽」は「讽刺(風刺する)」の略字で “皮肉・風刺” を直接示す。
   * 学習コストなど: 次の「paskvil(風刺文)」とも共有可能にして、重複を減らす。
2. paskvil / 讽 /
   * 選定理由: 「satir(諷刺)」と近義のため、2) と同じ「讽」 を再利用。
   * 学習コストなど: 同一字割当で文字数を抑える。実際には文脈等で区別(振り仮名や上付き文字)する想定。
3. fiktiv / 假 /
   * 選定理由: 「假」は “仮・虚構・偽物” を意味し、「仮説」「仮面」「假装」などから日本語話者も連想しやすい。
   * 学習コストなど: 次の「apokrif(偽作)」と共有すれば、同じ「假」で “架空・虚偽” 一帯の意味をカバー可能。
4. apokrif / 假 /
   * 選定理由: 「偽作・偽経」の意味で「假(＝仮,偽)」とよく合致。
   * 学習コストなど: 4) と同じ字を再利用 することで、学習すべき漢字を削減。
5. sofism / 诡 /
   * 選定理由: 「诡」は「诡辩(詭弁)」の略字で “狡猾な議論・詭弁” を直接示す。
   * 学習コストなど: 単独字では「怪しい・巧妙である」のニュアンスをもつが、sophismを指すのに最も手近。
6. skeptik / 疑 /
   * 選定理由: 「疑」は “疑う・懐疑” を示す代表的な字。
   * 学習コストなど: 画数はやや多め(14画)だが、日本語圏でも意味は明快。
7. spekulativ / 推 /
   * 選定理由: 「推」は “推測・推論” を表し、「思弁的・思索・推理」などの語感に近い。
   * 学習コストなど: 「推」は画数(11画)は中程度だが、非漢字圏にも比較的わかりやすい部類。
8. metempsikoz / 轮回 /
   * 選定理由: 「轮回」は “(仏教などで言う)輪廻” を表す常用の熟語。「轮」(車へん＋仑)と「回」の2字。
   * 学習コストなど: 一字で「輪廻」を表す字は存在しないので、2字熟語を採用。
9. transitiv / 及 /

* 選定理由: 中国語で “他動詞” は「及物动词」と言うため、「及」 が「(目的語に)及ぶ=及物→他動」の核心を担う。
* 学習コストなど: 画数3画と非常に少なく、短字として有用。

1. transept / 横厅 /

* 選定理由: 建築用語として正確な一字は存在しづらいが、Google翻訳などで「横厅(横方向ホール)」とされることが多い。
* 学習コストなど: やむを得ず2文字。簡単な字「厅(4画)」を用いた点でまだ画数は抑えめ。

1. marĝen / 边 /

* 選定理由: 「边」(日本語の「辺」)は “端・縁・境目” の意味があり、「余白(マージン)」を端的に示しやすい。
* 学習コストなど: 5画と少なく、「周辺」「边缘」等から意味を推測しやすい。

1. elips / 省 /

* 選定理由: [文]省略を指すなら「省(ショウ)」が “省く・略す” に対応しやすい。
* 学習コストなど: 次の「elizi(母音省略)」にも使い回し可能。9画。

1. elizi / 省 /

* 選定理由: 上と同じく “省略・削除” の意。
* 学習コストなど: 13) と同字を再利用 し、学習コストを削減。

1. deklinaci / 格 /

* 選定理由: 文法の「格変化(格の活用)」を端的に示すなら「格」(かく)が最適。
* 学習コストなど: 10画だが、日本語でも“資格・形式・格”などでおなじみ。

1. fleksi / 变 /

* 選定理由: 語尾変化=“形を変える” → 中国語で「词形变化」。核心は「変」であり、簡体字「变」(5画)。
* 学習コストなど: 画数が少なく、「変化」と近い概念として認識しやすい。

1. pleonasm / 冗 /

* 選定理由: 「冗」は “余計・むだ” の意(冗談, 冗長 など)で、冗言法(重複表現)を示すのに合う。
* 学習コストなど: 4画と非常にシンプル。

1. paradigm / 范 /

* 選定理由: 「范」(「範」の簡体形)は “模範・規範” を示し、“パラダイム(理論的枠組み・規範)” に近い。
* 学習コストなど: 7画で比較的少なめ。日本語の「範」に相当し、類推しやすい。

1. anomali / 异 /

* 選定理由: 「异」(「異」の簡体形)は “普通と違う・変則” を意味。
* 学習コストなど: 次の「variant(異文)」とも共有し得るので、一字にまとめられる。

1. variant / 异 /

* 選定理由: 「異文・変わった形」を指すので、19) と同じ「异」 を再利用。
* 学習コストなど: 異なるバリエーション全般を「异」で統合。

1. ofer / 献 /

* 選定理由: 「献」は “奉げる・捧げる・献上する” の意に適合し、神への捧げ物(犠牲)も含む。
* 学習コストなど: 次の「dediĉ」(献身・奉献)とも近く、同一字で統一 すれば学習コスト軽減。

1. dediĉ / 献 /

* 選定理由: 書籍を「献辞」する、人生を「献身」する、など “捧げる・捧げ尽くす” の意は「献」が代表的。
* 学習コストなど: 21) と同字を再利用。違う語根だが、いずれも「捧げる」系統という点で共通。

kontribu / 贡 /

* + 選定理由: 「貢献」を意味する「贡献」のうち、「贡」部分を抽出して割当。エスペラント語の“kontribu(貢献・寄与)”と“tribute(貢ぎ物)”が同源的な発想であることを踏まえ、まずはこちらを単体で割り当て。
  + 学習コスト: 画数は比較的少なく(7画)、日本語の「貢」や中国語の「贡」と対応するため、認知しやすい。

1. tribut / 贡 /
   * 選定理由: 「tribute(貢ぎ物)」も同様に「贡」を使い回す。実際の漢字語としては「贡品」「朝贡」などが存在。
   * 学習コスト: 上記(1)と同一漢字を再利用することで、新規漢字の追加を省き、学習を簡便化。
2. sin/don## / 献 /
   * 選定理由: 「献(ささげる)」は「献身」「奉献」など、“捧げる・捧げ持つ”ニュアンスをもち、「献身的な」「捧げる」に通じる。
   * 学習コスト: すでに(1)(2)で用いた「贡」と組み合わせて「贡献」が成立するように、本字「献」も比較的なじみがあると期待できる。
3. abnegaci / 弃 /
   * 選定理由: 「放弃(放棄・あきらめる)」「弃权(権利を棄てる)」など、“自己を棄てる”“断念する”イメージ。自己犠牲・自己否定(renunciation)の意味を端的に表せる。
   * 学習コスト: 7画程度と比較的シンプル。日本語の「棄」と対応し、意味類推も容易。
4. bastard / 庶 /
   * 選定理由: 古来より「庶子(しょし)」は正妻以外が産んだ子を指す表現。「庶」は「多くの」「正統でない」ニュアンスを含む。
   * 学習コスト: ややマイナーだが、画数も11画(簡体字では同形)でそこまで複雑ではない。
5. orf / 孤 /
   * 選定理由: 「孤児(孤儿)」「孤独」など、“親を失った・独りの”イメージに直結しやすい。
   * 学習コスト: 8画で、日本語の「孤」と同形。「孤軍奮闘」など熟語でも見かけるため覚えやすい。
6. vidv / 鳏 /
   * 選定理由: 「鳏夫(男やもめ・寡夫)」の簡体字表記が「鳏夫」。男の“やもめ”を表す単字としては「鳏」が唯一に近い。
   * 学習コスト: やや画数(17画)が多く難字だが、“寡婦(女性)”の「寡」と区別するために本字を採用。
7. sklav / 奴 /
   * 選定理由: 「奴(やつ・しもべ)」は「奴隶(奴隷)」の一部。比較的簡単で“隷属”を連想しやすい。
   * 学習コスト: 5画と少なく、非常に覚えやすい。
8. ermit / 隐 /
   * 選定理由: 「隐士(隠者)」「隐居(隠遁生活)」など“隠れて暮らす人”のイメージに直結。
   * 学習コスト: 簡体字では「隐」、日本語の「隠」と同源。7画で比較的覚えやすい。
9. fakir / 苦行 /

* 選定理由: インド等における“苦行を行う行者”から発想。「苦行僧」は中国語で「苦行僧」または「苦行者」などが近く、2文字熟語に簡略化。
* 学習コスト: 既出の「苦」や「行」はまだ登場していないが、どちらも画数少なめ(苦:8画, 行:6画)で比較的習得しやすい。

1. viktim / 祭 /

* 選定理由: 「祭(まつる)」「祭品」「祭祀」など、“神への供物”や“いけにえ”のニュアンスを持つ。単字で“犠牲(牺牲)”に近い感触を表しやすい。
* 学習コスト: 5画と少なく、日本語でも「祭り」の形で親しみがある。

1. martir / 殉 /

* 選定理由: 「殉教(教えのために命を捧げる)」「殉難」など、“～のために命を捧げる”を一字で示せる。
* 学習コスト: 10画とやや多めだが、「殉」のほうが「烈士」より1文字としての意味が通じやすい。

1. laik / 俗 /

* 選定理由: 「俗人(俗世の人、一般人)」「通俗(通俗的)」などから、宗教的な聖職者ではなく“世俗的”なニュアンスを表すのに適当。
* 学習コスト: 9画で、日中ともに“世俗”を連想しやすい。

1. herez / 异 /

* 選定理由: 本来は「异端」2文字だが、単体で“異”という意味を示す。異端・邪説を端的に「他と違う＝異」と捉え、一字で割当。
* 学習コスト: 6画と少ない上、日本語の「異」と同形(ただし旧字形はやや違いあり)なので比較的理解しやすい。

1. profan / 污 /

* 選定理由: 本来は「亵渎(せっとく/xièdú)」が“冒涜・汚す”の意味だが、2文字とも画数が多いため、より短い「污(汚す、汚れた)”を用いて“冒涜する・汚す”イメージを簡略に表す。
* 学習コスト: 7画で比較的易しい。「污染」「污点」などで“汚れ”のニュアンスに通じる。

1. mim / 仿 /

* 選定理由: 「模仿(模倣する)」「仿制(模造する)」など、“まねる・模倣”の核心要素となる。物まねのイメージに適当。
* 学習コスト: 6画でそれほど複雑ではない。

1. akrobat / 杂技 /

* 選定理由: 中国語で「杂技(サーカス芸・曲芸)」が定訳。1文字に収めるのは困難なので2文字熟語を採用。
* 学習コスト: 「杂」(9画)「技」(7画)はいずれも比較的基礎的な字で、日中双方で“雑技(曲芸)”の連想は容易。

1. monopol / 独占 /

* 選定理由: 中国語では「垄断」が標準だが、日本語圏でも馴染みの深い「独占」をあえて採用。どちらも“ひとり占め(独り＋占める)”という直感を与えやすい。
* 学習コスト: 「独」(9画)と「占」(5画)で合計14画。比較的わかりやすい熟語。

1. monomani / 偏执 /

* 選定理由: 「偏执狂(偏執狂・偏執症)」の略。偏った思考・狂気のイメージを短く示すために「偏执」を採用。
* 学習コスト: 「偏」(11画)＋「执」(6画)＝17画だが、標準的な“パラノイア”“偏執的”表現。

1. solecism / 误 /

* 選定理由: 「错误(誤り)」「误用(誤用)」「误解(誤解)」など、“文法的な誤り・違反”を含む広義の“誤り”を1字で示す。
* 学習コスト: 7～8画(「讠」偏含む形)で短く、日中の「誤」と対応して理解しやすい。

1. monolog / 独白 /

* 選定理由: 中国語・日本語ともに「独白」で“独り言”や“舞台での独白”を表すのが一般的。
* 学習コスト: (18)同様「独」を再利用でき、「白」(5画)も基礎漢字。

1. monoton / 单调 /

* 選定理由: 「单调(単調)」は中国語で“調子が一色だけ”というイメージ。日本語も「単調」とほぼ同形。
* 学習コスト: 「单」(8画)＋「调」(7画)＝15画。やや多めだが、いずれも基本語彙。

unison / 齐 /  
選定理由: 中国語の「齐奏」(斉奏)が「ユニゾン」に近いため。日本語の「斉」と同根であり、簡体字「齐」として認知もしやすい。  
学習コスト: 画数は6画ほど。今後「齐」を「一斉(齐)に～」のような意味で再利用できる可能性がある。

1. liber / 自由 /  
   選定理由: 「自由」が日中ともに「フリー／リベラル」の意味で極めて広く認知される標準的な語。  
   学習コスト: 「自」はすでに他の語根でも使用予定が多く、再利用による負担軽減が可能。
2. liberal / 自由主义 /  
   選定理由: 政治的な「自由主義」を示す標準的な中国語表現。「自由 + 主义」で、「自由」と「主義」の組み合わせが分かりやすい。  
   学習コスト: 「自由」部分は既出の字。「主义」(主義)は、後述の「自然主义」など他の「～主義」系語根とも共用できる。
3. improviz / 即兴 /  
   選定理由: 中国語で「即兴」は「即興」に相当し、音楽などで「即興演奏」＝「即兴表演」として広く使われる。  
   学習コスト: 「即」は7画、「兴」は6画でやや多めだが、熟語として確立しているため学習しやすい。
4. spontane / 自发 /  
   選定理由: 「自発的」の意味に近い中国語「自发」は簡潔かつ標準的。日本語の「自発」に相当。  
   学習コスト: 「自」は既出。「发」は5画と比較的少なく、再利用もしやすい。
5. kapric / 任性 /  
   選定理由: 「気まぐれ」「気の向くまま」「わがまま」等を表す際、中国語で「任性」はよく使われる。  
   学習コスト: 「任」(6画)と「性」(8画)の組み合わせは意味がつかみやすい。後述の「任意」とも一部字を共有。
6. arbitr / 任意 /  
   選定理由: 「任意」は日中ともに「arbitrary」のニュアンスを持つ表現。  
   学習コスト: 「任」は既出。「意」は学習頻度が高く、他単語でも登場しやすい。
7. naturalism / 自然主义 /  
   選定理由: 「自然主義」の中国語標準表現。「自然」と「主义」で構成され、わかりやすい。  
   学習コスト: 「自」「然」「主」「义」いずれも汎用性が高く、他の語根にも応用が可能。
8. natur / 自然 /  
   選定理由: 「自然」という意味が最も直接的で、日中で共通理解される語。  
   学習コスト: 「自」は再利用、「然」は日本語でも「然」として一般的。
9. instinkt / 本能 /  
   選定理由: 中国語で「本能」は日本語の「本能」と完全に対応し、直感的に意味が伝わる。  
   学習コスト: 「本」(5画)と「能」(10画)は常用字であり、習得しやすい。
10. aŭtograf / 亲笔 /  
    選定理由: 「自筆」「サイン(署名)」に近い意味を表す中国語表現。「亲笔(親筆)」は「本人が書いたもの」の意。  
    学習コスト: 「亲」は簡体字の「親」。「笔」は日本語の「筆」と対応し、やや画数が多いが常用。
11. aŭtobiografi / 自传 /  
    選定理由: 「自伝」に当たる中国語。「传」は日本語「伝」の簡体字。  
    学習コスト: 「自」は再利用可能。「传」も常用範囲。
12. individu / 个人 /  
    選定理由: 「個人」を意味する簡体字表記。中国語で「个人」は一般的。  
    学習コスト: 「个」は日本語の「個」の簡体字、「人」は既出または基礎字として認知されやすい。
13. propr / 固有 /  
    選定理由: 「固有の」「特有の」という意味として中国語でも日常的に使われる。  
    学習コスト: 「固」(8画)と「有」(6画)で合計14画ほど。いずれも日本語の常用漢字に近い。
14. privat / 私 /  
    選定理由: 「私的な」「プライベート」のニュアンスを最短で示す単漢字。日本語の「私」と同形。  
    学習コスト: 7画で比較的少なく、意味も把握しやすい。
15. aŭtonom / 自治 /  
    選定理由: 「自治」の中国語表現はそのまま「自治」。日本語でも同じ。  
    学習コスト: 「自」は既出。「治」は8画ながら政治・行政用語などで頻出のため有用。
16. mem / 自 /  
    選定理由: 「自身」「自己」をもっとも端的に示せる漢字。中国語でも「自」は「自己」の意を含む。  
    学習コスト: 既に「自由」「自発」などで登場済みのため追加負担はない。
17. antipod / （未割当） /  
    選定理由: 「対蹠地」を示す簡潔な漢字・熟語が日中ともあまり一般的でなく、画数や認知度の面で割当が困難。  
    学習コスト: 省略。
18. kontrapunkt / 对位 /  
    選定理由: 音楽の「対位法」を指すが、中国語では「对位(法)」と略されることも多い。  
    学習コスト: 「对」は5画、「位」は7画。どちらも比較的よく使われる。
19. paradoks / 悖论 /  
    選定理由: 中国語で「paradox」は「悖论」が標準。若干画数は多いが意味が定着している。  
    学習コスト: 「悖」(10画)と「论」(4画)で計14画ほど。やや難字だが専門用語として定着。
20. invers / 逆 /  
    選定理由: 「逆の」「反対方向の」という意味を1文字で端的に示すなら「逆」が最適。  
    学習コスト: 9画でやや多いが、日本語の「逆」と同形なので認知されやすい。
21. mal / 反 /  
    選定理由: エスペラントで「反対・正反対」を作る接頭辞「mal-」を、単漢字なら「反」がもっとも直感的。  
    学習コスト: 4画で少なく、既出または今後も「反対」「反転」などで再利用しやすい。

rezist / 抗 / 「抵抗」の意味を単一字で表しやすいため / 今後「抗」は「抵抗」「抗争」「反抗」など、関連する意味での再利用が期待でき、学習コスト削減につながる

* konflikt / 争 / 「争い・衝突」を示す代表的な簡体字として分かりやすい / 画数(6画)も比較的少なく、「闘」より簡易。今後「争」の再利用も見込める
* antipati / 厌 / 「嫌う・嫌悪」を単字で端的に示せる / 日本語「厭(いや)」「厭う」などとも対応し、意味連想がしやすい
* opozici / 反 / 政治的な「反対」を含めた「反対・逆」を表す代表的漢字 / 4画と画数が少なく、再利用性も高い
* opozici## / 反 / 上記「opozici」と同じ語根の名詞形的用法なので同一漢字を割り当て / 同一字で動詞・名詞を区別する場合は振り仮名等で補足
* protest / 抗 / 「抗議」の中核となる意味（“反対の意を表す”）を単字で示しやすい / すでに「rezist」で採用した「抗」を再利用し、学習コストを低減
* opon / 反 / 「反対」一般を簡潔に示せる / 「opozici」と同じ「反」を再利用することで、文字数削減と学習負荷の軽減
* ekstaz / 狂喜 / 「エクスタシー」の意味を1文字で正確に示すのは困難なため熟語を採用 / 「狂(クレイジー)＋喜(よろこび)」で強い歓喜を分かりやすく表現
* apostrof / 撇号 / 中国語でアポストロフィを指す一般的呼称が「撇号」(単字は存在せず) / 「撇」「号」は比較的画数が少なく、日本語話者でも意味を推測しやすい
* abiturient / 毕 / 高校卒業・修了の概念を1字で表す際、「卒業」に通じる「毕」を用いて簡潔化 / 「毕业(卒業)」の語幹として認知しやすい
* pasiv / 被 / 中国語における受動・受け身(被動)の核心文字 / 日本語でも「被告」「被害」等で「受け身」のニュアンスを連想しやすい
* diplom / 证 / 「証明書、資格証」などの意味を単字で表すとき、最も汎用的な「证」を採用 / 「証明書(証)」を想起しやすいため学習コストも比較的低い
* laks / 泻 / 「下痢」を示す際、中国語で「腹泻」が一般的だが、単字で意味を持つ「泻」を採用 / 日本語にも「泄(洩)」関連語があり、ある程度連想可能
* dispepsi / 消化不良 / 「消化不良」を1字で示すのは困難 / 中国語・日本語双方で通用しやすい標準的な熟語を優先
* marasm / 衰弱 / [病]「衰弱」「やつれ」のニュアンスを2字で簡潔に表現 / ともに常用字で画数も少なめなので学習しやすい
* letargi / 昏睡 / [病]「昏睡状態」を表す標準的な2字熟語 / 日本語でも「昏睡(こんすい)」として定着しており、意味連想が容易
* fiask / 败 / 「大失敗」を単字で表す際、中国語の「失败」で用いられる核心「败」を採用 / 画数(8画)もそこまで多くなく、日本語「敗北」等で連想可能
* mis / 误 / 「誤り」「錯誤」を表す接頭辞的用法に対応しやすい / 中国語「错误(錯誤)」の一部であり、今後の誤用系語根にも再利用しやすい
* erar / 误 / 「誤る」の動詞として上記「mis」と同一字を再利用 / 振り仮名・上付き文字等で区別可能
* deficit / 赤字 / [商]「赤字」「逆差」などを示す代表的熟語 / 中国語・日本語双方で全く同じ形・意味を持つため認識しやすい
* mank / 欠 / 「欠けている」「不足している」を単字で表す際、最も直接的な「欠」を採用 / 画数(4画)が少なく学習コストが低い
* perd / 失 / 「失う」「失敗する」を単字で表す際に有力な「失」を採用 / 「失败」「失去」など関連語と結びつきやすい

pesimism  
pesimism / 悲观 / 中国語で「悲観」の意味合いを端的に表す / 「悲」「观」はそれぞれ画数はやや多めだが、ネガティブ感情を示す熟語として利用価値が高い

1. pesimist  
   pesimist / 悲观者 / 「悲观者」は「悲観論者・悲観主義者」を意味し分かりやすい / 「悲」「观」「者」はいずれも常用字で再利用が容易
2. sentimental  
   sentimental / 感伤 / 中国語の「感伤」は日本語の「感傷」に相当し、意味を即座に連想しやすい / 「感」「伤」は比較的学習しやすい常用字
3. nostalgi  
   nostalgi / 思乡 / 中国語で「郷愁・ホームシック」を意味する定番表現 / 「思」「乡」は画数が少なく、他の用法にも応用可能
4. splen  
   splen / 忧郁 / 「忧郁」は「憂鬱」に相当し、沈んだ気分や鬱状態を指す / 「忧」と「郁」は以降の類似感情表現にも流用しやすい
5. melankoli  
   melankoli / 忧郁 / 「メランコリー」も同様に「忧郁」とほぼ同義 / 上記と同じ表記を活用して学習コストを低減
6. kriz  
   kriz / 危机 / 中国語で「危機」を意味し、日本語話者にも直感的に分かりやすい / 「危」「机」は画数が少なく汎用的
7. panik  
   panik / 恐慌 / 中国語・日本語どちらでも「パニック」「恐慌」を指す代表的表現 / 「恐」「慌」は負の感情の熟語として習得しやすい
8. embaras  
   embaras / 尴尬 / 中国語で「気まずい・当惑する」の意味をもつ / 多少画数はあるが、「困惑」「恥ずかしい」などの状況を表す定番語
9. aflikt  
   aflikt / 苦恼 / 「苦恼」は「苦しみ悩む」状態を指し、aflikt の「悩ませる・苦しめる」に近い / 「苦」「恼」は負の感情を表す要素として汎用性が高い
10. angor  
    angor / 苦闷 / 「苦闷」は「苦しみ・鬱屈・苦悶」などのニュアンスに近い / 「苦」「闷」も上記系統のマイナス感情に使い回せる
11. malic  
    malic / 恶意 / 「悪意」「malice」に相当し、中国語・日本語ともに直感的 / 「恶」「意」は他の否定的概念でも活かせる常用字
12. aĉ  
    aĉ / 劣 / 「粗悪・質が悪い」という意味を簡潔に示すために「劣」を採用 / 画数が少なく、「悪い」概念を表す際に再利用しやすい
13. fi  
    fi / 劣 / 道徳的に「下劣」「卑劣」なニュアンスも含め、同じ「劣」を流用 / 一つの漢字に複数語根を対応させ学習コストを削減
14. negativ  
    negativ / 负 / 中国語で「負(マイナス・否定)」を意味し、肯定の対義を表すのに適切 / 6画と比較的少なく、数学的概念の「負数」にも通じる
15. minus  
    minus / 减 / 「减」は「減算・マイナス」を示す標準的な字 / 「负」と並べて使う機会も多く、数学的表現にも対応可能
16. anarki  
    anarki / 无政 / 「無政府状態」を簡略化し「无政」（政府が無い）と表現 / 「无」「政」ともに意味が推測しやすく、画数も比較的少ない
17. anakronism  
    anakronism / 错时 / 「時代錯誤」を直訳せず「時間の誤り・ずれ」として「错时」にまとめた / 「错」は誤り、「时」は時間の概念で再利用も容易
18. skism  
    skism / 分裂 / 「分裂」は団体・組織の「schism」を指す代表的表現 / 「分」「裂」は日常漢字であり、学習頻度が高い
19. ĥaos  
    ĥaos / 混沌 / 「カオス」を表す伝統的な熟語で、日本語・中国語双方で意味が近い / 「混」「沌」はカオス的状況全般で使われる
20. kaos  
    kaos / 混沌 / ĥaos と同義として扱い、同じ「混沌」を採用 / 上記と同様に再利用して学習コストを抑える
21. kalendar  
    kalendar / 日历 / 中国語で「カレンダー」を表す最も一般的な単語 / 「日」「历」は初歩的な常用字であり習得しやすい

almanak

* + 提案: 「历」
  + 理由: 中国語で “暦” に対応する語は「日历(暦)」「历书(暦書, 書式の暦)」などが一般的ですが、単独の「历」もカレンダー・暦を連想できる字として使われます。
  + 学習コスト: 「历」は画数も比較的少なく、日本語の「暦(歴)」と関連づけて記憶もしやすいです。

1. kronik
   * 提案: 「纪」
   * 理由: 「纪」は「記録する」「年代を記す」「年代記(编年史)」などを連想しやすい字で、「年代記」のニュアンスに近いです。
   * 学習コスト: 画数も少なく（6画）、後続で出てくる「编年(史)」などの「纪」とも関連しやすいため採用。
2. kronologi
   * 提案: 「年表」
   * 理由: 中国語で「chronology」は「年表」「年代学」「编年学」などと言いますが、単文字で対応する字は無いため、2文字の「年表」を提案。
   * 学習コスト: 「年」「表」は初出かもしれませんが、どちらも画数が比較的少なく日常的にも頻出です。
3. horloĝ (時計)
   * 提案: 「钟」
   * 理由: 中国語で時計を指す代表的な単語に「钟表」がありますが、1文字であれば「钟」が最も「時計」らしさをイメージしやすいです。
   * 学習コスト: 既に「表」という字も(上記kronologiで)使い始めていますが、ここでは「钟」に絞って重複を避けています。
4. akurat (時間厳守の、正確な、きっかり)
   * 提案: 「准时」
   * 理由: 「准时」は「時間どおり」「正確・厳守」といった意味の常用表現です。単文字で「準」(准)や「時」(时)を当ててもニュアンスが弱いため、2文字熟語を採用しました。
   * 学習コスト: 「时」は後述でも頻出するので、学習自体は重複が利きます。「准」は新出ですが、日常中国語で非常に高頻度です。
5. temp (時間)
   * 提案: 「时」
   * 理由: 一般的な「時間」の概念を最短で示すなら「时」が妥当。中国語の「时间」を短縮したイメージ。
   * 学習コスト: 同じく「hor(時=時刻, 時間単位)」とも重複させることで字数を最小化できます。
6. hor (時間、〜時)
   * 提案: 「时」
   * 理由: 「hor」は「hour」の意味に近いですが、中国語では「時(时)」という字そのものが「〜時」「時間」を広く表せるため重複利用。
   * 学習コスト: すでに「temp=时」と同じ字を当てることで、新規漢字を増やさずに済みます。使用時は文脈・振り仮名等で区別。
7. zenit (天頂)
   * 提案: 「天顶」
   * 理由: 中国語で「zenith」は「天顶」が最も直接的。単字「顶」でも「頂・てっぺん」ですが「天顶」とした方が誤解を招きにくい。
   * 学習コスト: 「天」は後述の空(ĉiel)でも使うので重複利用。「顶」は新出ですが画数は8画ほどで多くはありません。
8. eklips (食/蝕: 日食、月食など)
   * 提案: 「蚀」
   * 理由: 現代簡体字で「日蚀」「月蚀」という形で「〜食(しょく)」を表す際に用いられる字です（「食」と混同しないよう、天文現象としては「蚀」が一般的）。
   * 学習コスト: 「蚀」はやや馴染みが薄いですが、天文用語と割り切れば単字化は可能。
9. vesper (夕方)

* 提案: 「夕」
* 理由: 中国語・日本語とも「夕」は夕刻を表す基本の部首・表意文字で、画数が少ない割に「夕方」を直感しやすい。
* 学習コスト: 3画と非常に簡単で、学習負荷が低い字。

1. nokt (夜)

* 提案: 「夜」
* 理由: 「夜」は「夜間」「夜晚」として広く使われる基本字。単に“夜”を示すなら最適。
* 学習コスト: 8画だが、日本語でもお馴染みの字なのでイメージがしやすい。

1. maten (朝)

* 提案: 「早」
* 理由: 「朝」という字はやや画数が多く「朝=ちょう/あさ」と別義（王朝など）もあり混乱しがち。ここでは画数が少なく「朝(あさ)」を連想しやすい「早」を採用。
* 学習コスト: 6画で簡明。

1. krepusk ((朝夕の)薄明り、夜明け前や夕暮れの微光)

* 提案: 「昏晓」
* 理由: 単一漢字で「薄明(= dawn/dusk)」を的確に示すものがなく、朝方も夕方も含む「昏(夕暮れ) と 晓(夜明け)」を組み合わせて“薄明”のイメージに近づけました。
* 学習コスト: 2文字ですが、どちらも比較的使用頻度が高い漢字です(「晓」は「知る」の意味合いでも使われるが、「拂晓」=夜明け等にも用いられる)。

1. ĉiel (空、天)

* 提案: 「天」
* 理由: 「天空」「天」そのものを表すのに最も直接的な字。日本語でも「天」は“天・空”を連想できる。
* 学習コスト: 4画と少なめ。8番の「天顶」に含まれる「天」と同じ。

1. ĉiel## (空) ※本来は語根でないが便宜上

* 提案: 「天」
* 理由: 14番「ĉiel」と同義的なので、重複割当とします。もし「空」を使いたければ「空」でも良いが、ここは「天」と統一。
* 学習コスト: 新規の字を増やさずに済む。

1. spac (空間、スペース)

* 提案: 「空」
* 理由: 中国語で「空间」と言うが、単文字であれば「空」だけでも空間・余地の意を伝えやすい。
* 学習コスト: 8画とやや多いが、「空気」「天空」など派生も多く日本語にも馴染みのある字。

1. kosm (宇宙)

* 提案: 「宇宙」
* 理由: 「cosmos」は「宇宙」と表すのがもっとも一般的。単文字「宇」や「宙」だけでは意味が不十分なので2文字熟語を採用。
* 学習コスト: 「宇(6画)」「宙(8画)」で計14画だが、まとめて一語として学ぶ価値が大きい。

1. univers (宇宙, 万物)

* 提案: 「宇宙」
* 理由: 「universe」と「cosmos」はしばしば同義として使われるため、同じ「宇宙」を再利用して問題ないと判断。
* 学習コスト: 17番と全く同じ字なので、新規学習不要。

1. raket (ロケット)

* 提案: 「火箭」
* 理由: 中国語で「ロケット」は「火箭」が一般的。単文字対応は存在しないので2文字採用。
* 学習コスト: 「火」(4画)・「箭」(15画) で合わせて19画とやや多いが、天文・宇宙関連用語としては十分一般的。

1. stel (星)

* 提案: 「星」
* 理由: 中国語・日本語ともに「星」がシンプルかつ最適。
* 学習コスト: 9画だが非常に馴染みのある基本字。

1. planed (惑星)

* 提案: 「行星」
* 理由: 中国語で惑星は「行星」。単文字は存在しないため2文字。
* 学習コスト: 「行(6画)」「星(9画)」で重複字の「星」が再利用可。

1. komet (彗星)

* 提案: 「彗星」
* 理由: 中国語で「彗星」が最も直接的。単に「彗」だけではほうき状の意味が強く、星を表しきれないので2文字とした。
* 学習コスト: 「彗」は10画、既出の「星」(9画)を再利用できるので、一部重複有り。

efemer / 暂 / 「短暫」(短い・儚い)のイメージ。「暂」は「しばらく」「仮の」の意で「一時的・儚い」を連想しやすい / 画数はやや多いが、「暫(暂)」が持つ「一時的」ニュアンスにより日本語話者にも比較的連想しやすい

* lavang / 雪崩 / 「雪」+「崩」でまさに「雪崩」。中国語でもそのまま「雪崩(xuěbēng)」 / 2文字だが、日中両方で意味が直感的
* frivol / 轻浮 / 「軽い + 浮つく」で「軽薄」「軽はずみ」といった含意が分かりやすい / 個別の「轻」や「浮」だけでは意味が狭くなるが、2字を組み合わせると日本語圏・中国語圏ともに「軽率・軽薄」の語感を得やすい
* inkognit / 隐 / 「隠れる」「目立たないようにする」の意。簡体字の「隐」は「隱」の略字 / 一文字で「お忍び」「隠匿」のニュアンスを連想しやすく、学習コストも比較的低め
* et / 小 / 「小さい」「微小」を表す字。エスペラント接尾辞の「-et-」(縮小・弱小)に対応 / 日中双方で「小」の認知度は高く、学習コストは極めて低い
* jun / 少 / 「若い」「未熟」を表すニュアンスとして採用。中国語では「少年(若い人)」の「少」 / ただし単独の「少」は「少ない」も意味するため、文脈で区別が必要
* knab / 子 / 「子ども」(特に男の子)を連想させる単漢字として / 「子」は日本語・中国語ともに「子供」「息子」の字で認知しやすい
* cigan / 未対応 / 「ジプシー」を的確に1～2字で表す簡体字が存在しないため見送り / 中国語では「吉普赛人」(3字+「人」)など表記が長くなる
* pigme / 未対応 / 「ピグミー」を示す一般的な1文字がなく、2字以上でも「侏儒」など「小人」「小柄」の語とは微妙にズレ / 適切な簡体字・熟語が見当たらないため見送り
* kanajl / 匪 / 「匪賊」「強盗」など「悪党・ごろつき」の意味を中国語で端的に表す字 / 画数(8画)も多過ぎず、「悪棍(悪党)」を1字にまとめる場合の候補
* kramp / 夹 / 「挟む」「はさむ」など「かすがい・クランプ」のイメージに近い単漢字 / 「钳」(ペンチ類)も候補だが画数を考慮し「夹」を採用
* pokal / 杯 / 「さかずき」「コップ」に相当 / 日中ともに「杯」で「コップ・盃」の連想が容易
* pioĉ / 镐 / 「つるはし」を表す代表的簡体字 / 画数はやや多めだが、中国語で「十字镐」というように「つるはし」を直接指す
* ĉarnir / 铰链 / 「ちょうつがい」に対応。単独1文字は存在しないため2文字熟語 / 「铰」(かみ合わせる)＋「链」(鎖)で“つなぎ部分”を連想しやすい
* stup / 麻 / 「麻くず(麻の屑)」を1文字にまとめにくいため「麻」として簡略表記 / 「麻(大麻・麻布等)」の連想から「麻くず」をカバー
* bek / 喙 / 「くちばし」を指す代表的な単漢字 / 画数は12画と少なくないが、「鳥のくちばし」を意味する字として中国語で比較的使われる
* funel / 漏斗 / 「じょうご」を指す2文字熟語 / 単独1文字で「じょうご」を表す漢字は存在せず、「漏斗」は日中両方で馴染みがある
* lam / 跛 / 「びっこ」「足が不自由な」などを表す簡体字 / 「瘸」(更に足が不自由なニュアンス)もあるが、「跛」の方がやや画数が少ない
* balbut / 口吃 / 「どもる」「吃音」の意。中国語で「口吃(kǒuchī)」といい、1文字には収まらない / 「结巴」も同義だが「口吃」の方が「口＋吃」で視覚的に“言葉が詰まる”と連想しやすい
* jug / 轭 / 「くびき」「軛」の簡体字。農耕などで牛馬にかける「くびき」を指す / 1文字で対応可能
* rukt / 嗝 / 「げっぷ」「しゃっくり」など喉から出る音を表す字。中国語では「打嗝」(動詞+目的語)が一般的だが、ここでは単字の「嗝」を採用 / 画数はやや多め
* ĝib / 驼 / 「こぶ(駝峰)」「せむし(駝背)」のイメージ。「駝」の簡体字 / 「峰」(峰)や「瘤」(腫瘤)などとも迷うが、キャメル(humped)のイメージが比較的伝わりやすい

tuber

nginx

Copy

tuber / 瘤 / 「こぶ」「腫瘤」などの突起を表す字として適切 / やや画数多いが、日本語の「瘤(こぶ)」と同形で意味がつかみやすい

* 選定理由: Chineseでも「瘤」(liú)は腫瘤や突起を意味し、「こぶ」に相当する語感がある。
* 学習コスト: 画数は多め(13画)だが、日本語でも「瘤」はなじみがあり混乱が少ない。

1. ĉifon

Copy

ĉifon / 破布 / 「ぼろぎれ」「破れた布」を表す熟語 / 「破」「布」はともに画数少なめで汎用性高い

* 選定理由: 単字で「ぼろぎれ」を明示するのは難しいため、「破れた布」を直截に示す「破布」を採用。
* 学習コスト: 「破(10画)」「布(5画)」はいずれも常用で分かりやすい。今後「布」を衣類などにも転用可能。

1. kojn

nginx

Copy

kojn / 楔 / 「くさび」を意味する最も直接的な単字 / 日本語「楔」と同形

* 選定理由: 中国語で「楔子(くさび)」と書くが、単字「楔」(xiē)だけでも「くさび」を指し示す。
* 学習コスト: 画数(9画)は中程度。日本語でも同形のため直感的。

1. dorn

nginx

Copy

dorn / 刺 / 「トゲ」「棘」を表すのに簡潔な単字 / 画数が少なく汎用性も高い

* 選定理由: 「刺」(cì)は「とげ」「突き刺すもの」を表す基本的な字で、中国語圏でも直感的。
* 学習コスト: 画数(6画)が少なく、すでに日本語でも「刺す」等で馴染みがある。

1. veruk

nginx

Copy

veruk / 疣 / 「いぼ」を表す直接的な単字 / 日本語・中国語ともに対応

* 選定理由: 中国語で「疣(yóu)」はまさしく「いぼ」を指す字として使われる。
* 学習コスト: 画数(9画)は中程度だが、意味対応がはっきりしている。

1. roman

nginx

Copy

roman / 长篇 / 「長編小説」を示す省略形 / 中国語「长篇小说」を短縮して表現

* 選定理由: 中国語の「长篇小说(長編小説)」のうち「长篇」部分を抜き出すと「長編」のニュアンスが伝わりやすい。
* 学習コスト: 「长」(4画)は常用字、「篇」(15画)はやや多いが文学分野で再利用可能。

1. novel

nginx

Copy

novel / 小说 / 「小説」を意味する最も一般的な中国語表現 / 日本語「小説」に近い

* 選定理由: 中国語の日常用語そのまま(小说: xiǎoshuō)で「小説」を指す。
* 学習コスト: 「小」(3画)は基本字で、「说(説)」(9画)はすでに日本語の「説」とほぼ対応。

1. tragikomedi

nginx

Copy

tragikomedi / 悲喜剧 / 「悲喜劇」をそのまま示す3文字熟語 / 悲・喜・剧はいずれも認知度が高い

* 選定理由: 中国語で「悲喜剧(bēixǐjù)」は「悲喜劇(ひきげき)」の直訳。
* 学習コスト: 「悲」(12画)、「喜」(12画)、「剧」(8画)。すでに「剧」は他の演劇関連でも活用。

1. dram

nginx

Copy

dram / 戏剧 / 「戯曲」「演劇」を表す一般的な中国語 / 「劇本」などと近い語感

* 選定理由: 中国語で「戏剧(xìjù)」は広く「演劇」「戯曲」を指す。
* 学習コスト: 「戏」(6画)と「剧」(8画)はいずれも演劇関連語根に再利用できる。

1. komedi

nginx

Copy

komedi / 喜剧 / 「喜劇」を表す中国語の定訳 / 悲喜剧とも部分共有

* 選定理由: 「喜剧(xǐjù)」は「喜劇」の直訳。
* 学習コスト: すでに8)で使った「喜」「剧」と同一字を再利用。

1. histori

nginx

Copy

histori / 历史 / 「歴史」の中国語標準表記 / 簡潔でわかりやすい

* 選定理由: 中国語「历史(lìshǐ)」は日本語「歴史」に対応。
* 学習コスト: 「历」(4～5画)と「史」(5画)の計2文字。常用で覚えやすい。

1. biografi

nginx

Copy

biografi / 传记 / 「伝記」を表す最も一般的な中国語 / 「传」と「记」はともに基本字

* 選定理由: 中国語「传记(zhuànjì)」はまさに「人物伝」=「伝記」を示す定訳。
* 学習コスト: 「传」(6画)は「伝」と同源字、「记」(5画)は日本語「記」とほぼ同形。

1. alegori

nginx

Copy

alegori / 讽喻 / 「寓意的な譬え話」を示す語 / 「風刺＋喩」のニュアンス

* 選定理由: 中国語で「讽喻(fěngyù)」は風刺を含んだ比喩・寓話に近い。完全一致ではないが「寓言」等と差別化。
* 学習コスト: 「讽」(6画)、「喻」(12画)はいずれも「言」偏を含むため、文芸・語りに関する語と関連付け可能。

1. anekdot

nginx

Copy

anekdot / 轶事 / 「逸話」「小話」を意味する中国語表現 / 漢語でも定訳

* 選定理由: 中国語「轶事(yìshì)」は「逸話」「世間にあまり知られていない話」を指す。
* 学習コスト: 「轶」(5画)と「事」(6～8画)はいずれも比較的覚えやすい。

1. fabl

nginx

Copy

fabl / 寓言 / 「寓話」「教訓的な短い物語」を指す定訳 / 日本語にも「寓話」として馴染み

* 選定理由: 中国語で「寓言(yùyán)」は典型的な「fable」を指す。
* 学習コスト: 「寓」(12画)と「言」(7画)でやや多いが、「言」偏は他でも多用可能。

1. fabel

nginx

Copy

fabel / 童话 / 「童話」を意味する中国語 / 「童」「话」はいずれも比較的基本

* 選定理由: 中国語で「童话(tónghuà)」は「子供向けの物語」、日本語「童話」と一致。
* 学習コスト: 「童」(12画)は子供関連で流用可能、「话」(7画)はすでに「小説(小说)」などで使う「言」偏系。

1. legend

css

Copy

legend / 传说 / 「伝説」を意味する中国語常用語 / 既出の「传」「说」を再利用

* 選定理由: 中国語「传说(zhuànshuō)」は「伝えられてきた話」=「伝説」。
* 学習コスト: 「传」(6画)、「说」(9画)はいずれも既出(「传记」「小说」など)で学習コスト低減。

1. mit

nginx

Copy

mit / 神话 / 「神話」を意味する熟語 / 日本語「神話」と同形かつ簡体「话」を再利用

* 選定理由: 中国語「神话(shénhuà)」は神の物語、=「神話」。
* 学習コスト: 「神」(9画)は初出だが「话」(7画)はすでに使用済み。

1. sort

bash

Copy

sort / 命运 / 「運命」を意味する最も直接的な熟語 / 中国語でよく用いられる

* 選定理由: 中国語「命运(mìngyùn)」は「命」と「運」を組み合わせて「運命・宿命」を表す。
* 学習コスト: 「命」(8画)は基本、「运」(7画)は「運」の簡体。

1. fatal

nginx

Copy

fatal / 宿命 / 「宿命」を意味する漢語 / 「宿」と「命」で「逃れられない運命」を強調

* 選定理由: 中国語でも「宿命(sùmìng)」は「避けられない運命」を指す語。
* 学習コスト: 「宿」(11画)は初出だが、「命」(8画)は19)で既出。

1. event

csharp

Copy

event / 事件 / 「事件」「出来事」を意味する中国語定訳 / 「事」はすでに使っている

* 選定理由: 中国語「事件(shìjiàn)」は出来事や事件全般を指す標準表現。
* 学習コスト: 「事」(8画)は14)「轶事」で既出、「件」(6画)は新出だが常用。

1. epizod

nginx

Copy

epizod / 集 / 「エピソード」を1字で便宜的に表す / 中国語でドラマ等の「～集」に対応

* 選定理由: 中国語ではドラマや番組の「～集」(episode)という数え方があるため、単字「集(jí)」で「エピソード」の意図を示す。
* 学習コスト: 「集」(12画)は一見多いが、日本語でも「集(しゅう)」「全集」などで馴染み深い。

eventual

* + 或
  + 選定理由: 古漢語で「あるいは」「もしや」といった不確実性・可能性を示す字。 “起こり得る”というニュアンスを1文字で表すには比較的わかりやすい。
  + 学習コスト等: 画数が8画とやや多めだが、他に適当な1文字表現が少ないため採用。

1. okaz
   * 发
   * 選定理由: 「发生(起こる)」の“发”を抽出し、出来事が“発生する”のイメージに近い。
   * 学習コスト等: 画数5画で比較的少なく、再利用価値も高い。
2. akcident
   * 事故
   * 選定理由: 中国語でも日本語でも同じ綴り・ほぼ同じ意味。「意外」「偶発」などもあるが、最も直接的で誤解が少ない表現。
   * 学習コスト等: 2文字だが、いずれも日中で馴染みのある字。単独1文字で「事故」の意味を明確に表せる字が少ないため2文字とした。
3. ŝanc
   * 机
   * 選定理由: 中国語「机会(チャンス、機会)」の“机”から着想。英語の"chance/opportunity"に相当する。
   * 学習コスト等: 画数6画。機械の意味にも使われるが、簡体字としてはコンパクト。
4. hazard
   * 险
   * 選定理由: 「危险(危険・リスク)」の“险”を抽出。危険や偶然性を伴う「ハザード(不測の事態・リスク)」のニュアンスに合う。
   * 学習コスト等: 画数9画だが、「危険」＝“险”は日中ともに意味を推測しやすい。
5. atavism
   * 返祖
   * 選定理由: 中国語で「返祖现象」と言い、返って祖先の形質が現れる＝「隔世遺伝」にあたる表現。
   * 学習コスト等: 2文字だが、専門用語ゆえ1文字での表現は困難。
6. genealogi
   * 系谱
   * 選定理由: 「系谱(系図・家系図)」は中国語でも一般的。
   * 学習コスト等: 2文字ながら、家系・系統を示す“系”と「譜」を示す“谱”で分かりやすい。
7. etnografi
   * 民族志
   * 選定理由: 「民族志(Ethnography)」は日中共通で専門用語として定着。
   * 学習コスト等: 3文字と少し長いが、標準的な訳語なのでわかりやすい。
8. ras
   * 族
   * 選定理由: 「种族(人種)」などの語に含まれ、英語の“race”に相当するニュアンスを1文字で表現可能。
   * 学習コスト等: 画数が11画と少し多めだが、下記のgent・etnとも共通化して再利用を図る。
9. gent

* 族
* 選定理由: 「氏族」「民族」などをイメージしやすい。「ras」と同じく“族”を再利用し学習負荷を削減。
* 学習コスト等: 同字再利用により、覚えるべき新字を抑制。

1. etn

* 族
* 選定理由: こちらも「民族」イメージで“族”とした。
* 学習コスト等: 「ras」「gent」との使い回し。

1. human

* 仁
* 選定理由: 中国語や日本語で「仁」は思いやり・人道の意味を含む。“人間的な・人道的な”に近く、抽象的な「ヒューマンさ」を1文字で表すのに適当。
* 学習コスト等: 画数4画で比較的シンプル。

1. ul

* 人
* 選定理由: エスペラントの接尾辞「～の人」を示す最も直接的な字。
* 学習コスト等: 2画。非常にシンプルで、他の「人」を表す語根とも使い回し可能。

1. oni

* 人
* 選定理由: 不特定の「人々/one/they」に相当する語。やはり“人”で示し、区別は振り仮名等で対応。
* 学習コスト等: 上記ulと同字再利用で統一。

1. hom

* 人
* 選定理由: エスペラントの「hom」は「人間」を意味する代表的語根。漢字も“人”が最適。
* 学習コスト等: 既出の“人”を使い回す。

1. person

* 人
* 選定理由: 意味がほぼ同義なのでやはり“人”を共用。
* 学習コスト等: “人”の再利用。

1. pleb

* 民
* 選定理由: 歴史的文脈での平民階級=「民衆」を表す。
* 学習コスト等: 5画で比較的覚えやすい。後述のcivilとも関連。

1. civil

* 民
* 選定理由: 「市民」「平民」「民間」のような文脈。“民”を再利用し、市民性を示す。
* 学習コスト等: 同字再利用で、学習負担を軽減。

1. naci

* 国
* 選定理由: 「国家」「国民」など“国”で広く理解される。
* 学習コスト等: 8画でやや多いが、日中とも「くに／guó」として認知度が高い。

1. popol

* 众
* 選定理由: 「人民、大衆」を意味し、集合的な「多くの人」のイメージに合う。
* 学習コスト等: 6画だが、人偏の集まりを表すため視覚的にも“人が集まる”印象を与えやすい。

1. civilizaci

* 文明
* 選定理由: 「文明(civilization)」は日中で共通する2文字熟語。
* 学習コスト等: 2文字だが合計8画で比較的わかりやすい。

1. social

* 社
* 選定理由: 「社会」を意味する“社”を抽出。会社、社団のイメージから“共同体・社会”を連想しやすい。
* 学習コスト等: 7画。2文字「社会」に比べれば1文字で済むため簡略化できる。

soci

* + 提案字: 社
  + 理由: 「社会」(社会)の語頭であり、日中双方で「社会」「会社」などの熟語に含まれ、「人が集まる」「共同体」といったニュアンスが想起しやすい。画数も比較的少ない。
  + 既出・学習コスト: 初出。1文字で意味が取りやすい点を評価。

1. prolet
   * 提案字: 无产
   * 理由: 「无产阶级」(無産階級)の略。日本語「無産階級」を想起しやすく、中国語でも“无产”といえばプロレタリアを連想できる。
   * 既出・学習コスト: 2文字だが、単体で「无/無」「产/産」はよく使われるので学習コストは比較的低めと考えられる。
2. proletari
   * 提案字: 无产
   * 理由: 2と同根の概念(プロレタリア)。形容詞化・名詞化の違いはあるが、同一表記でまとめて学習負荷を下げる。
   * 既出・学習コスト: 2と同じ割当を使い回し。
3. nomad
   * 提案字: 游牧
   * 理由: 「游牧民族」の略。日本語の「遊牧民」にも近く、両言語で「移動しながら家畜を飼う」イメージを伝えやすい。
   * 既出・学習コスト: 新出2文字だが、常用漢字であり連想は容易。
4. koloni
   * 提案字: 殖民
   * 理由: 「殖民地」(植民地)の中心部分。「殖」単体は意味がやや曖昧なため、2文字にしてわかりやすさを重視。
   * 既出・学習コスト: 新出2文字だが、植民地のイメージが直感的にわかる。
5. indiĝen
   * 提案字: 土著
   * 理由: 中国語の「土著(民)」=土着民/先住民の意。日中ともに「土(つち)」「著(あらわす)」から「土地に根付いた人々」と連想可能。
   * 既出・学習コスト: 新出2文字だが、熟語としては短く視覚的にも分かりやすい。
6. patriot
   * 提案字: 爱国
   * 理由: 「爱国者」(愛国者)の簡略形。「愛国」の2字で「祖国を愛する」というニュアンスが分かりやすい。
   * 既出・学習コスト: 新出2文字だが、どちらも頻出の簡体字。日本語話者も「愛国」でほぼ同義を連想。
7. ŝovinism
   * 提案字: 沙文
   * 理由: 中国語「沙文主义」(ショービニズム)の略。日本語圏ではやや馴染み薄いが、中国語で「沙文」は「極端な愛国主義」を示唆。
   * 既出・学習コスト: 新出2文字。「文」は今後も使う可能性が高いが、「沙」は画数がやや少ない点を評価。
8. ŝovinist
   * 提案字: 沙文
   * 理由: 8と同じく「沙文主义者」の略。-ism と -ist の区別は運用上同じ表記として簡易化し、学習コストを下げる。
   * 既出・学習コスト: 8と同一表記を使い回し。
9. nepotism

* 提案字: 裙带
* 理由: 「裙带关系」(縁故主義・コネ)の簡略。日本語話者にはやや難解だが、中国語では即座に「ネポティズム」を連想。
* 既出・学習コスト: 新出2文字だが、対応する単語が他にあまり無いため、短縮形を採用。

1. filantrop

* 提案字: 博爱
* 理由: 中国語で「博爱」=博愛；慈善・広く愛する意。日本語「博愛主義」とも類似し、慈善家・博愛主義者のイメージ。
* 既出・学習コスト: 新出2文字だが、12と共通して使うため、この2文字でまとめる。

1. filantropi

* 提案字: 博爱
* 理由: 11の形容詞/名詞用法の違いを区別せず、同じ表記を使用。博愛・慈善の概念が共通。
* 既出・学習コスト: 11と同一表記。

1. panteism

* 提案字: 泛神
* 理由: 本来「泛神论」が正式だが、論(论)を省き2文字に簡略化。日中とも「汎神論」として広義に理解できる。
* 既出・学習コスト: 新出2文字。「神」は宗教関連で今後再利用の可能性あり。

1. panteist

* 提案字: 泛神
* 理由: 13から論者(-ist)をさらに区別すると文字数が増すため、概念的に同一化。
* 既出・学習コスト: 13と同一表記を使い回し。

1. ego/ist##

* 提案字: 利己
* 理由: 中国語でも「利己(主义)」はエゴイズム、利己主義を表す。日中共に意味を直感しやすい。
* 既出・学習コスト: 新出2文字だが常用。画数も比較的少なめ。

1. optimism

* 提案字: 乐观
* 理由: 「乐观主义」(楽天主義)を短縮。日本語「楽観」に近い。
* 既出・学習コスト: 新出2文字。「楽(乐)」「観(观)」ともに頻出で、派生が期待できる。

1. optimist

* 提案字: 乐观
* 理由: 16と同じく「楽観的(な人)」の意味合い。-ism / -istの差異を同形で吸収。
* 既出・学習コスト: 16と同一表記。

1. oligarki

* 提案字: 寡头
* 理由: 中国語の「寡头政治」の略。日本語の「寡頭政治」も同じイメージを得やすい。
* 既出・学習コスト: 新出2文字。政治関連用語で今後再利用の可能性あり。

1. oligarĥi

* 提案字: 寡头
* 理由: 18と同義(寡頭政治)。-arki / -arĥi の表記差異は吸収して簡略化。
* 既出・学習コスト: 18と同一表記。

1. oligark

* 提案字: 寡头
* 理由: 中国語で「寡头」は「寡頭政治を行う少数権力者」自体も指す。少数独裁者を連想可。
* 既出・学習コスト: 18と同一表記。

1. oligarĥ

* 提案字: 寡头
* 理由: 20と同じく、-ark / -arĥ の語尾差は吸収。一貫して寡頭で統一。
* 既出・学習コスト: 18と同一表記。

1. plutokrat

* 提案字: 财阀
* 理由: 中国語「财阀」は“富裕層による権力支配”を連想。日本語でも「財閥」として通じる。金権政治家(プルトクラート)のイメージが近い。
* 既出・学習コスト: 新出2文字だが、どちらも常見字で理解は容易。

plutokrati / 金政 /

* + 選定理由: 「金」= 金銭・富を象徴、「政」= 政治。富による支配(=金権政治)をイメージしやすい
  + 学習コスト等: 「政」を政治形態の接尾辞として今後使い回す想定

1. demagog / 煽 /
   * 選定理由: 「煽」は「煽動」「扇動」を連想しやすい。扇動家(=demagogue)を短く示す
   * 学習コスト等: 他の語に流用はあまりしないが、1字で強い意味を出せるため採用
2. demokrat / 民主 /
   * 選定理由: 中国語・日本語共に「民主」で通じやすい
   * 学習コスト等: 「民」「主」の組み合わせは他の単語(君主など)でも出現し得る
3. demokrati / 民主 /
   * 選定理由: 同上(3)と同様。民主政治=「民主」で簡潔化
   * 学習コスト等: 既出の「民主」をそのまま流用
4. konservativ / 保守 /
   * 選定理由: 中国語・日本語ともに「保守」は“保守的”を指す語
   * 学習コスト等: 「保」は後続で保護(「保国」など)に流用可能
5. protektorat / 保国 /
   * 選定理由: 本来は「保护国」などが一般的だが、2字で簡略化し「保」= 保護、「国」= 国家
   * 学習コスト等: 「保」は(5)と同じ字を使って学習コストを下げる
6. diktator / 独裁 /
   * 選定理由: 中国語で「独裁」は“独裁(者)”“独裁政権”の意を取りやすい
   * 学習コスト等: 「独」は要注意だが、政治形態の語として頻出しやすい
7. tiran / 暴君 /
   * 選定理由: 中国語で「暴君」は“tyrant”に該当し、専制的支配者・暴虐な君主を指す
   * 学習コスト等: 「暴」は画数多めだが「君」と合わせて明確な意味になる
8. despot / 暴君 /
   * 選定理由: 「despot」も(8)同様に「暴君」で表せるため重複割当
   * 学習コスト等: 上記と同じく使い回し
9. aŭtokrat / 专制 /

* 選定理由: 中国語で「专制」は“専制(的)/独裁的”の意。autocrat(専制君主)にも比較的対応しやすい
* 学習コスト等: 「专」は筆画が少なく、今後も絶対権力・専制の概念で再利用可能

1. imperi / 帝国 /

* 選定理由: 中国語・日本語ともに「帝国」で“empire”の意が明確
* 学習コスト等: 「帝」「国」は他の単語(帝国主义など)でも再利用可

1. imperialism / 帝国主义 /

* 選定理由: 簡体字の標準訳。「帝国主義」の4字熟語だが最も通じやすい
* 学習コスト等: 既出の「帝」「国」「主」を再利用、「义」は新出だが以後の「～主义」で活用可能

1. monarĥi / 君主制 /

* 選定理由: 中国語で「君主制」は“monarchy”の概念。やや3字だが標準的
* 学習コスト等: 「君」「主」は既出要素と近く、「制」は政治体制で再利用可能

1. monarki / 君主制 /

* 選定理由: 上と同じく君主政治=「君主制」で一貫
* 学習コスト等: 同上(13)

1. aŭtokrati / 专制 /

* 選定理由: “autocracy”=「专制」(absolute rule)。先の(10)「aŭtokrat」と同一語を流用
* 学習コスト等: 重複利用で学習コストを下げる

1. teokrati / 神政 /

* 選定理由: 標準的には「神权政治」などがあるが、2字なら「神政」で“神による統治”を表現
* 学習コスト等: 「神」は他の無神論(無神)とも関連し得る

1. aristokrati / 贵政 /

* 選定理由: 「贵」= 貴族、「政」= 政治。やや造語的だが“貴族政治”を2字で示す
* 学習コスト等: 「贵」は簡体字(繁体「貴」)、政治を示す「政」は再利用

1. ateism / 无神论 /

* 選定理由: 中国語で一般的な表記。「无神论」は“atheism”に最も対応
* 学習コスト等: 3字だが「无」「神」は他の語でも現れ得る。論理や主張の「论」も他で用いる可能性

1. ateist / 无神论者 /

* 選定理由: “無神論者”は標準的に「无神论者」と表記(4字)。短縮形だと誤解されやすいため
* 学習コスト等: (18)の「无神论」に「者」を付加し、人を指す構造は学習しやすい

1. nihilism / 虚无主义 /

* 選定理由: 中国語で“nihilism”=「虚无主义」。最も通じやすい標準表現
* 学習コスト等: 4字だが「无」「主义」は既出要素と組み合わせ

1. nihilist / 虚无主义者 /

* 選定理由: 上(20)「虚无主义」に“人”を指す「者」を付加
* 学習コスト等: (19)の「～论者」と同様、「～主义者」という形は中国語で慣用

1. racional/ism## / 理性主义 /

* 選定理由: 合理主義(rationalism)を中国語では「理性主义」と表すことが多い
* 学習コスト等: 「理」「性」「主」「义」は既出または今後も使いやすい要素

racional/ist##

* 提案: 理性主义者
* 理由: 「合理主義者(日本語)」に相当する標準的な簡体字表現。「理性主义」(＝「理性主義」)＋「者」で「rationalist」の意味を明確に示せる。
* 補足: 文字数は多めだが、中国語圏・日本語圏双方で意味を推測しやすい。すでに使われている「主」「义」「者」などを再利用する方針にも合致する。
* pacifism
* 提案: 和平主义
* 理由: 「平和主義(日本語)」に相当する標準的な簡体字。「和平」＋「主义」で「平和主義」を表す。
* 補足: 4文字だが、すでに「主」「义」を別単語で使用しており、学習コストを抑えられる。
* pacifist
* 提案: 和平主义者
* 理由: 「平和主義者(日本語)」の意味をもつ標準的な簡体字表現。「和平主义」に「者」を付加。
* 補足: 「主义」「者」は他の-ism/-ist系語にも流用でき、学習コストを共通化しやすい。
* meĥanism
* 提案: 机制
* 理由: 「メカニズム」に対応する簡体字の一般的な訳語。制度的な「メカニズム」や仕組みを示す場合に広く使われる。
* 補足: 2文字で比較的画数も少なく、他の語と組み合わせも容易。
* mekanism
* 提案: 机械
* 理由: 「機械の構造・原理」を示すときに一般的。「mechanism」の機械的ニュアンスを強調する場合の中国語表現に近い。
* 補足: 「机」は既出(机制)と同じ偏旁を含み、学習コストを抑えられる。
* kemi
* 提案: 化学
* 理由: エスペラント「kemi」は「化学」を意味するため、中国語の「化学」が最も直感的。
* 補足: 「化」と「学」は非常に基本的で、学習コストも低い。
* ĥemi
* 提案: 化学
* 理由: 「kemi」と同義のため同じ割り当て。「ĥemi」は古い綴り/異形だが意味は同一。
* 補足: 同一表記にすることで重複を減らし、覚えやすさを優先。
* dinamik
* 提案: 力学
* 理由: 「力学(＝dynamics)」として最も簡潔かつ標準的な訳。
* 補足: 既出の「学」を再利用。画数も比較的少ない。
* meĥanik
* 提案: 力学
* 理由: 「mechanics(力学)」に相当。「メカニコ」(meĥaniko)の訳語としても通用する。
* 補足: 既にdinamikで用いた「力学」を再利用して学習コストを抑制。
* mekanik
* 提案: 力学
* 理由: 同じく「力学」「機械学」的意味を含むため、上と同じ訳で対応可能。
* 補足: meĥanikとの重複割当で統一性を図り、文字数を削減。
* faksimil
* 提案: 传真
* 理由: ファクシミリ(ファックス)を意味する中国語の常用単語。「传真」は「写しを伝える」の意。
* 補足: 2文字熟語で比較的わかりやすく、日本語圏でも想像しやすい。
* feminism
* 提案: 女权主义
* 理由: 「フェミニズム(女性の権利主義)」を表す標準的な簡体字。
* 補足: 既出の「主义」を再度利用。「女权」は中国語で「女性の権利」を指し、本義に近い。
* feminist
* 提案: 女权主义者
* 理由: 「フェミニスト」＝「女权主义＋者」で示すのが中国語表現として自然。
* 補足: すでに使用済みの「主」「义」「者」を再利用し、学習コストを低減。
* maksim
* 提案: 格言
* 理由: 「金言」「格言」として一般的に使われる2文字熟語。
* 補足: 短い熟語かつ意味が伝わりやすい。
* etim
* 提案: 词源
* 理由: 「etymon(語源)」に近い中国語表現。字義として「単語の源」を示す。
* 補足: 「原義」というよりは「語源」に重きをおくなら「词源」が自然。
* prism
* 提案: 棱镜
* 理由: プリズム＝「棱镜」が中国語では標準的。
* 補足: 専門用語だが2文字で簡潔。日本語でも「棱鏡(稜鏡)」に近い表現。
* gotik
* 提案: 哥特
* 理由: 「ゴシック」の音訳表現として、中国語で一般的に「哥特」または「哥特式」という。
* 補足: 「哥」「特」は音訳として頻出し、他の外来語の習得時にも再利用される。
* grotesk
* 提案: 怪诞
* 理由: 「グロテスク・怪奇・奇妙」といったニュアンスを示す際によく使う形容詞。「怪诞的」も可。
* 補足: 2文字でコンパクトに表現でき、意味も把握しやすい。
* plastik
* 提案: 造型
* 理由: 「造形術」「塑造術」に相当。特に芸術領域で「造型艺术」などと使われる。
* 補足: 「塑」の字よりも画数の少ない「造型」で簡潔化。2文字に収めて学習負担を抑える。
* formul
* 提案: 公式
* 理由: 「書式・分子式・数式」などをまとめて「公式」として示すことが多い。
* 補足: 基本的な学術用語で、2文字で意味が明確。
* form
* 提案: 形
* 理由: 「形・形状」の最もシンプルな1文字。「形式」と区別しないなら「形」で十分。
* 補足: 画数も少なく、初学者にも負担が軽い。
* figur
* 提案: 图形
* 理由: 「姿・図形・形象」の意。「図＋形」で「figure(図形・形状)」を広くカバー。
* 補足: 既出の「形」を再利用。「图」も常用字で日本語圏にも比較的連想しやすい。

politik / 政 /

* + 選定理由: 「政治」の中心概念である「政」を採用。簡体字も日本語も同形で“政治・行政”の意味が通じる。
  + 学習コスト: 「政」は他にも「财政(財政)」などで再利用可能。

1. taktik / 计 /
   * 選定理由: 「計画・計略」などで使われる「计」(日本語の「計」)を「戦術・方策」の意味へ転用。画数が少なく、イメージもしやすい。
   * 学習コスト: 後述の「统计(統計)」にも含まれるので重複利用が可能。
2. strategi / 略 /
   * 選定理由: 「戦略」=「战略」「戦略」の主要部分「略」。日本語でも「略す・戦略・省略」等で使われ、戦略や大まかな方策のイメージを連想しやすい。
   * 学習コスト: 一文字なので比較的取り組みやすいが、新規追加字。ほかにも「攻略」「策略」などで使われうる。
3. statistik / 统计 /
   * 選定理由: 簡体字で「統計」を表す標準的な表記。「统计」は中国語では“statistics”に相当し、日本語話者も「統計」と対応付けしやすい。
   * 学習コスト: 「计」は既出(2番目のtaktik)。新たに「统」が加わるが、今後「统一(統一)」などでも応用可能。
4. financ / 财政 /
   * 選定理由: 中国語で「財政」を意味する「财政」。日本語でも「財政」として通じるので分かりやすい。
   * 学習コスト: 「财」は初出だが「政」は(1) politikと重複利用。
5. ekonomi / 经济 /
   * 選定理由: 中国語で「経済」を意味する「经济」(日本語の「経済」と対応)。最も標準的で認知度が高い。
   * 学習コスト: 「经」「济」はそれぞれ初出。ただし他の経済関連用語(「経営」「済度」など)に派生可能。
6. scienc / 科学 /
   * 選定理由: 中国語でも日本語でも「科学」は同義語。最もオーソドックスで誤解が少ない。
   * 学習コスト: 「科」は本件で初出、「学」は今後さまざまな「～学」で頻出するので再利用しやすい。
7. erudici / 博学 /
   * 選定理由: 「博学」は“広く学識のあること”を表す熟語。日中で意味が同じく“博識、エリudite”のニュアンス。
   * 学習コスト: 「博」は新規だが、「学」は(7)等で既出。
8. skolastik / 学术 /
   * 選定理由: 中国語で“学術・アカデミック”を表す「学术」を準拠形とし、スコラ的・学問的という意味合いに対応。
   * 学習コスト: 「学」は再利用、「术」は初出だが後述(20)で再び使う。
9. filozof / 哲 /

* 選定理由: 「哲」は“哲人・哲学者”など、知恵・賢人を表す一文字。簡体・繁体・日本語いずれでも字形が共通。
* 学習コスト: 単字で新規追加。後続(11)で「哲学」と組み合わせ再利用。

1. filozofi / 哲学 /

* 選定理由: 中国語・日本語ともに「哲学」は完全に一致する熟語で意味が明確。
* 学習コスト: 「哲」は(10)で既出、「学」は(7)等で既出。

1. pedant / 学究 /

* 選定理由: 「学究」は中国語でも日本語でも“学問を極めようとする人”だが、ともすれば“ペダンティック”な含みもあり、使い勝手が近い。
* 学習コスト: 「学」は再利用、「究」は新出(ただし画数は大きめ)。

1. metafizik / 形而上学 /

* 選定理由: いわゆる「形而上学」の定訳で、日中ともに“metaphysics”を指す標準用語。
* 学習コスト: 「学」は再利用。「形」「而」「上」は新規だが、形而上学の概念はこれが定番。

1. katekiz / 教理 /

* 選定理由: 「教理」は“宗教上の教義（カテキズム）”を簡潔に表す2文字。日本語でも「教理問答」等で通じる。
* 学習コスト: 「教」「理」はここで初出だが、(17)や他宗教関連表現で再利用可能。

1. kateĥiz / 教理 /

* 選定理由: (14)とほぼ同義のため同一割当。「カテキズム」の同形語根としてまとめて扱う。
* 学習コスト: (14)と同様。

1. stoik / 斯多葛 /

* 選定理由: 中国語でストア学派は「斯多葛学派」が一般的(「斯多噶」とも)。日本語にも翻訳借用可能。
* 学習コスト: 「斯」「多」「葛」はいずれも新規で、特殊用語ゆえ他への転用は少なめ。

1. dogm / 教条 /

* 選定理由: 「教条」は“ドグマ、教条”そのものを指す。日本語でも同義。
* 学習コスト: 「教」は(14)で既出、「条」は新規追加。

1. ism / 主义 /

* 選定理由: 「～主義」は中国語で「～主义」。日本語でも“主義”の概念と容易に結びつく。
* 学習コスト: 「主」と「义」はいずれも新規だが、「主义」は非常に広い文脈で再利用頻度が高い。

1. doktrin / 学说 /

* 選定理由: 中国語で“学説”を「学说」と書く。日本語「学説」とも近い表現。
* 学習コスト: 「学」は既出、「说」は新規(「説」の簡体)。使用頻度は高め。

1. stenografi / 速记术 /

* 選定理由: 中国語「速记」(速記)＋「术」(術)で“速記術”に相当。日本語でも意味をつかみやすい。
* 学習コスト: 「术」は(9)で既出。新規は「速」「记」。やや増えるが、分かりやすさを優先。

1. sintaks / 句法 /

* 選定理由: 中国語で“構文”を「句法」と呼ぶことが多い。日本語話者にも「句＝文の区切り」「法＝ルール」のイメージで伝わりやすい。
* 学習コスト: 「句」「法」は本項初登場だが、(22)で「法」が再利用される。

1. gramatik / 语法 /

* 選定理由: 中国語の標準語彙で“文法”は「语法」。日本語の「文法」とも対応しやすい。
* 学習コスト: 「法」は(21)で既出。「语」は新規(「語」の簡体)。

retorik / 修辞 / 「修辞」は中国語でも「修辞(学)」と呼ばれ、日中双方で「レトリック(修辞)」の意味が直感的に伝わりやすいため / 2文字熟語だが、単独1文字では「辞」「修」いずれも不十分なので2文字とした。今後も「辞」は語彙関連に使える可能性あり。

* ortografi / 正字 / 「正字(法)」は「正しい文字づかい(正書法)」に相当し、日中双方である程度意味を推測しやすい / 「正」「字」は今後も再利用頻度が高いと見込まれる。実際、(6)「liter/字」で「字」を再利用予定。
* interpunkci / 标点 / 中国語で「标点」は句読点や記号類を指す標準的用語で、日中双方における“句読・区切り”のイメージを想起しやすい / 「标」「点」は頻出部首「木」「灬(点)」を含み、他語根でも利用される可能性がある。
* stil / 文体 / 「文体」は日中双方において“文章のスタイル”を意味し、直感的に対応する / 単独1文字では「文」「体」いずれもやや広義なので2文字熟語とした。どちらも画数は比較的少なく、学習コストも大きくはない。
* ideografi / 表意 / 「表意文字」「表意」と言えば、“意味を表す文字体系”を指し、中国語話者・日本語話者双方に比較的分かりやすい / 2文字熟語だが画数はさほど多くない。今後「意」は「意味」系統で流用しやすい。
* liter / 字 / “文字・字”の意味として最も直接的な1文字。「文字」という概念を代表するのに適当 / 既に(2)「正字」で使った「字」と同じものを再利用することで学習コストを抑える。
* alfabet / 字母 / 中国語で「字母」はアルファベットなどの“文字の母音字・子音字の総称”を指す用語として定着している / (6)で使用した「字」を再利用し、新出は「母」1文字のみ。
* aforism / 警句 / 中国語でも「警句」は箴言・短い警醒的な言葉を指す。日本語でも「警句」といえば“短い含蓄ある名言”として伝わりやすい / 2文字熟語だが(9)でも再利用予定、学習コストを削減できる。
* epigram / 警句 / 「aforism」とほぼ同義で、短い格言的性質を持つため同じ「警句」を流用 / 同一熟語割当だが、エスペラント側では発音・文脈で区別可能と想定。
* siluet / 影 / 「影」は“シルエット・影・映像”のイメージを含み、1文字で比較的わかりやすい / 本来「轮廓」(輪郭)などもあるが2文字なので、画数の少ない「影」を採用。
* spektr / 谱 / 中国語の「光谱(スペクトル)」「谱线(スペクトル線)」などに由来し、スペクトル全般を指すときによく使われる / 1文字「谱」で多種の“～スペクトル”に応用可能。やや画数多めだが意義は明確。
* helic / 螺 / プロペラ「螺旋桨」の「螺」部分を流用し、回転・螺旋のイメージを強調 / (13)の「spiral」にも同じ「螺」を割り当て、学習コストを削減。
* spiral / 螺 / 中国語の「螺旋(spiral)」から引用して同じ「螺」を充当 / (12)と同字を使い回すことで、螺旋・回転系の語根を一括して学習しやすくした。
* cikl / 周 / 「周期」を表す際、中国語では「周期(周)」が頻用されるため、簡潔に「周」とした / (15)とも重複利用し、“繰り返し・サイクル”のニュアンスを1文字で統一。
* period / 周 / 「周期」「期間」という意味において「周」を再利用 / (14)と同じ文字の使い回しにより、学習コストをさらに低減。
* procesi / 行 / 宗教行列など「行進」のニュアンスを含み、「行」は“歩む・行列を成す”イメージが強い / 単独1文字としても汎用性があるため採用。今後「行動」「行走」など多方面に応用しやすい。
* vic / 列 / 「列」は“縦や横に並んだ列・隊列”を示す際に直感的 / (16)の「行」と意味上近いが、ここでは「列」を使い分け。1文字で分かりやすく汎用度も高い。
* seri / 连 / “連なり、続く”イメージを出すため「连」を採用(「系列」などの略) / 画数が比較的少なく、「继续(続ける)」「连接(接続)」など連続概念での再利用が期待できる。
* spec / 种 / “種類・種別”を示す際、中国語で「种类」の「种」が最も直観的 / 種・種類のイメージを1文字で示しやすいため、学習負担も軽め。
* klasifik / 分 / “分類する”のニュアンスを簡潔に表すため「分」(区分・分割)を採用 / 「分类」でもよいが1文字化で画数を抑え、かつ意味連想もしやすい。
* klas / 班 / “クラス(授業クラス、班)”を最も端的に示すため「班」を選択 / 中国語で「班级」といえば学校のクラス。画数はやや多いが意味は明確。
* kategori / 类 / “カテゴリー(類別)”の意味を持つ単字「类」を採用 / 「种」「类」「分」などと合わせ、“分類・種類・カテゴリー”系を相互に連想しやすい。

1. sistem / 系 /
   * 選定理由: 「体系」「システム」を連想しやすい簡体字として、「系统(System)」の一部にも使われる「系」を採用。
   * 学習コスト等: 画数が少なく(7画)、さらに「系」は「システム」「体系」「系列」など多方面の「つながり」を示す要素として汎用性あり。
2. reĝim / 制 /
   * 選定理由: 「制度」「体制」などの語に広く含まれる字。「regime(政体・政治体制)」のイメージにも合う。
   * 学習コスト等: 画数が8画で比較的少なく、日本語でも「制(制度/規制/体制)」として馴染みがある。
3. ord / 序 /
   * 選定理由: 「順序」「秩序」を示す際に用いられる代表的な字。「序」を見ると「順番・並べる」という連想が働きやすい。
   * 学習コスト等: 画数は7画。「順(顺)」や「序」などいずれも“order”を連想するが、ここでは意味の直截性から「序」を選定。
4. hierarki / 级 /
   * 選定理由: 「等级(hierarchy)」の「级」を採用。階級・等級を一文字で象徴しやすい。
   * 学習コスト等: 6画で比較的少なく、「級(级)」は日本語でも“段階・ランク”の連想がしやすい。
5. net / 净 /
   * 選定理由: エスペラントの net は「清書・きれいな稿」「余分なものがない」といった「clean / neat」のニュアンス。「净」には「清潔・純粋」「(重量などが)正味」という意もあり対応しやすい。
   * 学習コスト等: 簡体字で「净」は8画。日本語の「浄(清浄)」と同源で意味を推測しやすい。
6. manuskript / 稿 /
   * 選定理由: 「原稿」「下書き」を表す代表的な漢字。「稿件」などで広く使われる。
   * 学習コスト等: 13画とやや多めだが、日本語「投稿」「草稿」などにも通じるため連想しやすい。
7. kajer / 册 /
   * 選定理由: 「冊(册)」は「小冊子」「ノート形式の束もの」を表すのにも用いられることが多い。ここではノート(練習帳)的イメージで割り当て。
   * 学習コスト等: 5画。後述の broŝur, album などでも再利用し、文字種を減らす方向。
8. broŝur / 册 /
   * 選定理由: 「broŝuro(小冊子,パンフレット)」の意味から。「小册子」の「册」をそのまま使う形で再利用。
   * 学習コスト等: 既出の「册」と同一文字を割り当てることで、学習コスト削減を図る。
9. arkiv / 档 /
   * 選定理由: 「档案(公文書・古文書・アーカイブ)」で広く用いられる字。「arkiv」(archive)と意味が近い。
   * 学習コスト等: 10画。日本語でも「档(フォルダ名:～档)」などで見かける場合もあり、“ファイル保管”のイメージがつきやすい。
10. arĥiv / 档 /

* 選定理由: 「arkiv」と同義の語根であり、同じく“archive”を意味するため「档」を再利用。
* 学習コスト等: 同一字を用いることで重複削減・学習負担を軽減する。

1. paper / 纸 /

* 選定理由: 「纸(紙)」は最も直接的に“paper”を指す簡体字。
* 学習コスト等: 7画。日本語の「紙」とほぼ同じイメージで直感的に理解しやすい。

1. dokument / 件 /

* 選定理由: 「文件(document)」の後半にあたる「件」をあえて一文字で採用。“文書/書類”に紐づきやすい。
* 学習コスト等: 6画でそこそこ簡潔。「文(4画)」はやや広義すぎるため、こちらを選んだ。

1. registr / 录 /

* 選定理由: 「登记」「记录」いずれにも現れる「录」は“記録・登録”のイメージが強い。
* 学習コスト等: 8画。後述の protokol (議事録)にも重複使用して効率化。

1. protokol / 录 /

* 選定理由: 「議事録」「会議録」を中国語で「会议记录」と言うように、“記録”の「录」と親和性が高い。
* 学習コスト等: registr 同様に「录」を流用。

1. etat / 表 /

* 選定理由: 「明細表」「一覧表」など、何かを一覧形式に“表”す概念に最適。「表」は“表(テーブル)”全般を連想できる。
* 学習コスト等: 8画で比較的シンプル。日本語の「表(おもて/ひょう)」と同形。

1. faktur / 票 /

* 選定理由: 「発票(領収書・請求書)」の「票」が最も“invoice / bill”に近い。
* 学習コスト等: 11画。日本語の「切符(きっぷ)」「投票(とうひょう)」にも使われ、金銭のやり取りや“紙片”のイメージがある。

1. album / 册 /

* 選定理由: 写真集(画册)のように「～册」と言うことが多く、“アルバム”のイメージにも対応。
* 学習コスト等: 既出の「册」を再利用し、一貫して“冊子状のもの”をまとめる方向。

1. volum / 卷 /

* 選定理由: 「(書物などの)巻」を指す際に、簡体字では「卷(juǎn)」がよく使われる。
* 学習コスト等: 8画。「册」との使い分けで、より“巻・巻物”のニュアンスを明確化。

1. libr / 书 /

* 選定理由: 「本/書物」を意味する最も基本的な簡体字。「圖書(图书)」「書店(书店)」などにも通じる。
* 学習コスト等: 4画と非常に少なく、日本語の「書」とほぼ同義。

1. ekzempler / 本 /

* 選定理由: 「(本の)一冊」を表すとき、中国語では量詞「一本书」のように「本」を使うため、そこから一文字割当。
* 学習コスト等: 5画とシンプル。“(～の)冊”の数え方で「本」と言うイメージが日中で似通っている。

1. cirkuler / 传 /

* 選定理由: 「传单」「传阅(回覧する)」など“回覧状・広く伝達する”ニュアンスが強いため「传」を選択。
* 学習コスト等: 6画で比較的少ない。パンフレット系とも若干重なるが、“伝播”イメージを担う。

1. prospekt / 单 /

* 選定理由: 「(広告用)チラシ」「説明書」などをまとめて「传单」「说明单」と言うときの「单」を一文字採用。
* 学習コスト等: 8画。「伝単」との関連でも用いられるので意味連想がしやすい。

1) sinoptik

swift

Copy

sinoptik/总/「総括・総合」のイメージで概略を示す漢字として採用/後述の「総譜(総+譜)」とも共通し、学習コストを低減

* 選定理由: 「synoptic＝総括的・概要的」というニュアンスから、中国語の「总(総)」を割り当て。
* 学習コスト: 後述の「partitur＝総譜」にも登場する「总」を使い回すことで、新規漢字を増やさずに済む。

2) menu

css

Copy

menu/单/本来は「菜单」が標準だが、できるだけ1文字化を優先し「单」を抽出/「清单(リスト)」などでも使われる字で汎用性あり

* 選定理由: 標準的には「菜单」だが、今回「1文字」を優先したい都合で「单」のみを採用。
* 学習コスト: 「単(单)」は日本語にも「シングル・票・一覧」など複数概念の基盤として認知されやすい。

3) katalog

swift

Copy

katalog/目录/中国語で「カタログ」に相当する標準表現/「目」「录」とも後述で再利用される可能性が高く学習コストを抑えられる

* 選定理由: 中国語で「目録」「ディレクトリ」として広く使われる「目录」をそのまま採用。
* 学習コスト: 「目」は後述の「曲目」などで再登場し得る。「录」(録)も日本語で「録音」などに通じ、比較的把握しやすい。

4) tabel

swift

Copy

tabel/表/表・テーブル・一覧表に対応しやすい単字/「list」でも使い回せるため文字数削減

* 選定理由: 中国語で「テーブル」「フォーム」「一覧表」を示す代表的な1文字が「表」。
* 学習コスト: 次の「list」にも流用し、漢字種類を削減。

5) list

swift

Copy

list/表/「一覧表」＝「表」の1文字で共通化/既出の「tabel」と同一漢字にすることで重複利用を図る

* 選定理由: 「一覧」「リスト」を指すのに「表」が簡潔かつ日中で通じやすい。
* 学習コスト: 上記「tabel」と同じ漢字「表」を再利用し、新規漢字を増やさない。

6) telegram

swift

Copy

telegram/电报/中国語で「電報」を示す標準表現/「電=电」「報=报」どちらも他語根で再利用可能

* 選定理由: 中国語の一般的な「電報」表現は「电报」。
* 学習コスト: 後述の「Ĵurnal→报」(新聞)と「报」を共有するため、文字重複を抑えられる。

7) orografi

swift

Copy

orografi/山志/「山(山)＋志(誌)」で「山岳誌」をイメージ化/厳密にはやや意訳だが概念をまとめやすい

* 選定理由: 厳密には「地形学(地形)」等が近いが、山岳を扱う“誌”という意で「山志」と便宜的に当てる。
* 学習コスト: 後述で「志」を「雑誌」「誌面」のイメージに流用するため、文字数を節約。

8) forum

swift

Copy

forum/坛/中国語「论坛」から1文字抽出/「壇(坛)」は日本語でも“壇”として通じる

* 選定理由: 本来は「论坛」だが、なるべく1文字で対応したいので「坛(壇)」に集約。
* 学習コスト: 新出漢字だが字数を可能な限り少なくするため1文字化。

9) revu

swift

Copy

revu/志/雑誌の「雑誌(zázhì)」より「誌」に当たる部分のみ抽出/専門誌・評論誌のイメージ

* 選定理由: 中国語「杂志(雑誌)」の後半「志」を取り出し、雑誌・レビュー誌などをイメージ。
* 学習コスト: #7「山志」と同じ「志」を使うことで、文字を追加しない。

10) gazet

swift

Copy

gazet/志/「期刊・雑誌」に相当/すでに「revu」でも使った「志」と同一字で重複利用

* 選定理由: 「gazet」も「雑誌」や「新聞」の類いだが、本割当では「志」とし、重複利用。
* 学習コスト: #9と同じく「志」再利用なので新たな漢字は増えない。

11) ĵurnal

swift

Copy

ĵurnal/报/新聞(日刊紙)の意/「报(報)」はすでにtelegram(电报)で使用済み

* 選定理由: 新聞を指す中国語の基本語「报(報)」に合わせる。
* 学習コスト: #6「电报」と同じ「报」を流用。

12) litani

swift

Copy

litani/祷/本来「連祷(連続祈祷)」＝「连祷」だが、1文字に圧縮し「祷」に集約/祈りのニュアンスを優先

* 選定理由: 「litany＝祈りの応答形式」を簡略に“祷”でまとめた。
* 学習コスト: 新規の1字だが、他の宗教関連に使い回す可能性はある。

13) rozari

swift

Copy

rozari/念珠/数珠として定着した表現をそのまま採用/ロザリオを指す最も定番の二字

* 選定理由: 中国語で「念珠」は仏教系でもキリスト教系でも「珠を手で繰る祈祷道具」のイメージ。
* 学習コスト: 「念」「珠」いずれも画数は比較的多めだが、単語として馴染み深い。

14) recitativ

swift

Copy

recitativ/诵/「宣叙調」は3文字(宣叙调)が必要だが、1文字なら「诵(朗誦=朗読)」が近いか/近似値的に採用

* 選定理由: 厳密には「宣叙调」だが、単文字最優先で「诵(朗誦)」を便宜的に当てる。
* 学習コスト: 新規字だが、ほかの“詠唱・朗誦”系の概念とも関連性を持つ。

15) repertuar

swift

Copy

repertuar/曲目/「レパートリー＝曲目」の意/すでに「目」は他所で使用

* 選定理由: 中国語では「曲目」「节目单」などが一般的。より簡潔に「曲目」。
* 学習コスト: 「曲」は新規だが「目」は#3(目録)、#15(曲目)で共有できる。

16) prelud

swift

Copy

prelud/前奏/「前奏曲」は3文字だが、2文字で抑え「前奏」に簡略/「序」より「前」の方が前置きを明確に示しやすい

* 選定理由: 一般に中国語で「前奏(曲)」と呼ぶ。
* 学習コスト: 「前」「奏」はやや画数があるが、音楽用語として定着。

17) simfoni

swift

Copy

simfoni/交响/交響楽「交响乐」の2文字形/やや略式だが意味は通じる

* 選定理由: 標準的には「交响乐」だが1文字減らし「交响」のみ。
* 学習コスト: 「交」「响」はそれぞれ比較的シンプルな部首構成。

18) uvertur

bash

Copy

uvertur/序曲/オーヴァーチュア(序曲)をそのまま2文字/「曲」は#15と共有

* 選定理由: 「序曲」が中国語でも標準。
* 学習コスト: 「曲」は#15「repertuar/曲目」と同じ。

19) partitur

bash

Copy

partitur/总谱/総譜(楽譜全体)を指す中国語「总谱」を採用/「总」はすでに#1 sinoptikと同字

* 選定理由: 中国語でフルスコアを示す標準表記が「总谱」。
* 学習コスト: #1で出た「总」を流用、かつ新規「谱」追加のみで済む。

20) sonet

swift

Copy

sonet/十四行/本来は「十四行诗」だが最後の「诗」を省き、やや短縮/ソネット=14行詩の要素は伝わる

* 選定理由: 中国語で「sonnet＝十四行诗」が一般的だが、文字数削減のため「十四行」に。
* 学習コスト: 新規導入は「十」「四」「行」。(後述のbardが「诗」を使うため、そこだけで詩をカバー可能。)

21) sponde

swift

Copy

sponde/（未対応）/長長格に対応する適切な1～2文字の漢字が乏しく、無理に当てはめると混乱を招く恐れがあるため割当なし

* 理由: 中国語でも一般的に外来の韻律用語(スポンデイ)に対応する一文字は無いため、今回は未対応とする。

22) bard

swift

Copy

bard/诗人/吟遊詩人を2文字で表現/「诗(詩)」は日中いずれも“詩”の意味で認識しやすい

* 選定理由: 「吟遊詩人」の簡略形。「诗人」＝「詩を書き歌う人」として比較的わかりやすい。
* 学習コスト: 「诗」はこの箇所で新規登場だが、日本語にも「詩」として定着しているため理解しやすい。

balad

* + 提案漢字: 歌
  + 選定理由: 「バラッド」は物語性のある「歌」の一種であり、簡体字でも「歌」は共通。日本語圏でも「歌(うた)」は広く「歌曲」「歌謡」を連想しやすい。
  + 既出・学習コスト: 初出の漢字だが、後続の複数語根(kanzonなど)にも流用予定があり、使い回しメリット大。

1. himn
   * 提案漢字: 圣歌
   * 選定理由: 「賛美歌」「聖歌」を直接示す常用表現。簡体字「圣(聖)」＋「歌」で「神聖な歌」のニュアンスを分かりやすく表す。
   * 既出・学習コスト: 「歌」は既出再利用。新出は「圣」で、画数5と比較的少なめ。
2. psalm
   * 提案漢字: 圣诗
   * 選定理由: 「詩篇」的な意味の「詩」と、「神聖な」の「圣」を組み合わせて、「聖詩」として理解されやすい。
   * 既出・学習コスト: 「圣」は既出。「诗」は今後も詩関連語根で多用。
3. kanzon
   * 提案漢字: 歌
   * 選定理由: イタリア語由来の「カンツォーネ」は「歌」の一種であり、単純に「歌」として扱うことで学習コストを低減。
   * 既出・学習コスト: 「balad」と同じ「歌」を再利用。
4. strof
   * 提案漢字: 节
   * 選定理由: 「詩の一節」「スタンザ」を意味する場合、中国語で「节(jie)」は「小区切り」「段落」というニュアンスを持つ。詩の区切りとして直感的に連想しやすい。
   * 既出・学習コスト: 新出だが画数5と少なめ。「節」の簡体字で、日本語圏にも「節(ふし)」で親しみがある。
5. proz
   * 提案漢字: 散文
   * 選定理由: 「散文」の中国語・日本語双方での定番表記。1文字「文」だけでは意味が広すぎるため、より正確に「散文」とした。
   * 既出・学習コスト: 「散」は新出(やや画数多め)だが、「文」は後続(文学など)にも流用予定。
6. epope
   * 提案漢字: 史诗
   * 選定理由: 「叙事詩」は中国語で「史诗(歴史的・壮大な詩)」とも呼ばれることが多い。簡潔で伝わりやすい。
   * 既出・学習コスト: 「史」は新出(5画)、「诗」は既出。
7. lirik
   * 提案漢字: 抒情诗
   * 選定理由: 「叙情詩」の定型的な中国語表現が「抒情诗」。情感を表現する詩という意味が分かりやすい。
   * 既出・学習コスト: 「抒」「情」は新出(合計画数はやや多め)だが、「诗」は使い回し。
8. poet
   * 提案漢字: 诗人
   * 選定理由: 「詩人」をそのまま指す最も一般的な表現。日本語「しじん」、中国語「诗人」で対応。
   * 既出・学習コスト: 「诗」は既出。「人」は非常に基本的(2画)なので学習負担は小さい。
9. poem
   * 提案漢字: 诗
   * 選定理由: 「詩」を示す最も直接的な1文字。「詩歌」全般を指せるが、単に「詩」として置くのがシンプル。
   * 既出・学習コスト: すでに「诗」は登場済み。
10. vers
    * 提案漢字: 诗句
    * 選定理由: 「詩の句(行)」という意味で、中国語でも「诗句」はよく使われる。
    * 既出・学習コスト: 「诗」は既出、新出は「句」(5画)のみ。
11. poezi
    * 提案漢字: 诗歌
    * 選定理由: 「詩歌全般」「詩と歌の総称」を意味する場合、中国語では「诗歌」がよく使われる。
    * 既出・学習コスト: 「诗」「歌」ともに既出。
12. idili
    * 提案漢字: 牧歌
    * 選定理由: 「牧歌」は日本語でも「ぼっか」、中国語でも「牧歌(mùgē)」で「田園的・牧歌的」な詩歌を連想。
    * 既出・学習コスト: 「牧」は新出(8画)。「歌」は既出。
13. elegi
    * 提案漢字: 哀歌
    * 選定理由: 「哀歌」は「悲しみを表現する歌」で、エレジー(elegy)に非常に近い。中国語・日本語ともに共通概念。
    * 既出・学習コスト: 新出は「哀」(9画)。「歌」は再利用。
14. eklog
    * 提案漢字: 牧歌
    * 選定理由: 「エクラ（田園詩、牧歌）」は「idili」とほぼ同義で牧歌的詩を示すため、同じ「牧歌」で統一可能。
    * 既出・学習コスト: 「牧」「歌」ともに既出。
15. prozodi
    * 提案漢字: 诗律
    * 選定理由: 詩の「韻律」や「格律」を指す語として、「诗律(詩のリズムや形式)」が簡潔で分かりやすい。
    * 既出・学習コスト: 「诗」は既出、新出「律」(9画)を加えるのみ。
16. antologi
    * 提案漢字: 文选
    * 選定理由: 「文学選集」→中国語で「文选」は「文章の選集」の意味合いが強く、アンソロジーに近い。
    * 既出・学習コスト: 「文」は既出、新出は「选」(9画)のみ。
17. literatur
    * 提案漢字: 文学
    * 選定理由: 「文学」を端的に表す最も標準的な組み合わせ。「文」は文章、「学」は学術分野としての文学。
    * 既出・学習コスト: 「文」は既出、新出「学」(8画)。
18. beletr
    * 提案漢字: 美文
    * 選定理由: 「美文学」的なニュアンスで、「美しい文章」を意味する語として「美文」が比較的通じやすい。
    * 既出・学習コスト: 新出「美」(9画)＋既出「文」。
19. beletristik
    * 提案漢字: 美文学
    * 選定理由: 「美文学研究」に近いが、簡潔に「美文学」として“純文学・美文”的な専門領域を指す表記に。
    * 既出・学習コスト: 「美」「文」「学」はすべて既出。
20. leksikon
    * 提案漢字: 词典
    * 選定理由: 「用語事典」「語彙集」に近い意味の中国語表現として「词典」が最もシンプル。
    * 既出・学習コスト: 新出は「词」(7画)と「典」(8画)だが、後述の百科事典でも再利用。
21. enciklopedi
    * 提案漢字: 百科词典
    * 選定理由: 「百科事典」に相当。標準的には「百科全书」もあるが、「词典」と組み合わせることで前項の「词」「典」を流用しつつ、「百科(= 百 + 科)」を加えるだけで済む。
    * 既出・学習コスト: 新出は「百」(6画)と「科」(9画)のみ。「词」「典」は再利用。

etim/olog## / —— / 語根ではないため割当せず / ——

* + 補足: 「etim/olog##」は末尾に「##」があり語根ではないため、対応漢字の割当を行いません。

1. etimologi## / 词源学 / “etymology”の中国語表現「词源学」に準拠 / 「logi」を「学」と統一し、同種学術語の一貫性を狙う
   * 「etimologi(語源学)」の標準的な中文訳は「词源学」(簡体字)。
   * 「词(詞)」「源」「学」はそれぞれ画数が多めではありますが、学問名であることが一目でわかる利点を優先しました。
   * 今後「～学」(logi系)で「学」を再利用するため、新たな部首・偏旁は抑えられます。
2. hieroglif / 象形 / 「象形文字」の略語として比較的通じやすい / 「文」や「字」を省き2字化で簡略化、既出偏旁との重複は少なめ
   * 本来の中国語「象形文字」は4文字(象形文字)ですが、簡略的に「象形」とする事例もあります。
   * 日本語話者にも「象形(文字)」といえば連想が容易でしょう。
   * 画数はやや多い「象(11画)」「形(7画)」ですが、2文字に抑えています。
3. grafologi / 笔迹学 / 中国語で“筆跡学”に相当する「笔迹学」を採用 / 「logi＝学」で統一、筆(笔)や迹はやや画数多いが意味優先
   * 「grafologi」は筆跡学(手書きの特徴を研究する学問)なので、中国語表現の「笔迹学」が自然です。
   * 「笔」(筆の簡体字)と「迹」(跡の簡体字)はいずれも日本語と形が異なりますが、学問名とわかりやすいです。
   * 「学」は(2)のetimologi##などと同じく再利用。
4. filologi / 文献学 / 中国語・日本語ともに“フィロロジー＝文献学”が定訳 / 既出「学」を再利用し、実際の専門用語に合わせる
   * 「filologi」は“文献学(philology)”に対応。
   * 中国語でも「文献学」は比較的一般的な表現です。
   * 画数は「文(4画)」「献(11画)」「学(8画)」で合計やや多めですが、専門用語としては定着度を重視しました。
5. bibliografi / 书目学 / “書誌学”を中国語では「书目学」「目录学」などで表せるが「书目学」を採択 / 「logi＝学」と統一
   * “bibliography”に相当する学問名として、中国語では「书目学」「目录学」が使われます。
   * ここでは「书目学」を選んで画数を比較的抑えました(「录」のほうが画数多め)。
   * 「书(書)」「目」「学」はどれもすでに出現済み偏旁を混ぜやすいため、学習コストを大きく増やしません。
6. apolog / 寓言 / “教訓談・寓話”に相当、中国語での一般的な“寓言”を採用 / 2文字で意味明快かつ日本語圏にも比較的通じる
   * 「apolog」は英語の “apologue, fable” に相当し、“寓言(教訓含む短い物語)”が自然。
   * 「寓(12画)」+「言(7画)」でやや多画数ですが、2文字に収まります。
   * 今回初出の部首が含まれますが、“fable”として意味を取りやすい優先。
7. logogrif / 字谜 / “語字判じ物”＝“文字を使ったなぞ”に近い中国語「字谜」が適切 / 短い2文字で分かりやすい
   * 「logogriph」は言葉(単語・文字)に関するなぞかけなので、「字谜(文字謎)」がコンパクト。
   * 「字(6画)」「谜(9画)」(謎の簡体字)で重複部首は少なめですが、2文字ゆえシンプル。
   * 日本語圏でも「字＝文字」「谜(謎)＝なぞ」と推測可能。
8. silogism / 三段论 / 中国語で“三段论”が定訳 (日本語の“三段論法”) / 学問名として定着度が高い / 新たな部首は少ない
   * 「三(3画)」「段(9画)」「论(6画)」はいずれも比較的簡素。
   * 中国語圏では「三段论」でロジックの初歩を表す用語として認識されます。
9. krestomati / 选文 / “模範詩文集・詩文抜萃集”の意に近い“選文”を2文字で簡略化 / “選集”や“选文集”等より短く抑えた

* “chrestomathy”は主に模範的な文章を集めた選文集のようなもの。
* 中国語の「选文」(選文)は「選んだ文章」の意味で、比較的コンパクトです。
* 画数「选(6画)」「文(4画)」で計10画と少なめ。

1. korne / 角膜 / [解]角膜そのものの中国語表記「角膜」を採用 / “膜”は他部位でも再利用予定

* 「角(7画)」「膜(14画)」。
* 日本語圏・中国語圏とも「角膜」は同形(簡体字も同じ)なので認識しやすい。
* 今後「膜」が共通部位(網膜など)で繰り返し登場し、学習コストを軽減。

1. retin / 网膜 / [解]網膜＝中国語「网膜」(日本語「網膜」の簡体字) / 「膜」を再利用し画数増を抑制

* 「网(6画)」「膜(14画)」。
* cornea(角膜)同様、臓器名として標準的。
* 「膜」を再利用できるので新たな要素を最小限に。

1. membran / 膜 / [解]膜全般 / 1文字でシンプルに対応 / 既出の“角膜”“网膜”等と同じ字を流用

* 「membran」は“膜”という意味で広範に使われる語根。
* すでに(11)(12)で「膜」を用いているので、学習効率が良い。

1. diafragm / 隔膜 / [解]横隔膜などの“隔膜”を意味 / 「膜」を再利用しつつ「隔」を追加

* 「diafragm」は横隔膜(英: diaphragm)なので、中国語「隔膜」が妥当。
* 「隔(9画)」+「膜(14画)」。
* 「膜」はすでに登場済みなので、新たな字は「隔」のみ。

1. lorn / 望镜 / 小型望遠鏡(オペラグラス・フィールドグラス)等の意を2字で簡略表現 / “望远镜”との関連を示しつつ短縮

* 厳密には“lorn”は「ローニエット(手持ち小型双眼鏡)」系ですが、中国語では特別な短い定訳が少ないです。
* そこで「望远镜」を簡略化し「望镜」としてまとめ、学習コストを抑えました。
* 「望(11画)」+「镜(15画)」。既出の「望远镜」「镜」と関連性が高い。

1. teleskop / 望远镜 / 標準的な中国語表記に合わせる / 今後“镜”を共通化して光学機器を整理

* 「tele-skop」＝望遠鏡。中国語で「望远镜」がごく一般的。
* (15)lornと同じく「望」「镜」を再利用。
* 「远(7画)」は新出ですが、他の遠距離を表す単語でも流用可能性あり。

1. binokl / 双筒镜 / “双眼鏡”に相当する短縮形 / “望远”を省き、コンパクトにしたが意味は通る

* 標準は「双筒望远镜」と長いので、「双筒镜」に簡略化。
* 「双(4画)」「筒(11〜12画)」「镜(15画)」でやや画数多めですが、光学機器の字「镜」を再利用できます。
* “双”は日本語・中国語ともになじみ深く、意味連想しやすい。

1. kalejdoskop / 万花筒 / 中国語でも“万花筒”が定着 / そのまま2〜3字で再現は難しく標準名称を採用

* 「kalejdoskop」は“万華鏡”の意。中国語では「万花筒」(簡体字も同形)が通称。
* 「万(3画)」「花(7画)」「筒(11〜12画)」。
* 「筒」は(17)と共通しており、学習コスト増を抑えられます。

1. miop / 近视 / [医]近視＝中国語で「近视」 / 2文字で自然、画数も中程度 / 日本語圏にも意味推測は容易

* 「近(7画)」「视(7画)」。
* 中国語の“近视”はそのまま「近視」を簡体化した形です。
* 専門用語というより一般単語に近いので、このまま転用。

1. okul / 目 / [解]目(眼)の意、最も画数の少ない「目」を採用 / 日中いずれも“目”は基本漢字で学習コスト低い

* 通常中国語では「眼」や「眼睛」が多いですが、1文字化重視で「目」(5画)に。
* 日本語圏にも馴染みがあり、視覚器官を連想しやすい。

1. pupil / 瞳 / [解]瞳(瞳孔)を1文字で / 漢字1字に圧縮したが意は十分通じる / やや画数多いが簡体も同形

* 中国語で“瞳孔”という2字も考えられますが、1文字「瞳」で意味はほぼ伝わります。
* 既出の「目」と対になる形で、「瞳」は細かい眼の部分を表す。

1. spegul / 镜 / [解]鏡そのもの / “镜子”を1文字で短縮化 / (15)(16)(17)と同じ“镜”を再利用

* 中国語では通常「镜子(鏡子)」ですが、1文字「镜」で充分。
* 「望远镜」「双筒镜」など光学機器全般で「镜」を共有化し、学習効率を高める。

lens

* + 提案: 镜
  + 選定理由: 中国語の「镜」(簡体字)は「鏡」「レンズ」を広く指す。「镜片」は「レンズ」の意味で使われることもあり、単独で「镜」でも“光学レンズ”を連想しやすい。
  + 学習コスト: 初出。「鏡」は日本語でも同形(ただし旧字体の「鏡」)のため意味は推測しやすい。

1. radi
   * 提案: 射
   * 選定理由: 「radi」は「放射線・放射(する)」等を示す語根。「射」は「放射」「照射」のイメージを喚起しやすい。
   * 学習コスト: 初出。画数はやや多めだが、後続の「radiator」などで再利用しやすい。
2. radiator
   * 提案: 射机
   * 選定理由: 中国語で標準的には「散热器」や「辐射器」等があるが、学習コスト(新出漢字数)を抑えるため、既出の「射」と今後「機械」にも使える「机」を組み合わせた簡略形。“放射する機械”という意。
   * 学習コスト: 「射」は既出、「机」は後述の蓄音機などの“機械”にも使う予定で再利用性が高い。
3. semafor
   * 提案: 信号机
   * 選定理由: 中国語では「(交通)信号機」の意味があり、機械式信号・セマフォの類推がしやすい。
   * 学習コスト: 「信」「号」は初出、ただしどちらも中国語・日本語圏で意味を推測しやすい常用漢字。「机」は再利用。
4. fonograf
   * 提案: 留声机
   * 選定理由: 中国語で蝋管式/円盤式問わず「留声机」は「レコード再生機・蓄音機」全般を指す歴史的名称。
   * 学習コスト: 「留」「声」は初出。「机」は既出(再利用)。日本語話者も「留声機(＝留聲機)」の字面から「声をとどめる機械」と推測可能。
5. gramofon
   * 提案: 留声机
   * 選定理由: 上記(5)と同じく、中国語では「留声机」が一般的に“蓄音機・レコードプレーヤー”を包括する用語なので共用。
   * 学習コスト: 既に「留」「声」「机」は出現済み。割当を統一し学習コストを下げた。
6. kartograf
   * 提案: 制图师
   * 選定理由: 中国語で「制图师」は「(地図)作成者・地図製作者」の意。
   * 学習コスト: 「制」「图」「师」は初出。後の「図を作る行為」に繰り返し登場予定のため、「图」は特に再利用度大。
7. atlas
   * 提案: 图册
   * 選定理由: 「地图册(地図帳)」とも言えるが、やや文字数を減らすため「图册(図冊)」とした。地図集・図集のイメージで問題ない。
   * 学習コスト: 「图」は既出、「册」は初出(「冊」の簡体形)。日本語話者にも「册」は比較的推測可能。
8. skem
   * 提案: 图
   * 選定理由: 「skem」は「図表・図式・スキーム」を指す語根で、広義に「図」として扱って問題ない。
   * 学習コスト: 「图」は既出を再利用。
9. map
   * 提案: 地图
   * 選定理由: 中国語で標準的に「地図」の意味。「map」をそのまま表す。
   * 学習コスト: 「地」は初出だが、後の「地理」「地質」にも活用。「图」は再利用。
10. kartografi
    * 提案: 制图
    * 選定理由: 「制图」は“地図製作”の意味で中国語でも使う。
    * 学習コスト: 「制」「图」は既出のため新規負担なし。
11. horoskop
    * 提案: 星图
    * 選定理由: 占星術における「ホロスコープ」は“星の位置図”のイメージ。「星图(星図)」は“星座図”として中国語でも比較的通じる。
    * 学習コスト: 「星」はここで初出、「图」は再利用。
12. astrologi
    * 提案: 占星术
    * 選定理由: 中国語の定訳「占星术」(占星術)を使用。「占」「星」「术」それぞれ意味が明確。
    * 学習コスト: 「占」「术」は初出、いずれも画数は少なめ。「星」は上記で既出。
13. astr
    * 提案: 星
    * 選定理由: 「astr-」は“星・天体”を表す語根。単独なら「星」が最も直感的。
    * 学習コスト: 「星」は既出。
14. astronomi
    * 提案: 星学
    * 選定理由: 標準的には「天文学」だが、新出漢字「天」「文」を増やすより、既出「星」と今後汎用の「学」を組み合わせ学習コストを抑える。
    * 学習コスト: 「学」は初出。今後「○○学」で多用。
15. kosmogoni
    * 提案: 宇宙论
    * 選定理由: 中国語で「宇宙论」は“宇宙の起源/理論”を示す文脈で使われることが多く、cosmogony(宇宙の生成論)をかなり近く表現できる。
    * 学習コスト: 「宇」「宙」「论」は初出だが、この後「宇宙○○」で再利用。
16. kosmograf
    * 提案: 宇宙图师
    * 選定理由: 「kartograf = 制图师」と同様に、宇宙版の図作成者/記述者として「宇宙图师」。厳密には非標準だが、「cosmographer」を表すには分かりやすい。
    * 学習コスト: 「宇」「宙」「图」「师」すべて既出の再組合せ。
17. kosmografi
    * 提案: 宇宙图学
    * 選定理由: 「-grafi」は“記述・学”のニュアンス。「宇宙图学」は「宇宙の描写・形状誌」という印象で、cosmographyに近い。
    * 学習コスト: 「宇」「宙」「图」「学」すでに全て既出。
18. geografi
    * 提案: 地理学
    * 選定理由: 標準的な「地理学」。
    * 学習コスト: 「地」は既出、「理」は初出(ただし「理解」「理由」等でおなじみ)、最後に「学」は再利用。
19. geologi
    * 提案: 地质学
    * 選定理由: 中国語で地質学は「地质学」が一般的。
    * 学習コスト: 「地」「学」は既出、「质」は新出だが画数は比較的少なめ。
20. geodezi
    * 提案: 测地学
    * 選定理由: 「測地学」は中国語でも「测地学(拼音: cèdìxué)」といい、geodesyに対応。
    * 学習コスト: 「测」(“測る”)のみ新出。「地」「学」は既出。
21. topografi
    * 提案: 地形学
    * 選定理由: トポグラフィー(地形学)は「地形学」と書くのが中国語でも通用する。
    * 学習コスト: 「地」「学」は既出、「形」は新出(画数は7画と比較的少ない)。